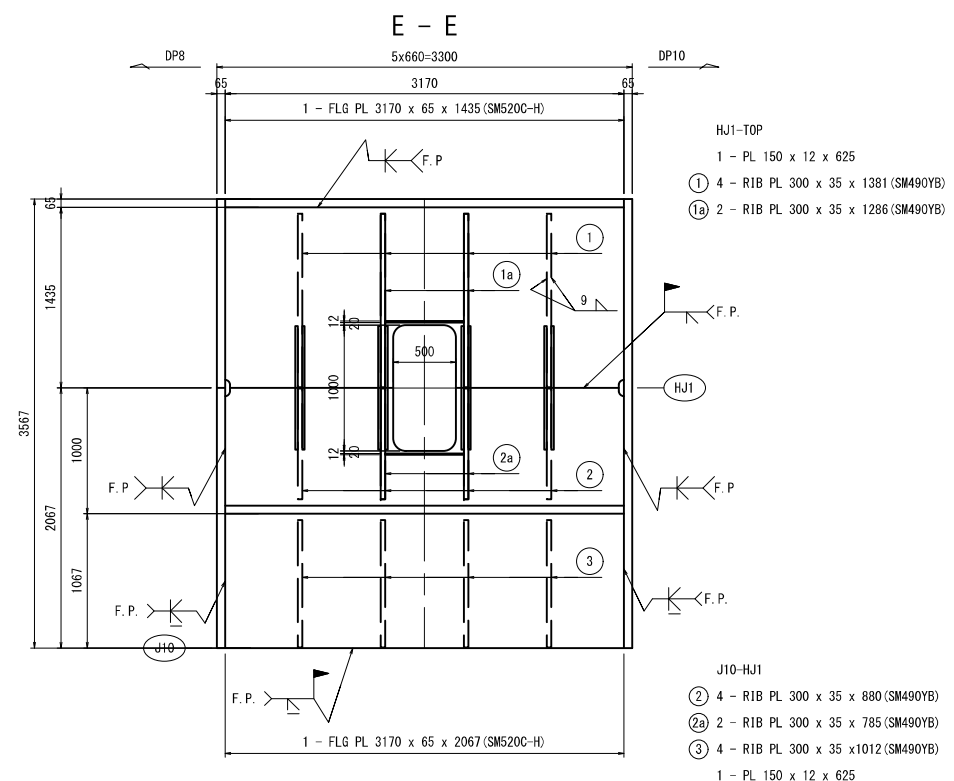
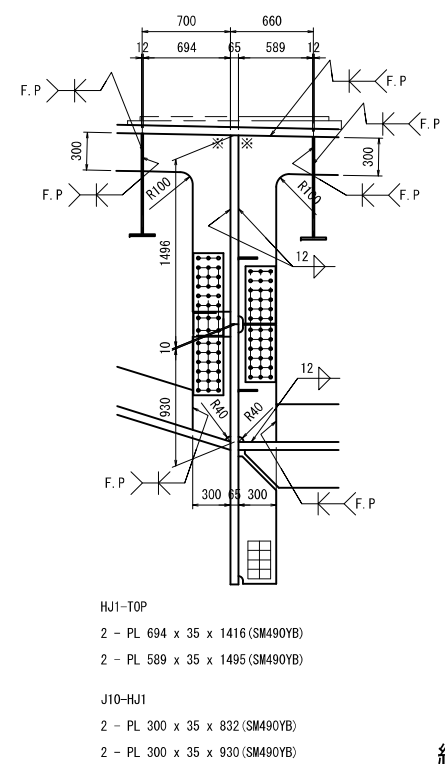
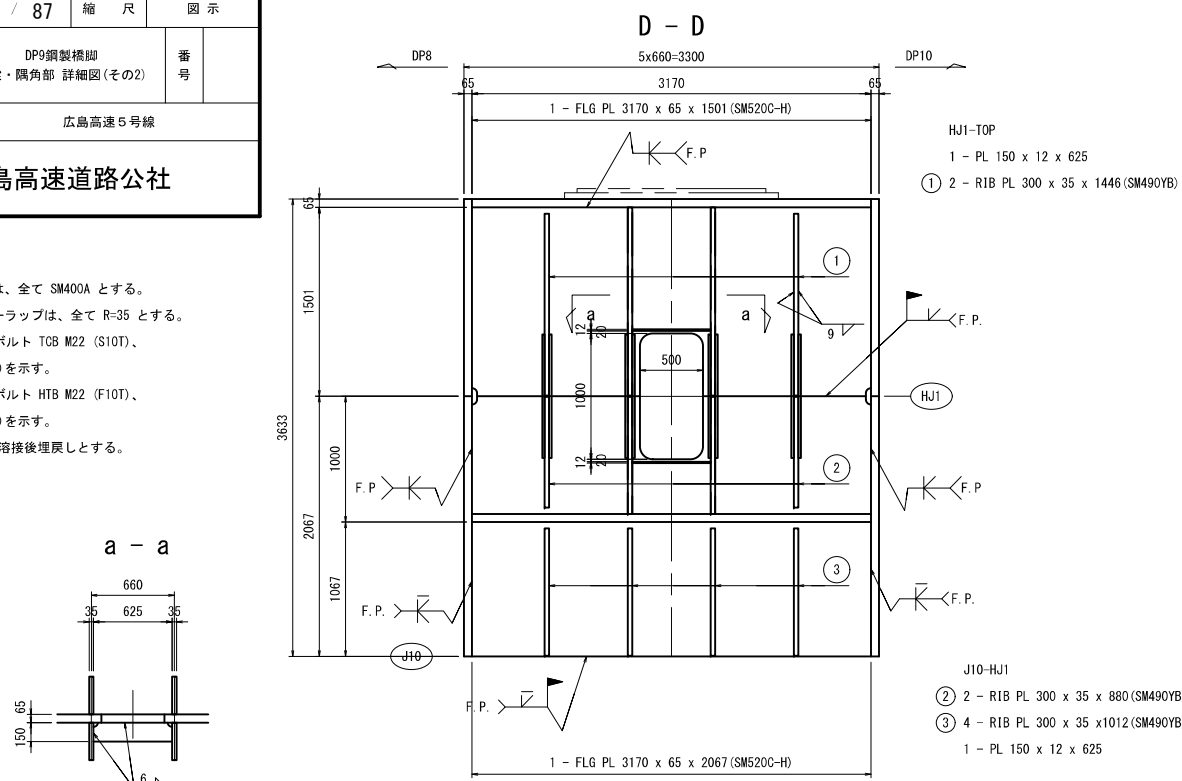


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	45 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

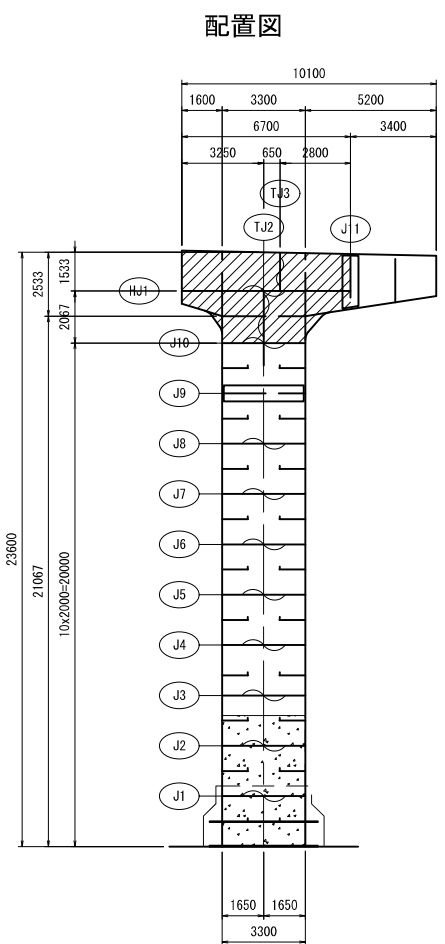
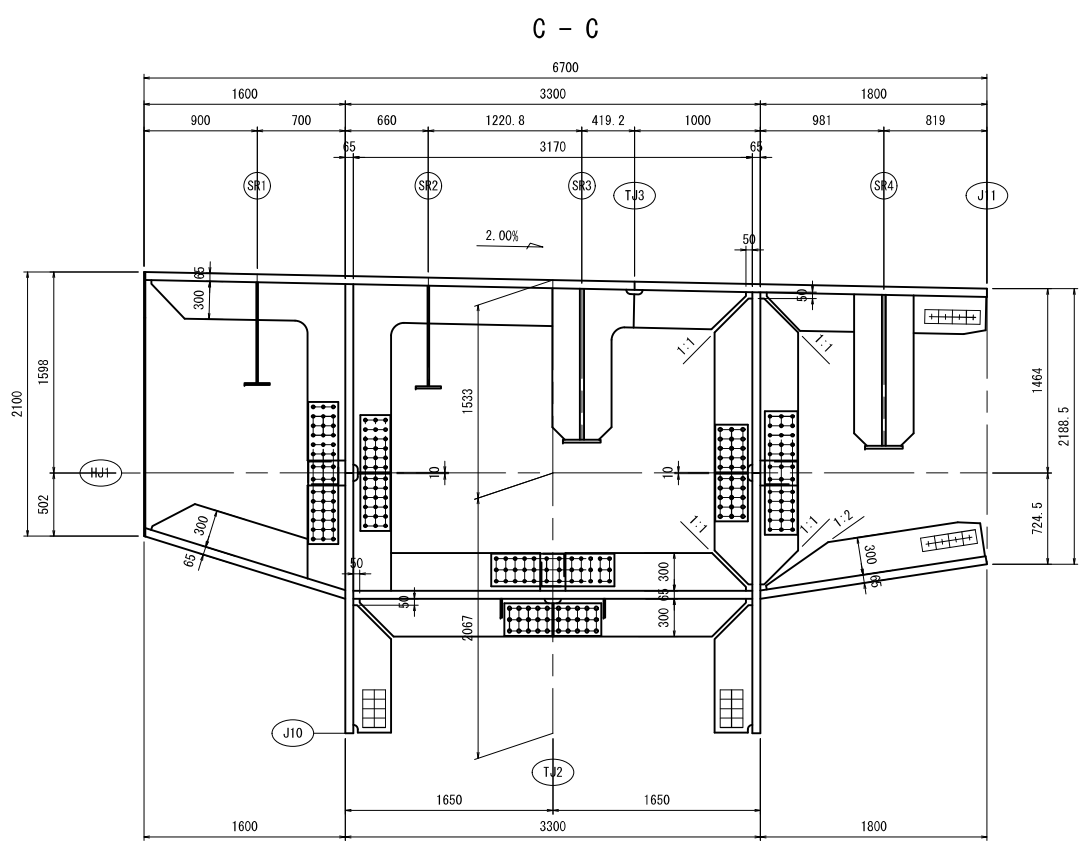
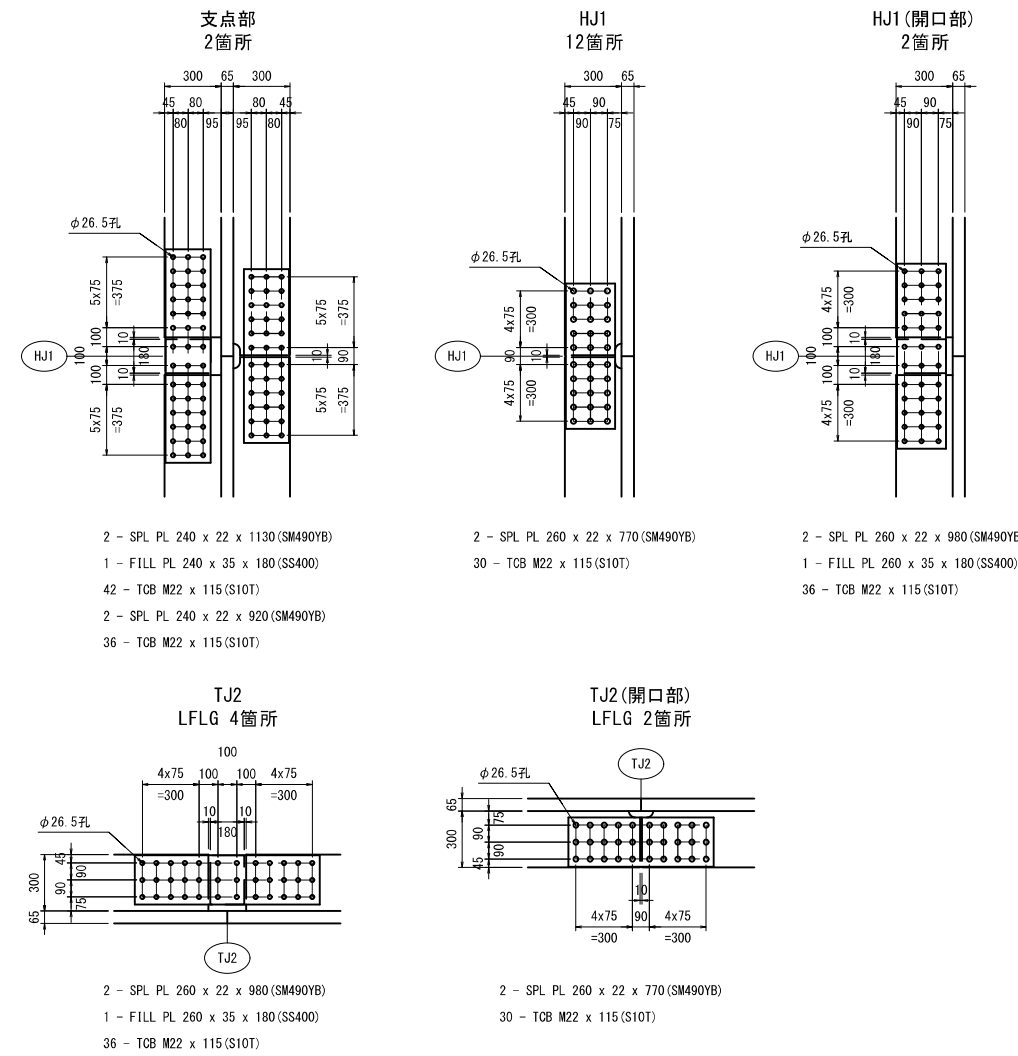
DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その2)

S=1:30

- 注記
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 3. 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
 4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。



縦リブ添接詳細 S=1:20

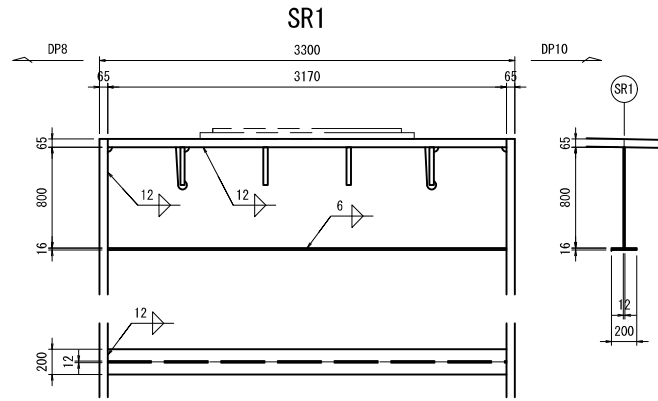


DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その3)

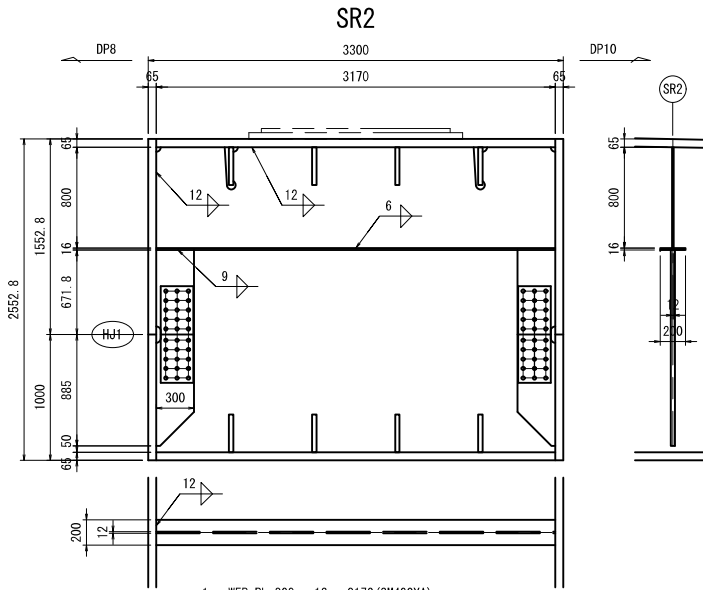
S=1:30

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	46 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その3)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

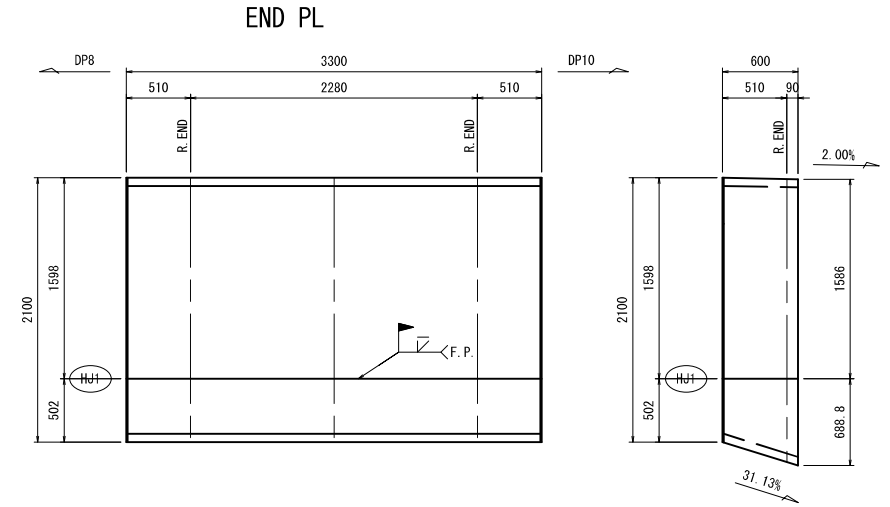
- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーフは、全て R=35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、
TCB M24 (S10T) を示す。
*印は、高力ボルト HTB M22 (F10T)、
HTB M24 (F10T) を示す。
 - *印部は、C15溶接後埋戻しとする。



1 - WEB PL 800 x 12 x 3170(SM490YA)
1 - FLG PL 200 x 16 x 3170(SM490YA)



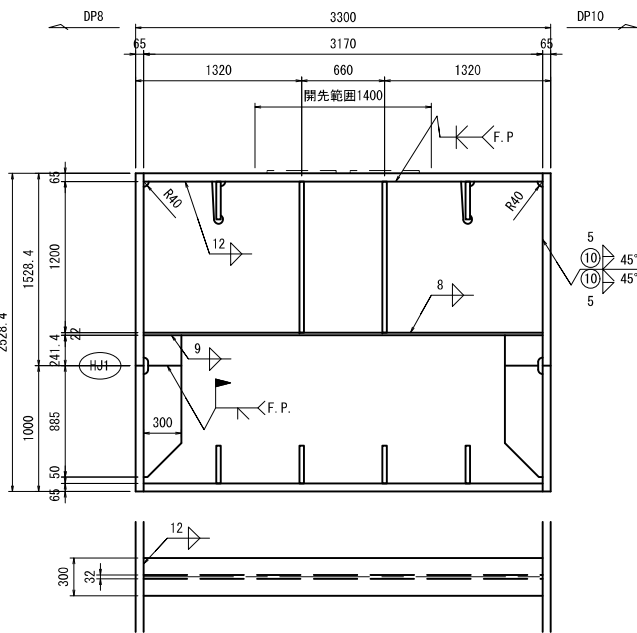
1 - WEB PL 800 x 12 x 3170(SM490YA)
1 - FLG PL 200 x 16 x 3170(SM490YA)



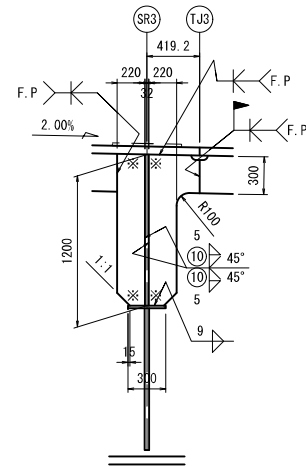
HJ1-TOP
1 - PL 1598 x 10 x 4062

J10-HJ1
1 - PL 689 x 10 x 4062

SR3

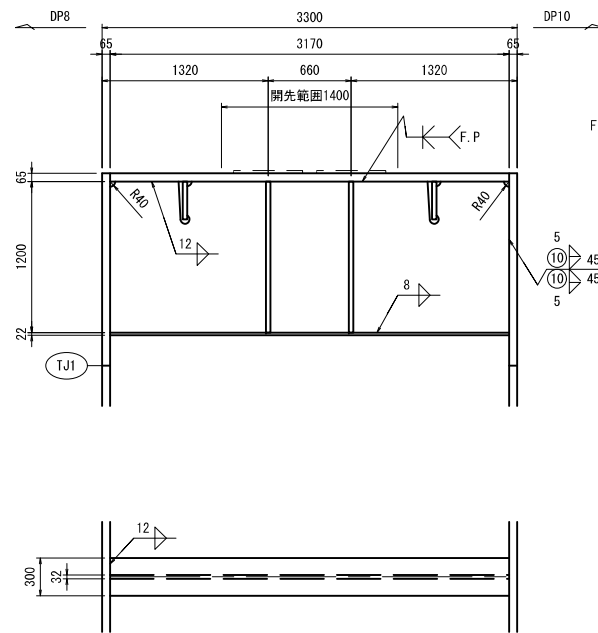


1 - WEB PL 1200 x 32 x 3170(SM490YB)
1 - FLG PL 300 x 22 x 3170(SM490YB)

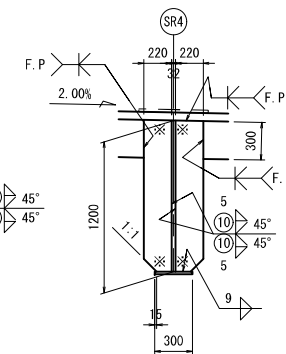


2 - PL 220 x 35 x 1205(SM490YB)
2 - PL 403 x 35 x 1200(SM490YB)

SR4



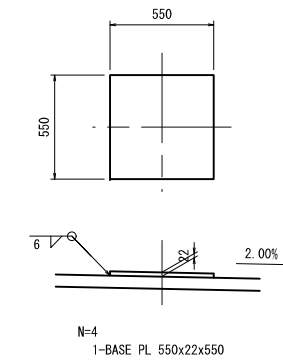
1 - WEB PL 1200 x 32 x 3170(SM490YB)
1 - FLG PL 300 x 22 x 3170(SM490YB)



2 - PL 220 x 35 x 1205(SM490YB)
2 - PL 220 x 35 x 1200(SM490YB)

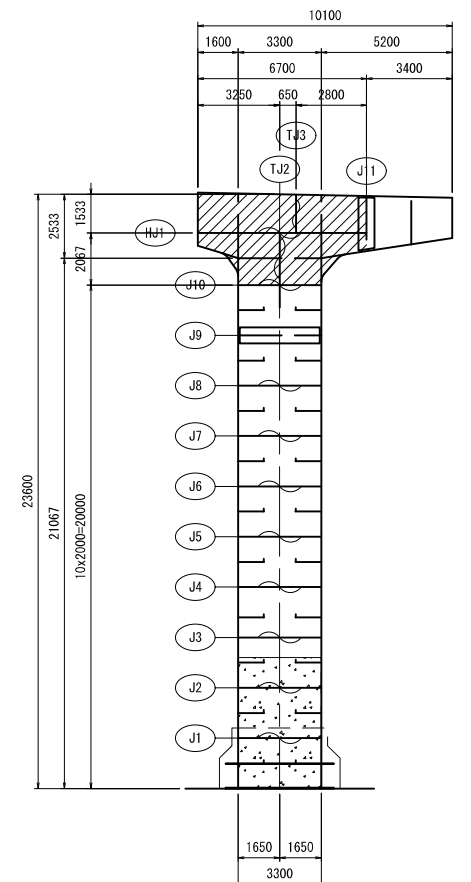
ジャッキアップ用
ベースプレート詳細

S=1:20



N=4
1-BASE PL 550x22x550

配置図



DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その4)

S=1:30

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	47 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その4)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

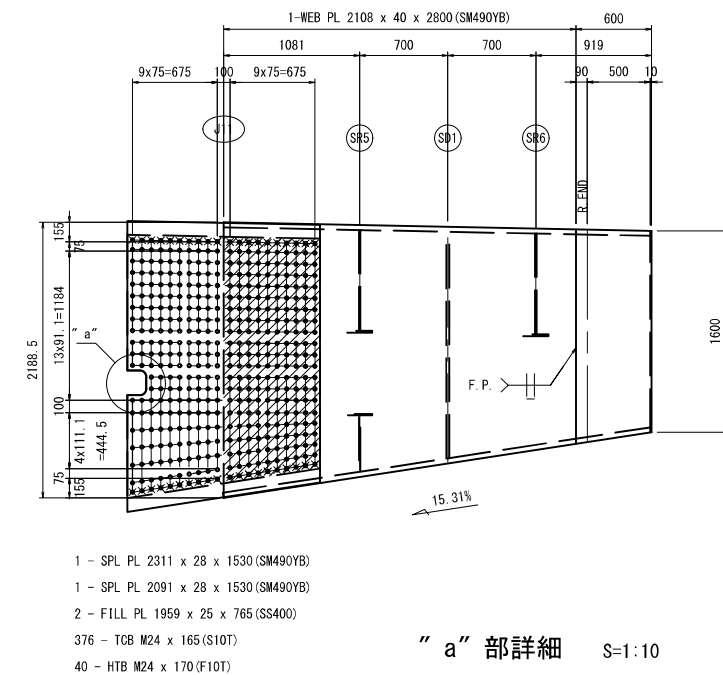
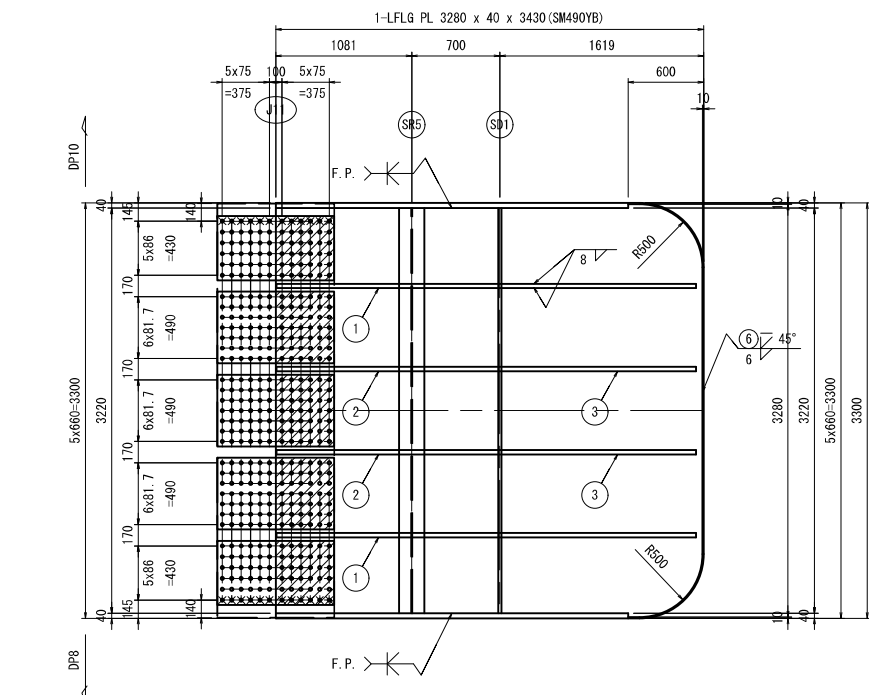
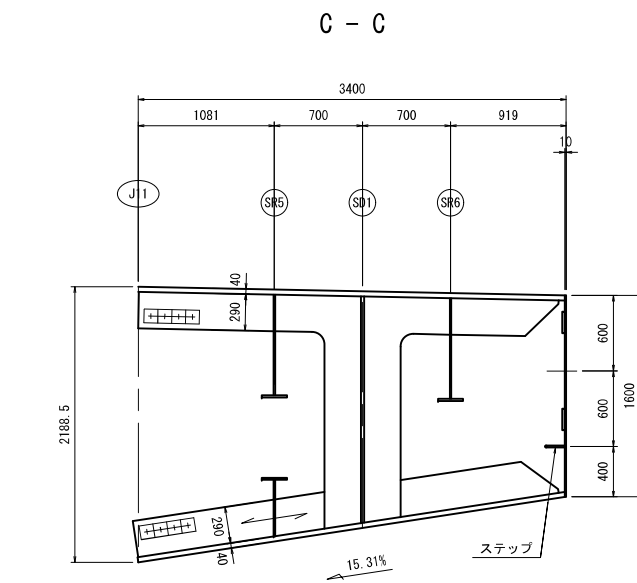
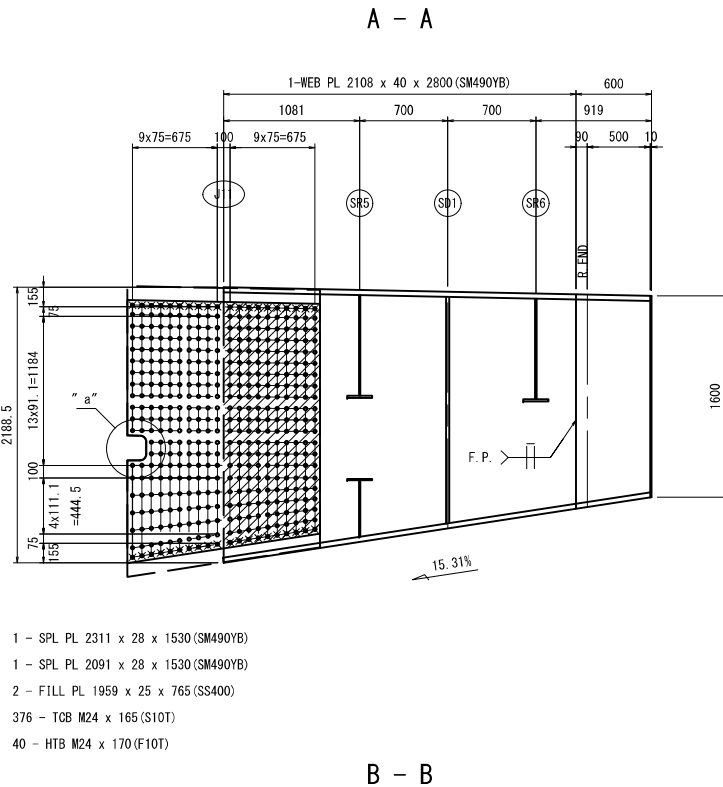
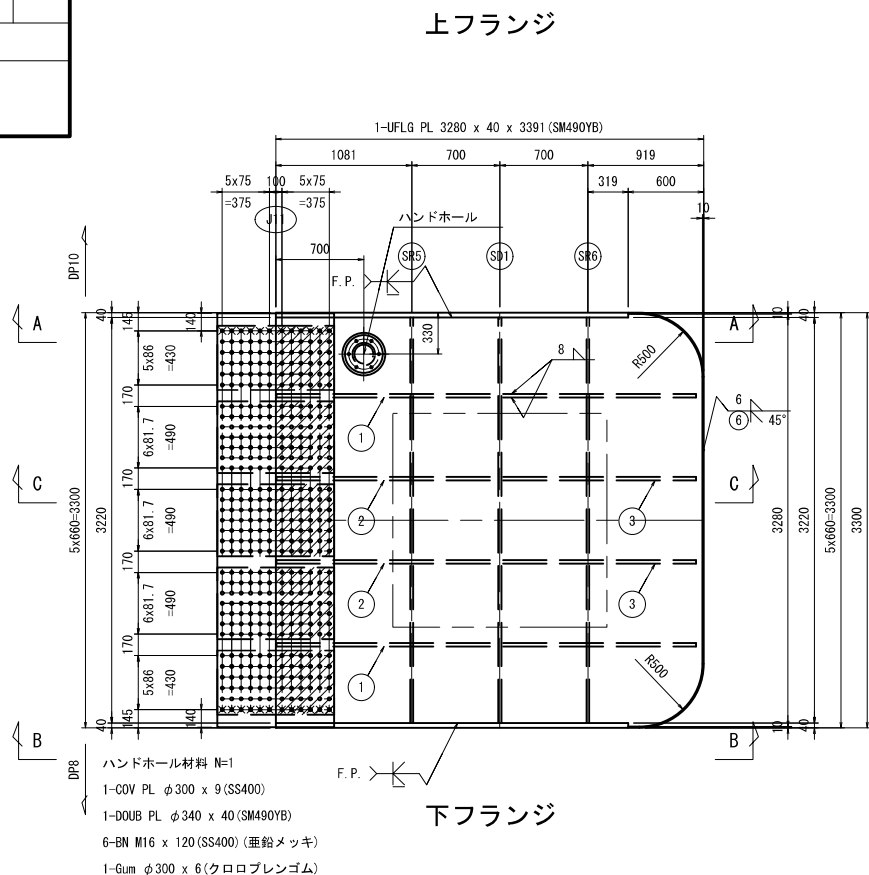
- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーリップは、全て R-35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
米印は、高力ボルト HTB M22 (F10T)、HTB M24 (F10T) を示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

- ① 2-RIB PL 290 x 28 x 3337 (SM490YB)
- ② 2-RIB PL 290 x 28 x 1077 (SM490YB)
- ③ 2-RIB PL 290 x 28 x 853 (SM490YB)

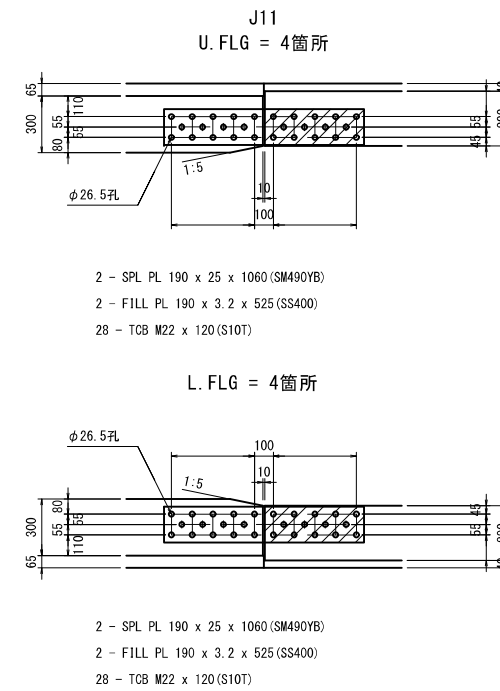
- 1 - SPL PL 3290 x 20 x 930 (SM490YB)
- 2 - SPL PL 510 x 26 x 930 (SM490YB)
- 3 - SPL PL 570 x 26 x 930 (SM490YB)
- 2 - FILL PL 510 x 25 x 465 (SS400)
- 3 - FILL PL 570 x 25 x 465 (SS400)
- 372 - TCB M22 x 150 (S10T)
- 24 - HTB M22 x 155 (F10T)

- ① 2-RIB PL 290 x 28 x 3381 (SM490YB)
- ② 2-RIB PL 290 x 28 x 1541 (SM490YB)
- ③ 2-RIB PL 290 x 28 x 1272 (SM490YB)

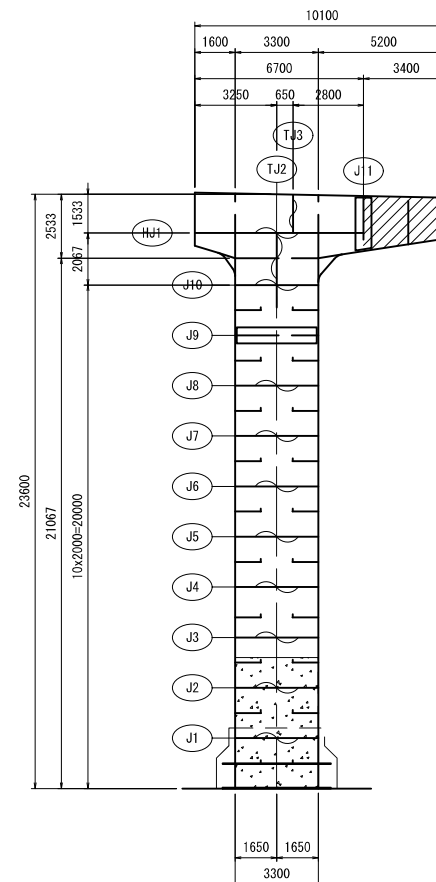
- 1 - SPL PL 3290 x 20 x 930 (SM490YB)
- 2 - SPL PL 510 x 26 x 930 (SM490YB)
- 3 - SPL PL 570 x 26 x 930 (SM490YB)
- 2 - FILL PL 510 x 25 x 465 (SS400)
- 3 - FILL PL 570 x 25 x 465 (SS400)
- 372 - TCB M22 x 150 (S10T)
- 24 - HTB M22 x 155 (F10T)



縦リブ継手詳細 S=1:20



配置図

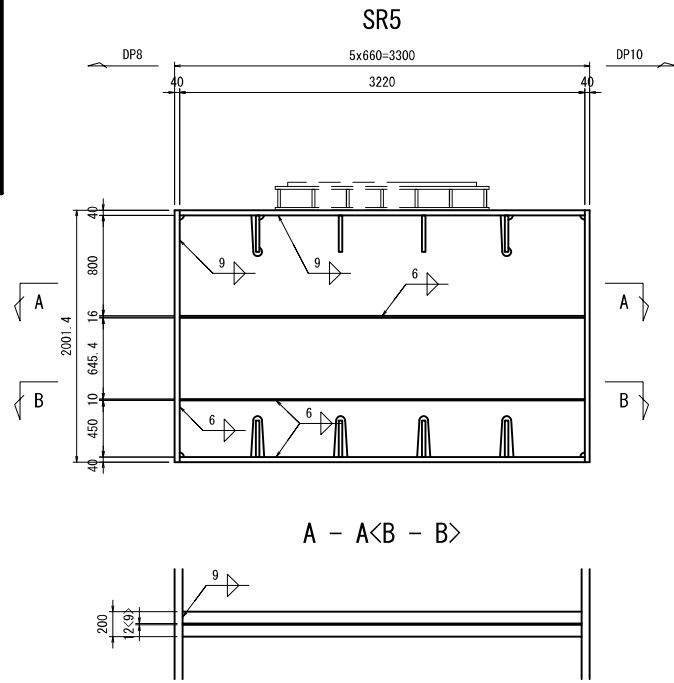


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事（2工区）		
図面番号	48 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その5)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

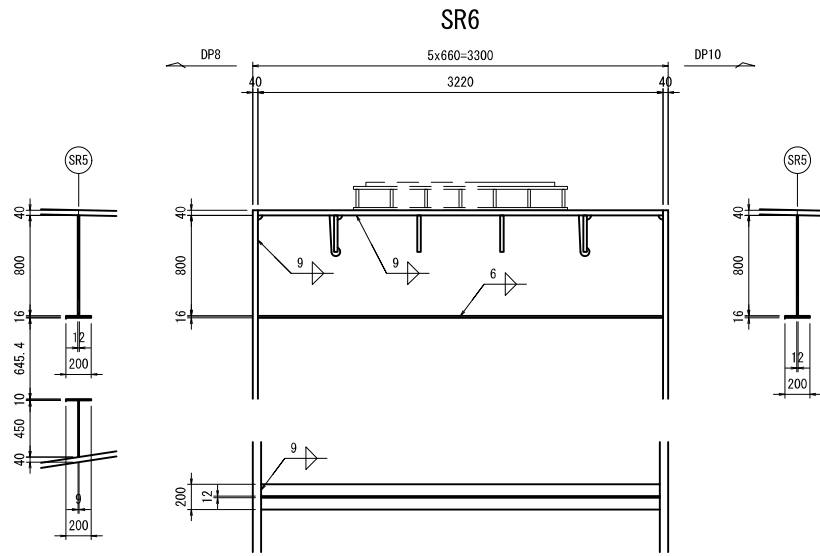
- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーリップは、全て R=35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
米印は、高力ボルト HTB M22 (F10T)、HTB M24 (F10T) を示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その5)

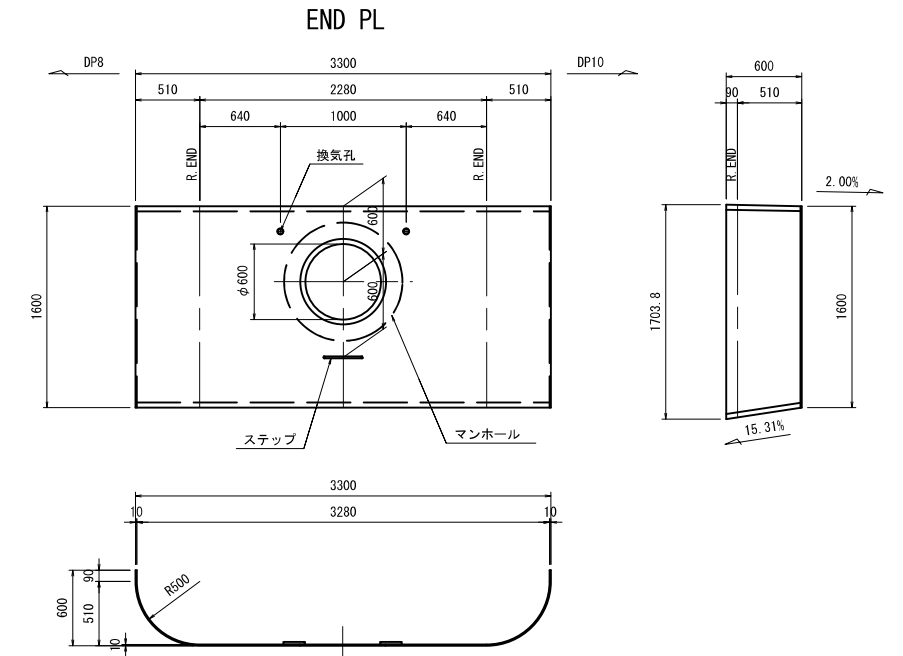
S=1:30



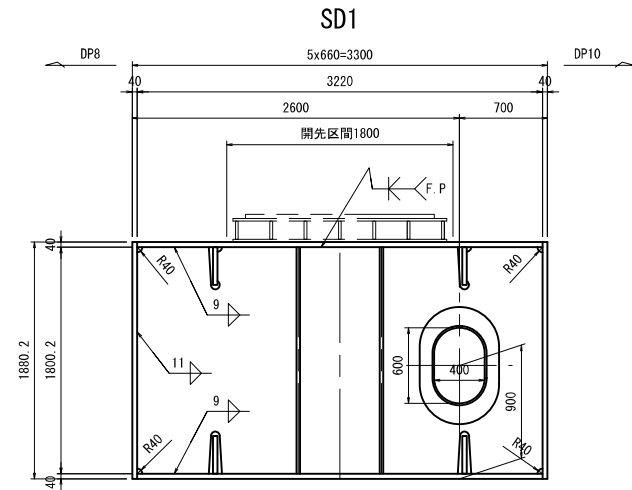
- 1 - WEB PL 800 x 12 x 3220 (SM490YA)
- 1 - FLG PL 200 x 16 x 3220 (SM490YA)
- 1 - WEB PL 450 x 9 x 3220 (SM490YA)
- 1 - FLG PL 200 x 10 x 3220 (SM490YA)



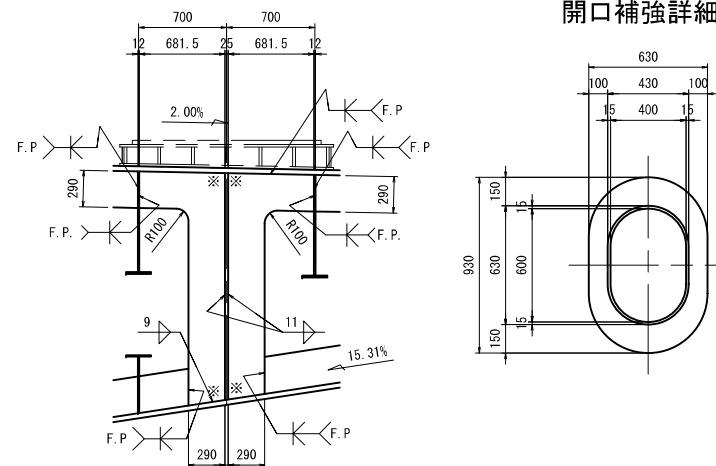
- 1 - WEB PL 800 x 12 x 3220 (SM490YA)
- 1 - FLG PL 200 x 16 x 3220 (SM490YA)



- 1 - PL 1704 x 10 x 4062
- 1 - DOUB PL φ940 x 20
- 1 - RB φ16 x 600 (SS400)



- 1 - DIA PL 1800 x 25 x 3220 (SM490YB)
- 2 - DUB PL 630 x 25 x 930 (SM490YB)

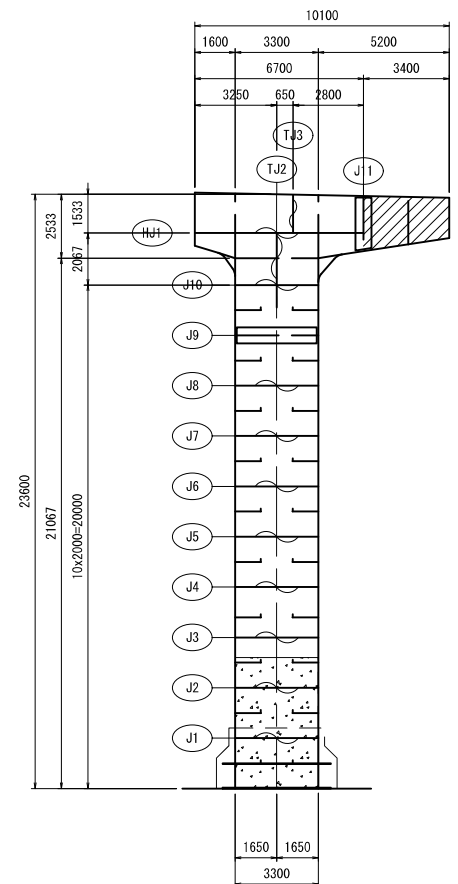
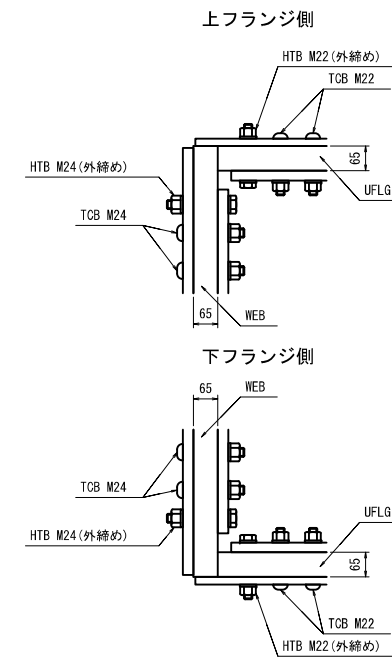


- 2 - PL 682 x 28 x 1860 (SM490YB)
- 2 - PL 682 x 28 x 1798 (SM490YB)

S=1:20

ボルト締め付け要領

S=1:10



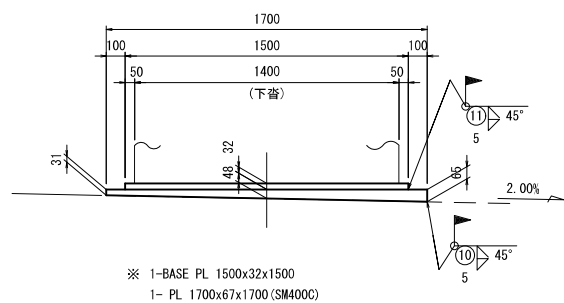
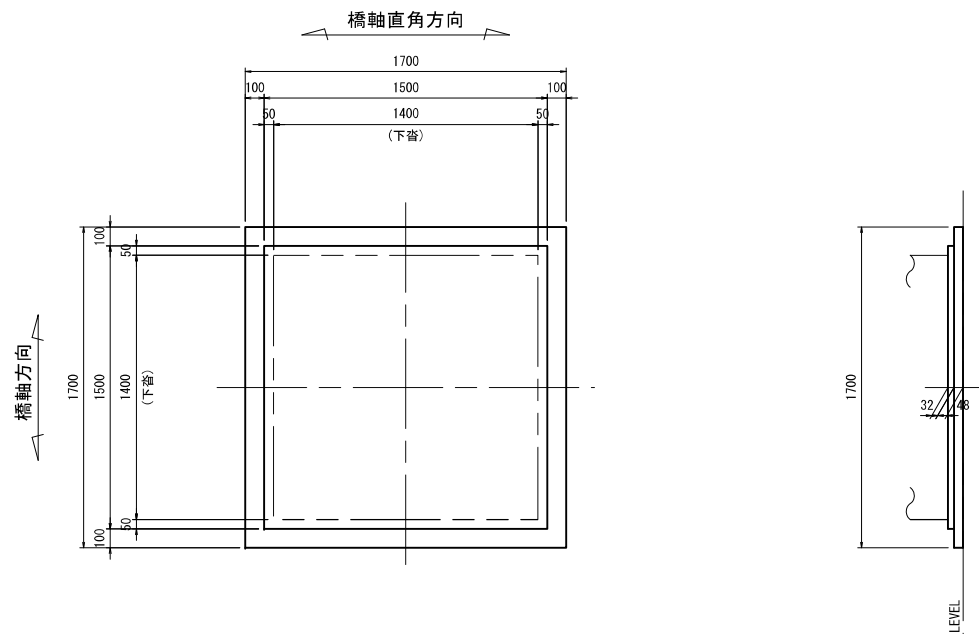
DP9鋼製橋脚 沓座詳細図

S=1:20

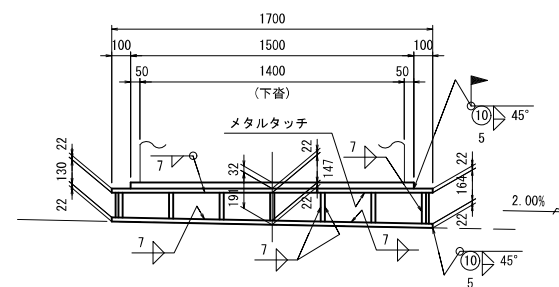
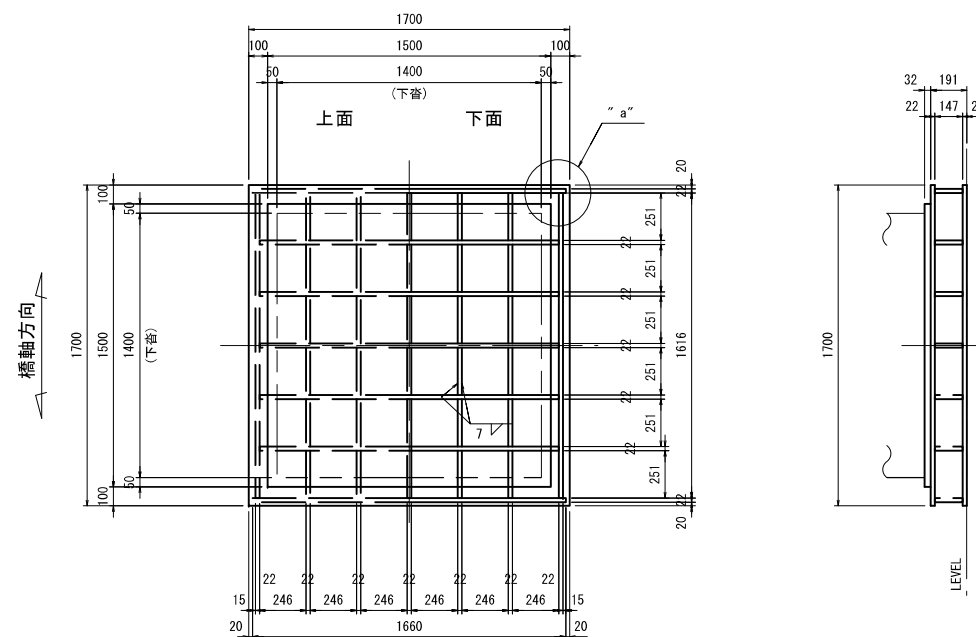
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	49 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 沓座詳細図	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - ※印部ベースプレート板厚は、支承設置高を現場実測後決定のこと。
また、※印部ベースプレートは、上部施工範囲とする。

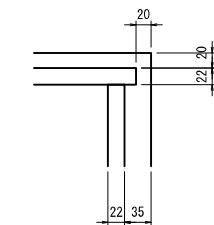
左支承



右支承



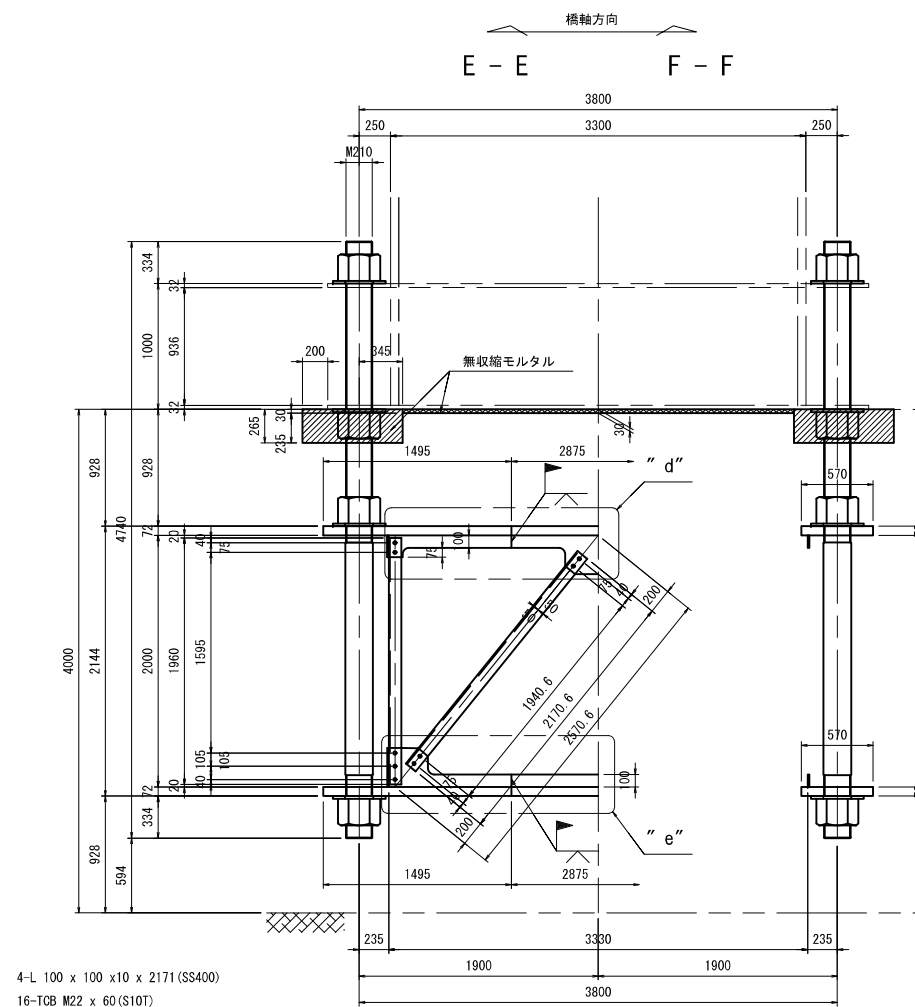
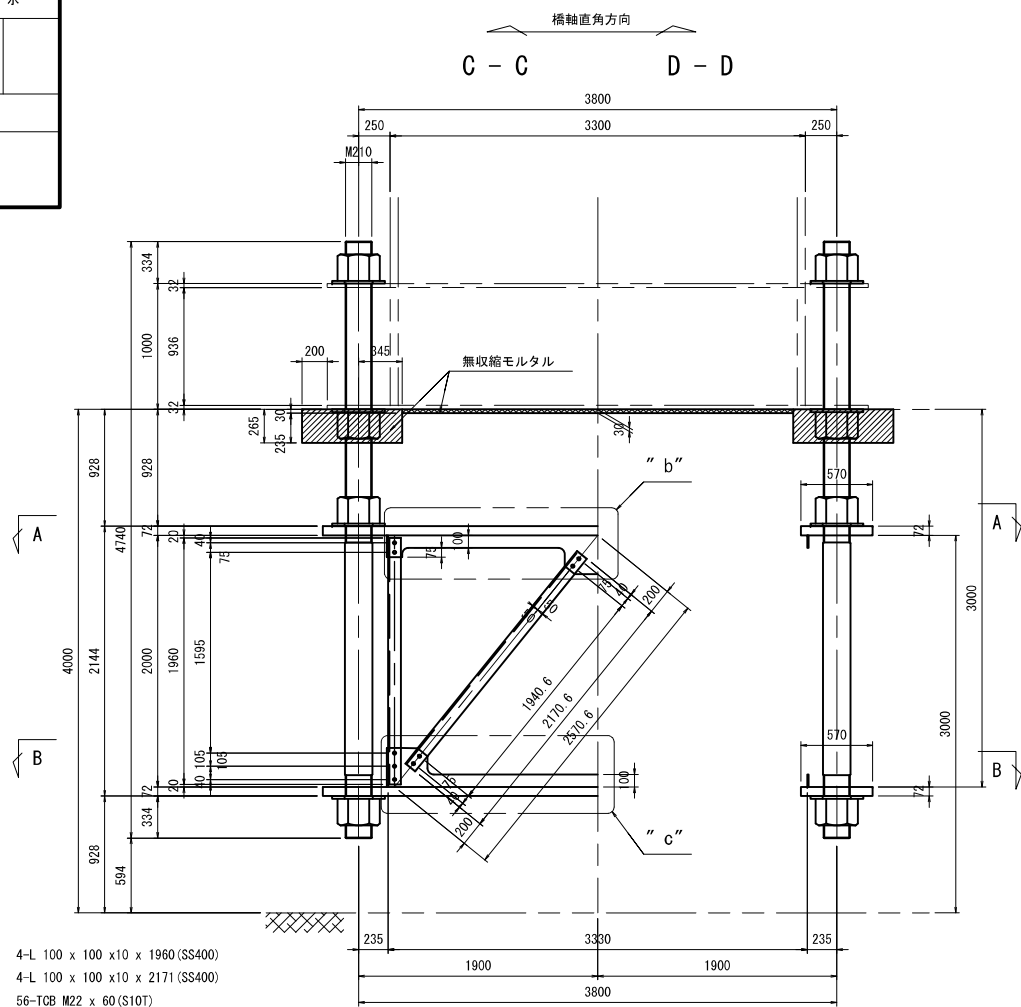
"a" 部詳細 S=1:5



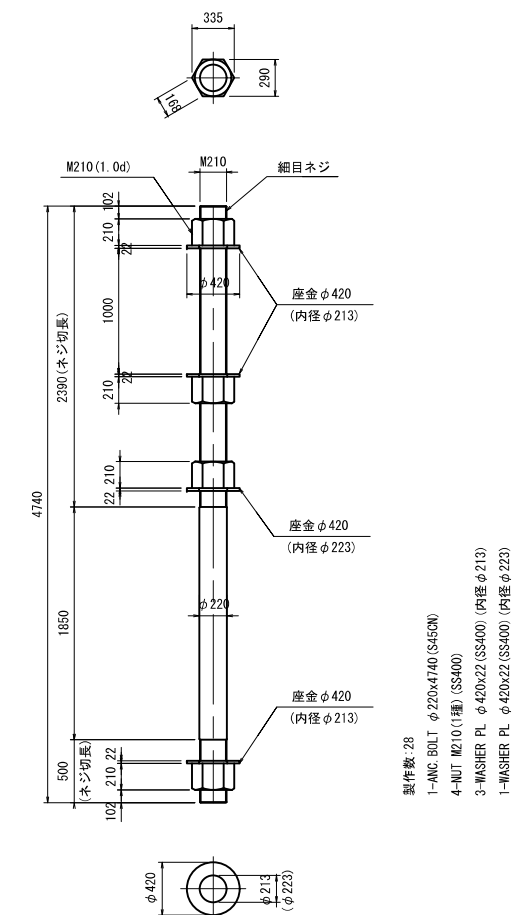
工事名	広島高速5号線温品JCT橋上工(2工区)		
図面番号	50 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP9鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その1) S=1:30

- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーリップは、全て R-35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。

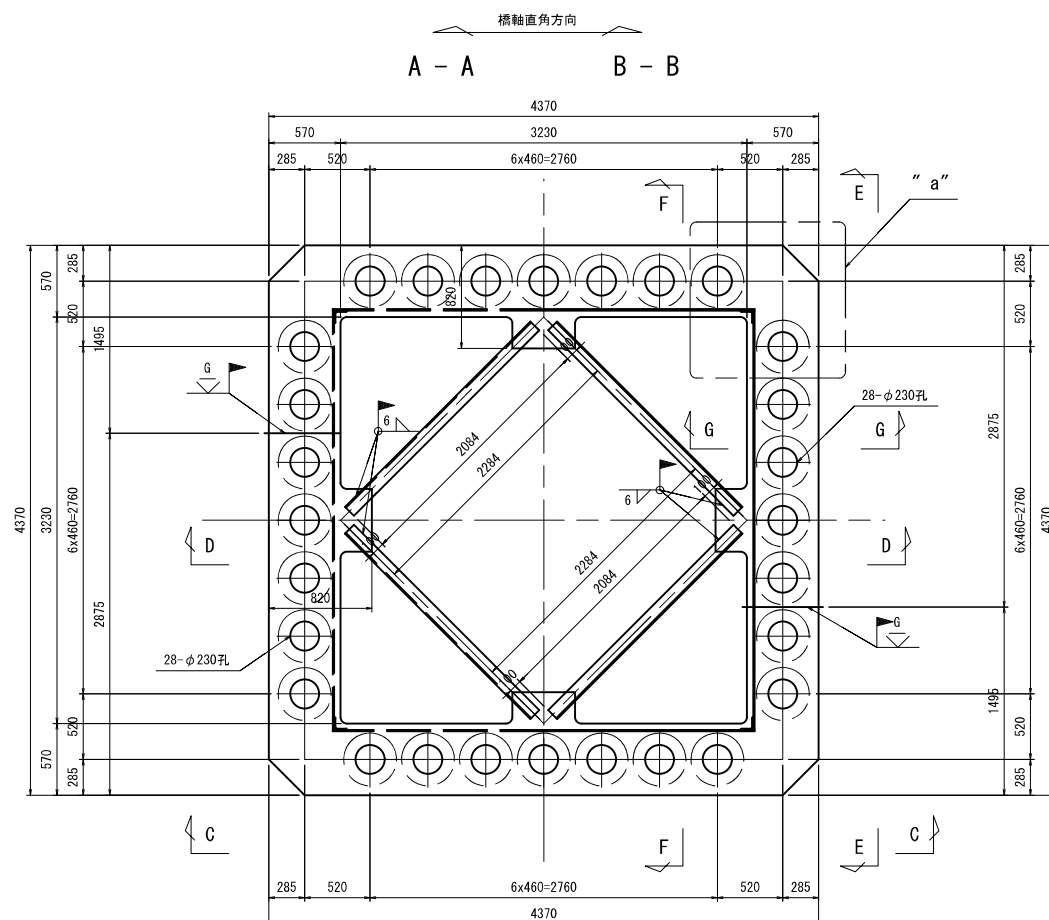


アンカーボルト詳細

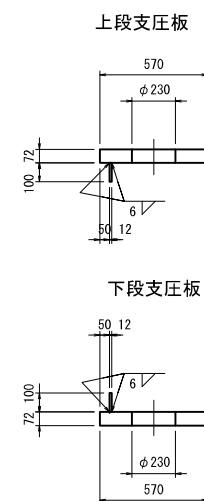


- 上段材料
- 2 - PL 2875 x 72 x 4370 (SM520C)
 - 2 - R1B PL 308 x 12 x 3354
 - 2 - R1B PL 308 x 12 x 2335
 - 2 - R1B PL 175 x 12 x 975
 - 4-L 100 x 100 x 10 x 2084 (SS400)

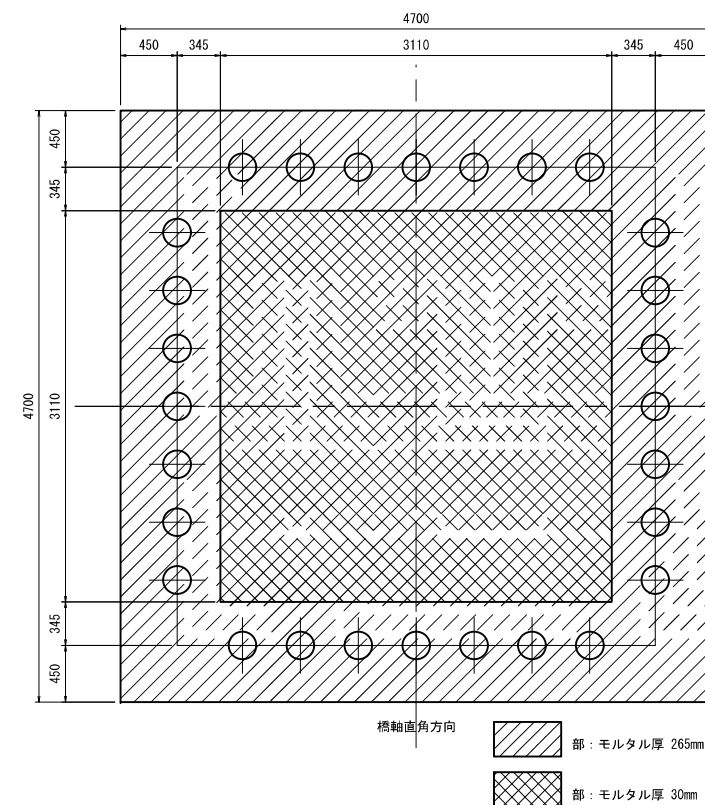
- 下段材料
- 2 - PL 2875 x 72 x 4370 (SM520C)
 - 2 - R1B PL 310 x 12 x 3354
 - 2 - R1B PL 310 x 12 x 2355
 - 2 - R1B PL 310 x 12 x 975
 - 4-L 100 x 100 x 10 x 2084 (SS400)



G - G S=1:20



無収縮モルタル平面図

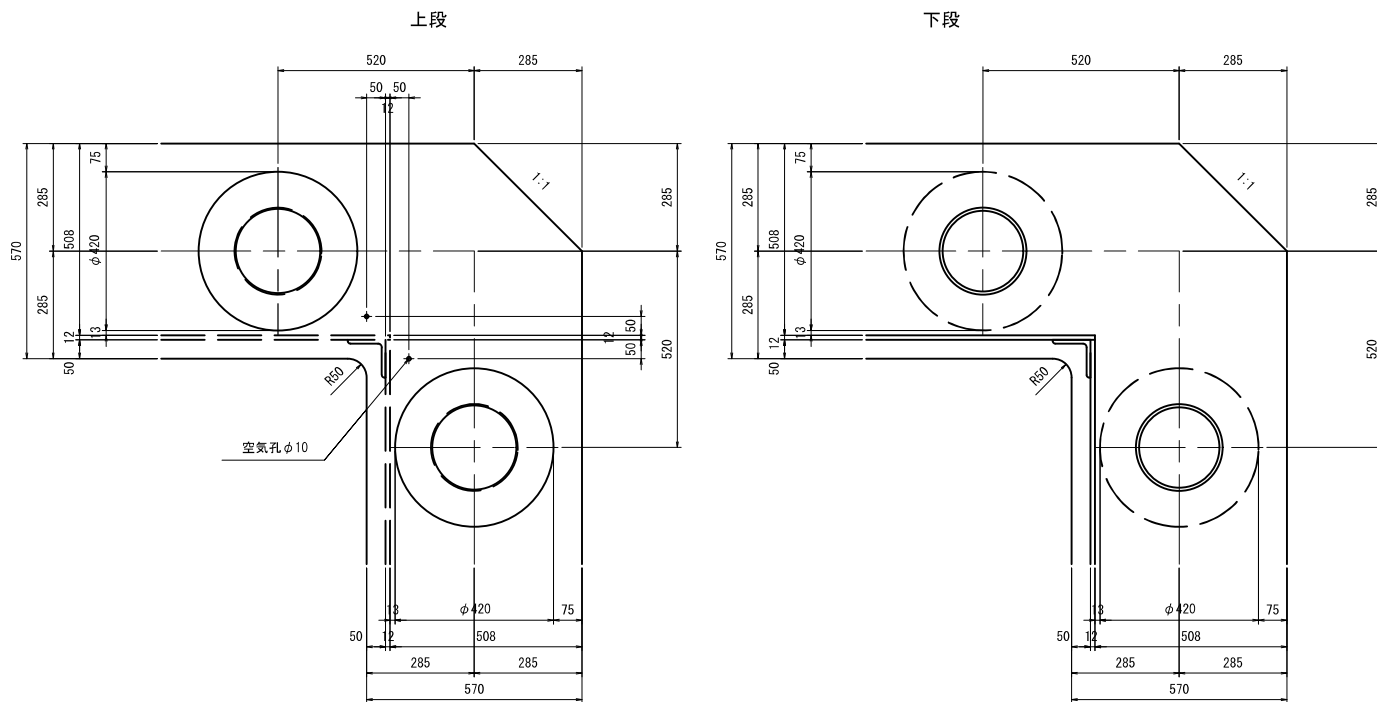


DP9鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その2) S=1:10

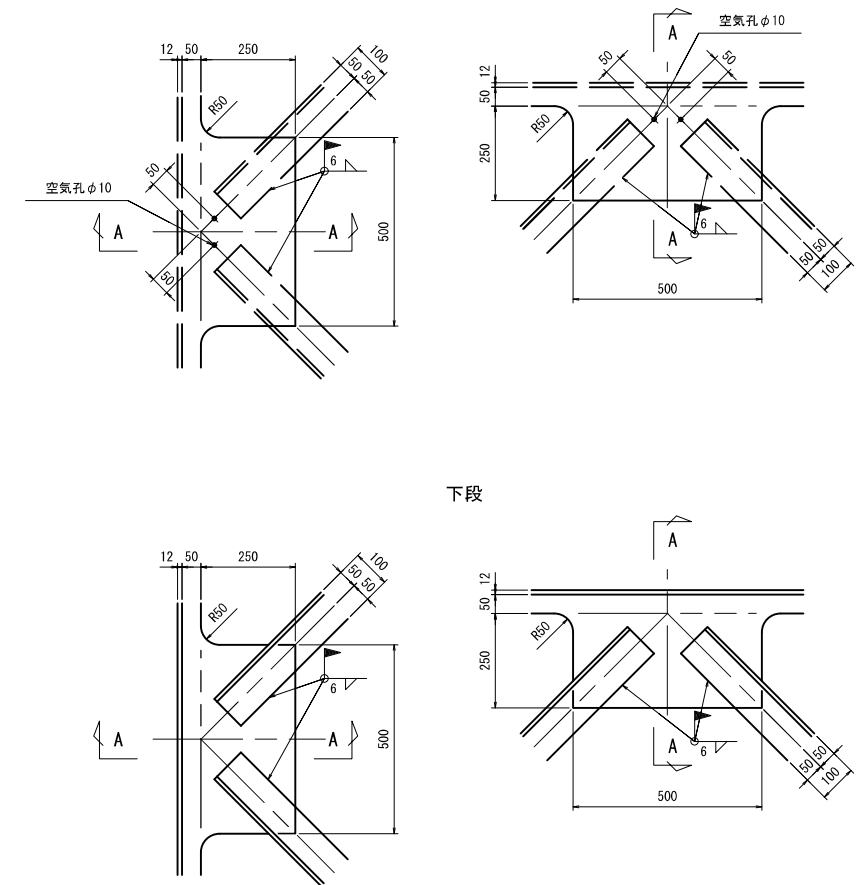
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	51 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - ◆印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。

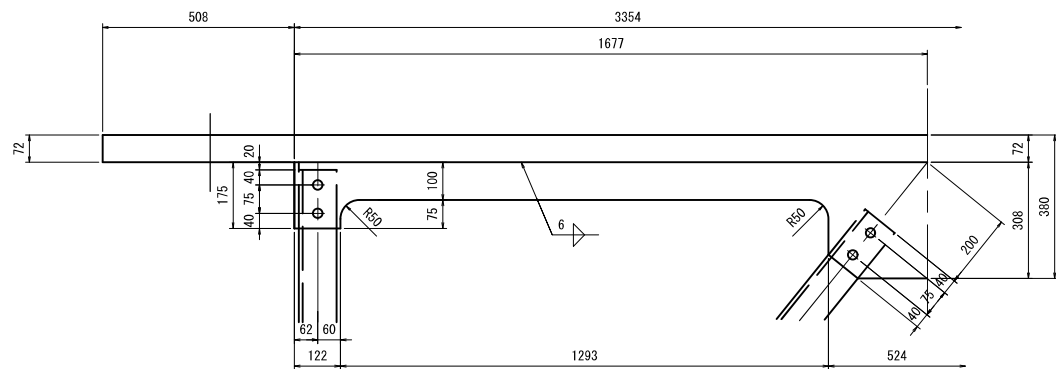
"a" 部詳細



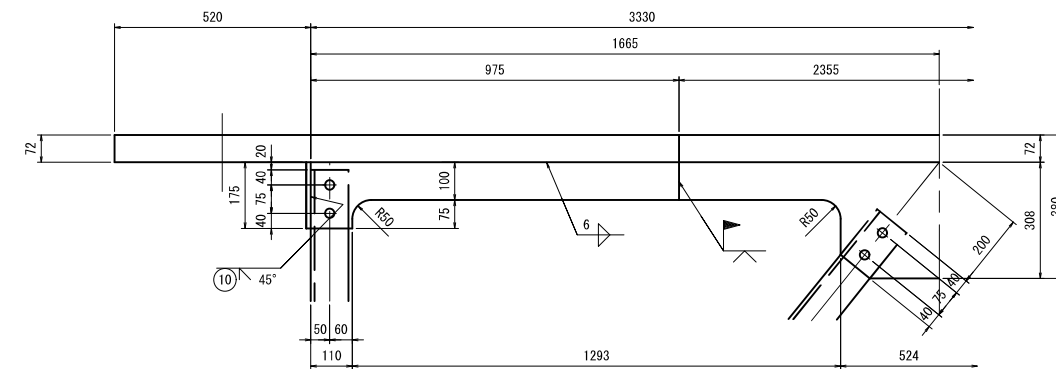
平面ガセット詳細



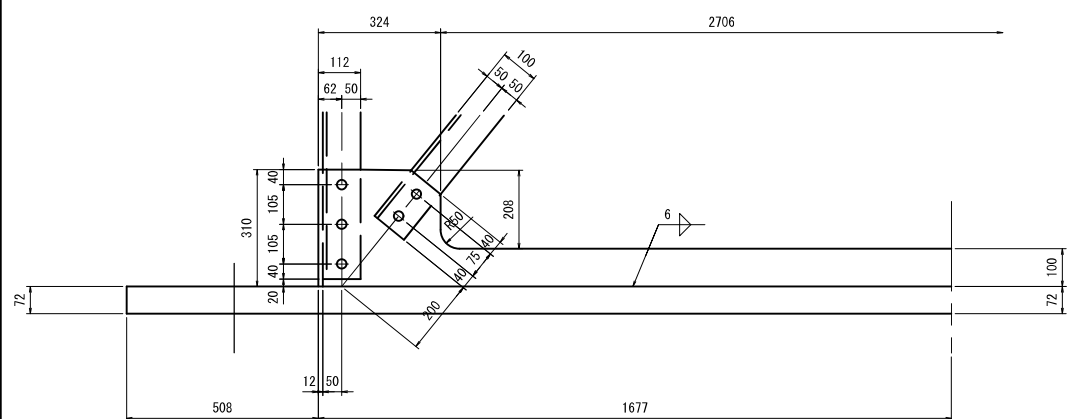
"b" 部詳細



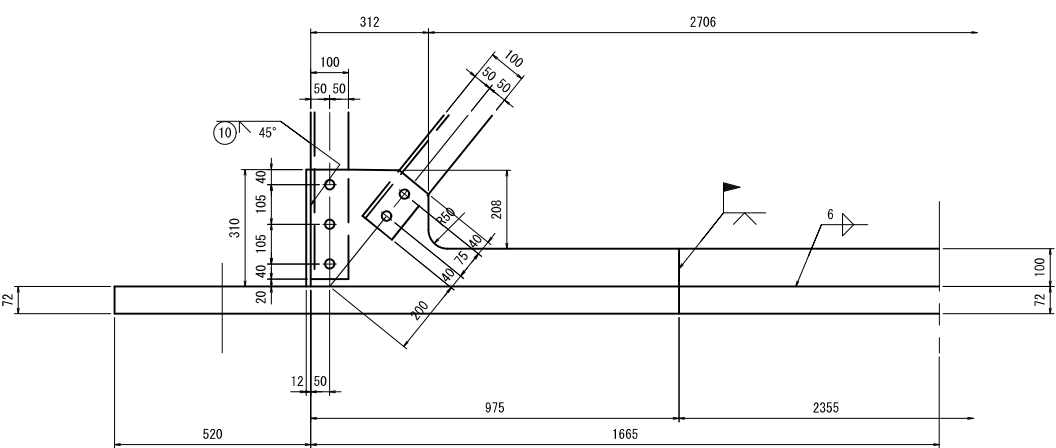
"d" 部詳細



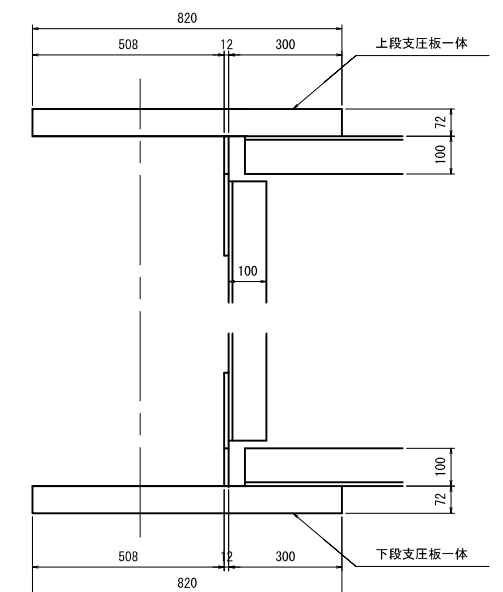
"c" 部詳細



"e" 部詳細



A - A

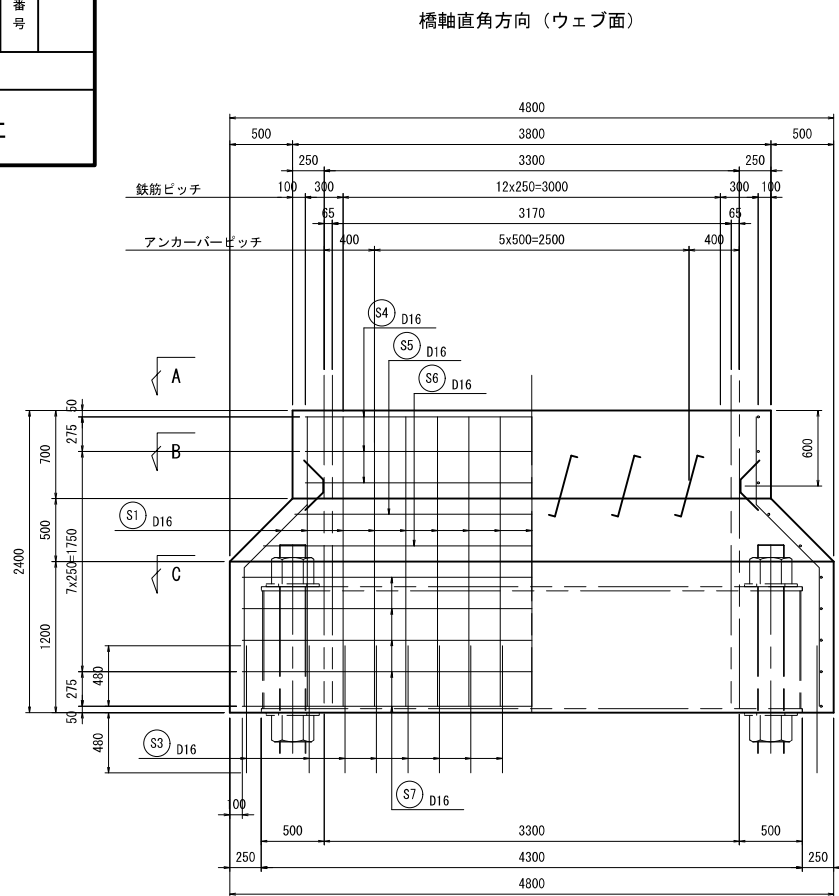


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	52 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP9鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その1)

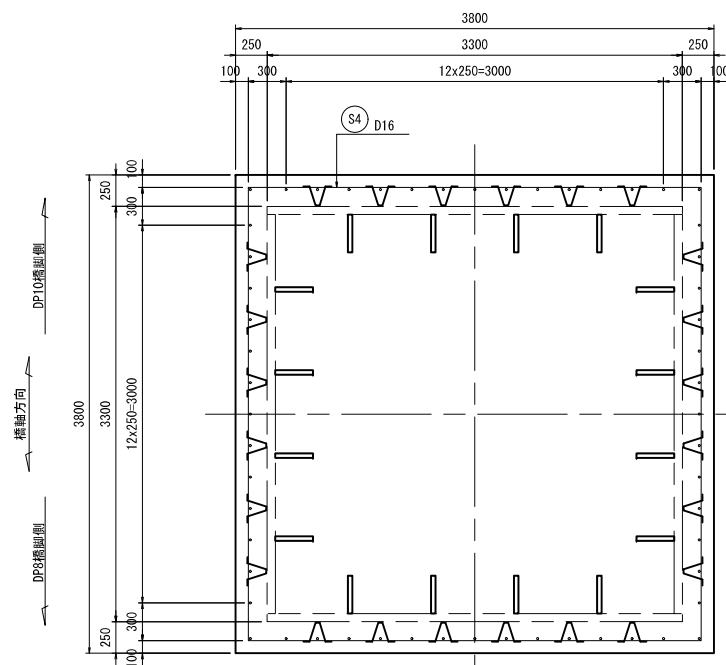
S=1:30

注記
1. 鉄筋の材質は、全てSD345とする。

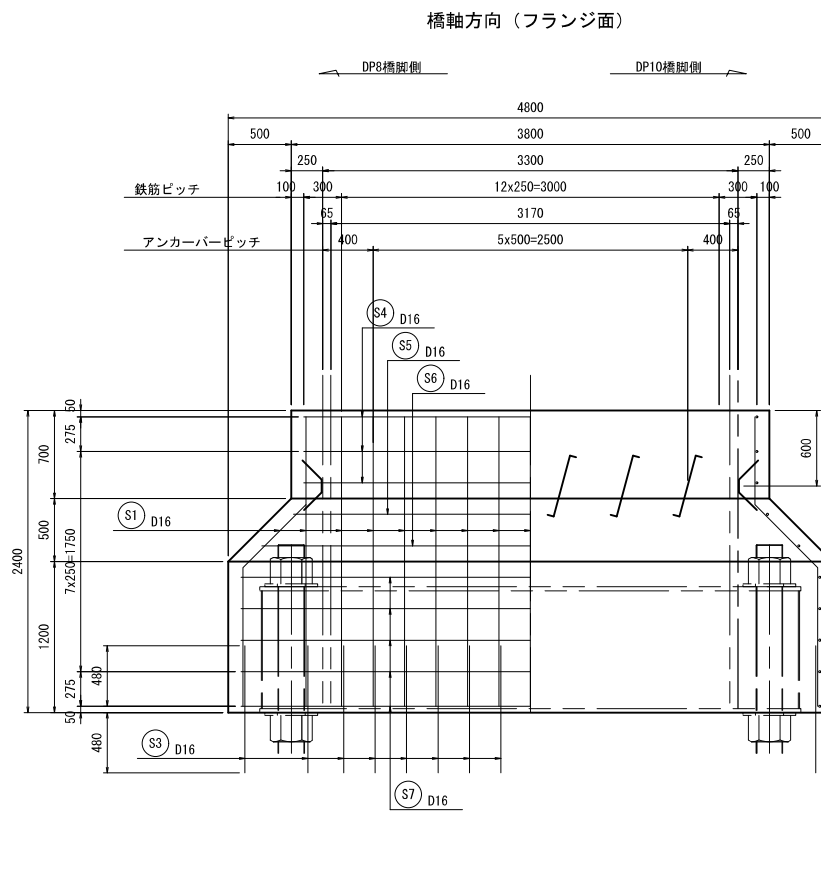


A - A

橋軸直角方向



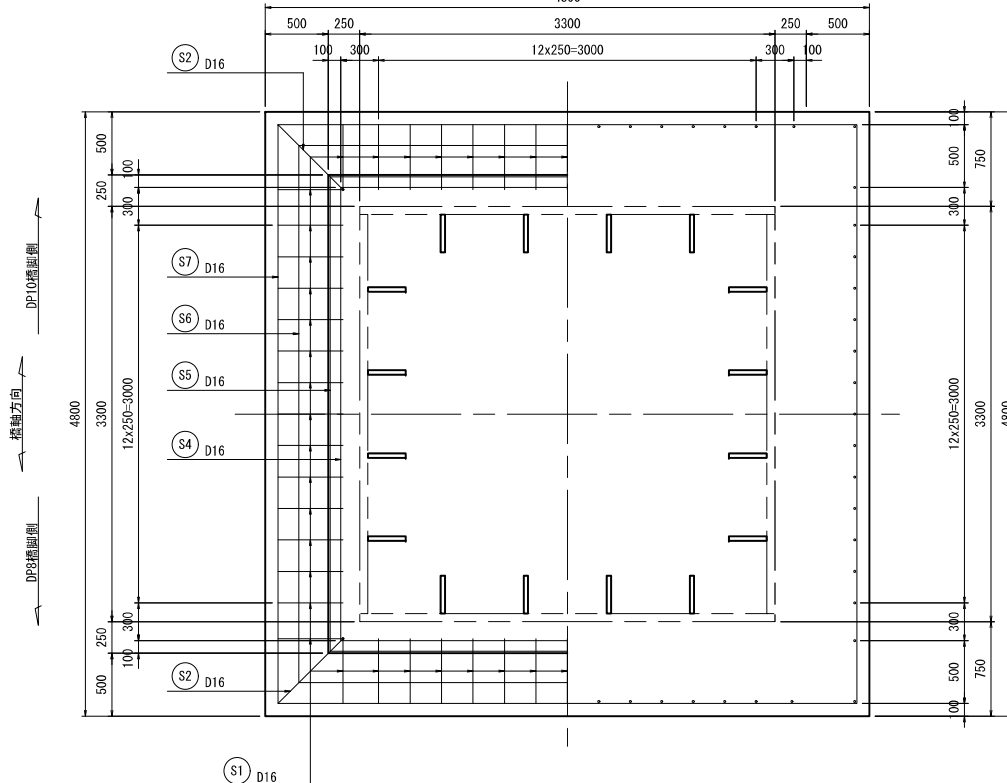
24-RB φ16x600(SS400)



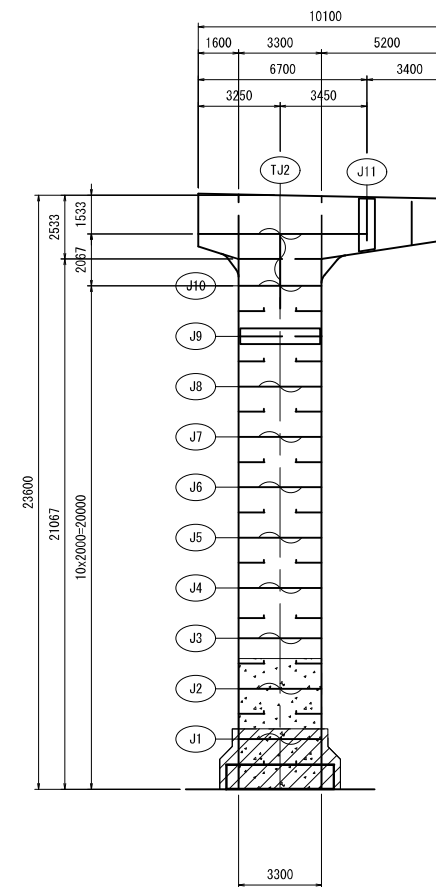
B - B

C - C

橋軸直角方向

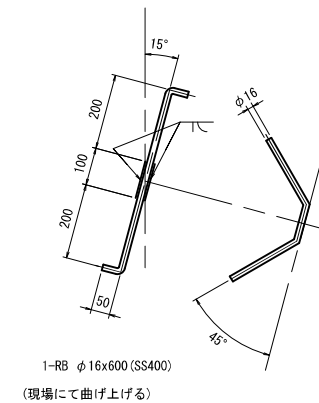


配置図



アンカーバー詳細図

S=1:10



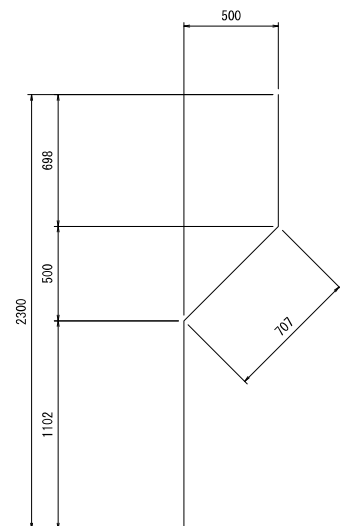
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	53 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP9鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その2)

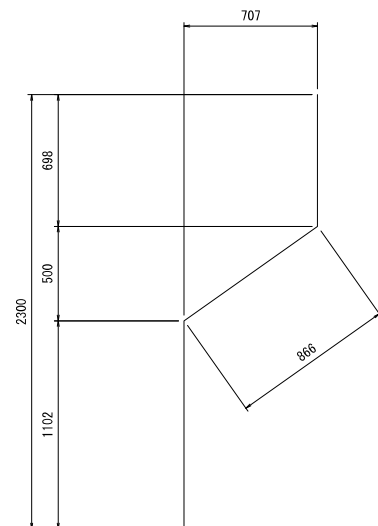
S=1:20

鉄筋加工図

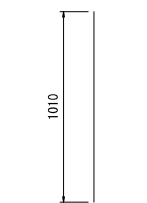
注記
1. 鉄筋の材質は、全てSD345とする。



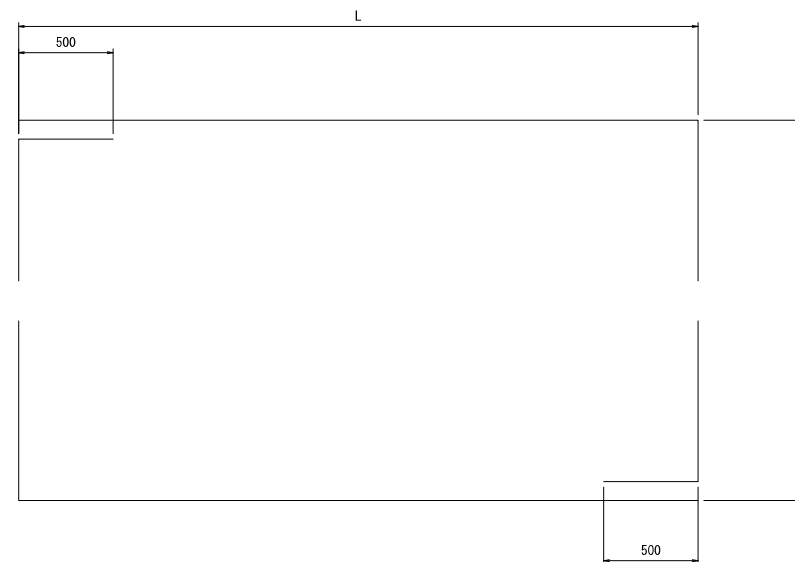
Ⓢ1 60 - D16 x 2510



Ⓢ2 4 - D16 x 2670



Ⓢ3 64 - D16 x 1010



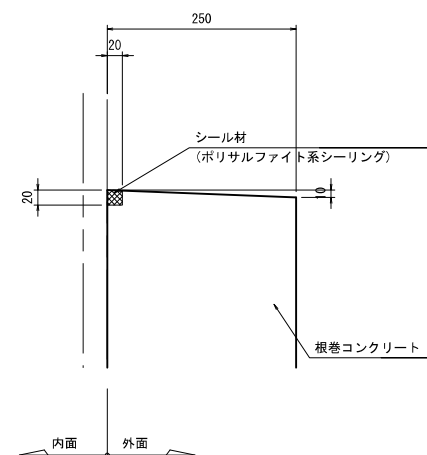
Ⓢ4 6 - D16 x 7700
Ⓢ5 2 - D16 x 8030
Ⓢ6 2 - D16 x 9030
Ⓢ7 10 - D16 x 9700

符号	L
S4	3600
S5	3767
S6	4267
S7	4600

鉄筋質量表

記号	材質	径	長さ	本数	単質	質量/本	質量	摘要
S1	SD345	D16	2510	60	1.56	3.92	235	
S2	SD345	D16	2670	4	1.56	4.17	17	
S3	SD345	D16	1010	64	1.56	1.58	101	
S4	SD345	D16	7700	6	1.56	12.01	72	
S5	SD345	D16	8030	2	1.56	12.53	25	
S6	SD345	D16	9030	2	1.56	14.09	28	
S7	SD345	D16	9700	10	1.56	15.13	151	
小計							629 kg	
鉄筋質量合計							D16 (SD345)	629 kg
根巻コンクリート体積				($\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$)			16.59 m ³	
型枠面積								45.84 m ²
シール材体積				(ポリサルファイド系)				0.006 m ³
中埋めコンクリート体積				($\sigma_{ck} = 13.5 \text{ N/mm}^2$)				50.83 m ³
無収縮モルタル体積								3.04 m ³

根巻コンクリート上部詳細 S=1:5



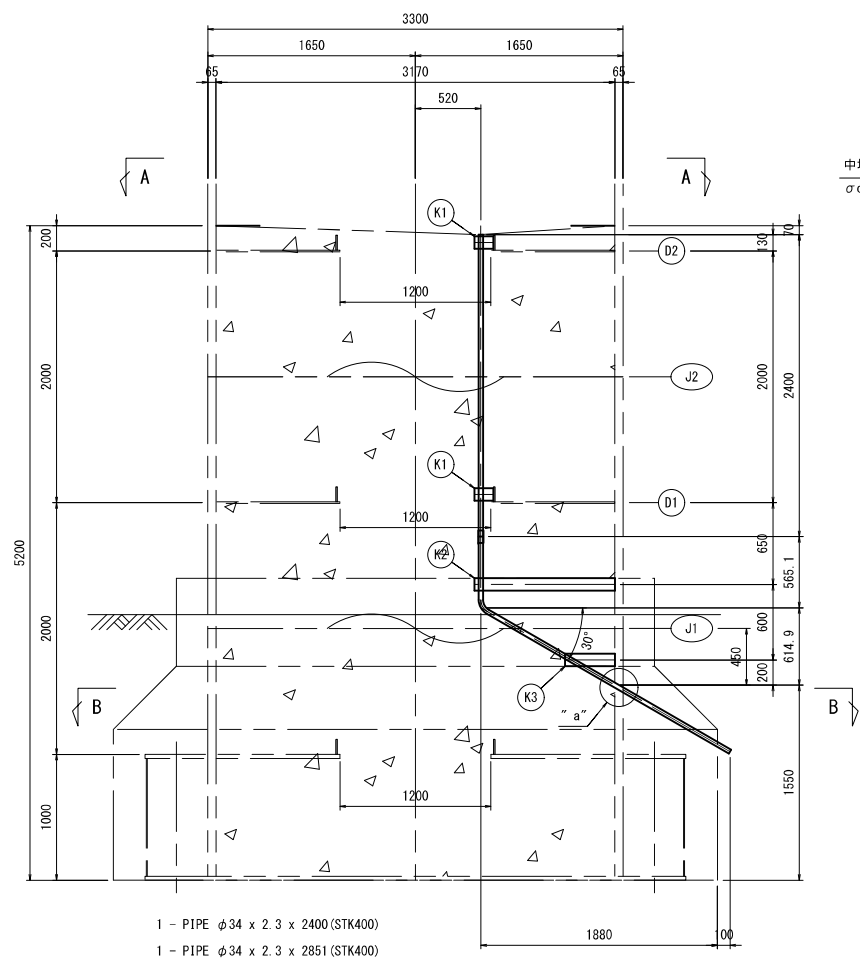
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事 (2工区)		
図面番号	54 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 中埋めコンクリート図	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP9鋼製橋脚 中埋めコンクリート図 S=1:30

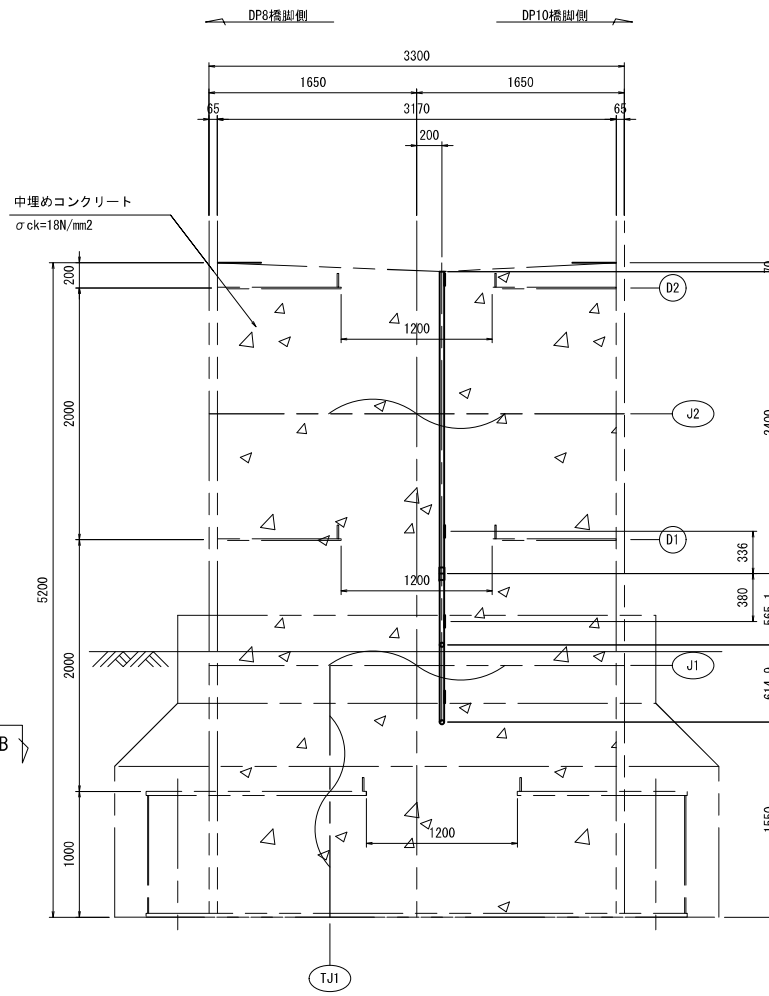
注記

- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- 鋼管、Uボルト、ナットは、全て溶融亜鉛めっきとし、規格は全てJIS 8641 HDZT49とする。
- ナットは、ゆるみ止めナットを使用する。

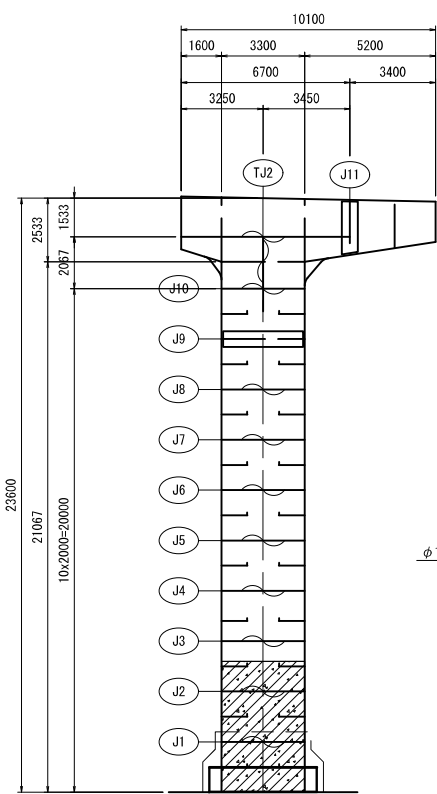
橋軸直角方向 (ウェブ面)



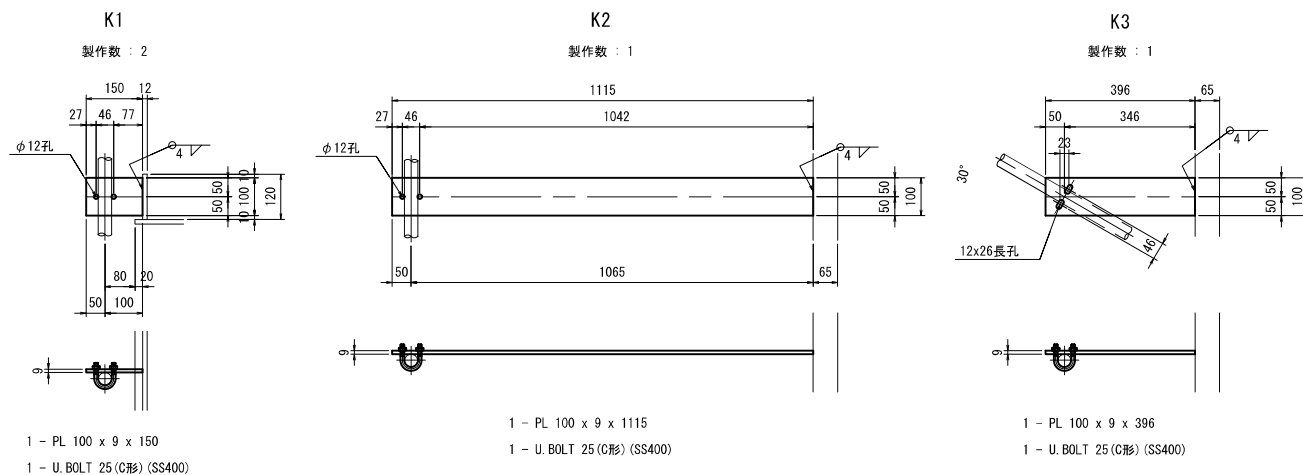
橋軸方向 (フランジ面)



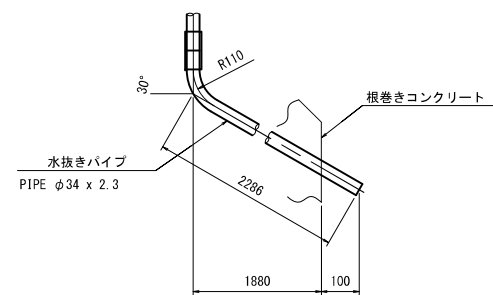
配置図



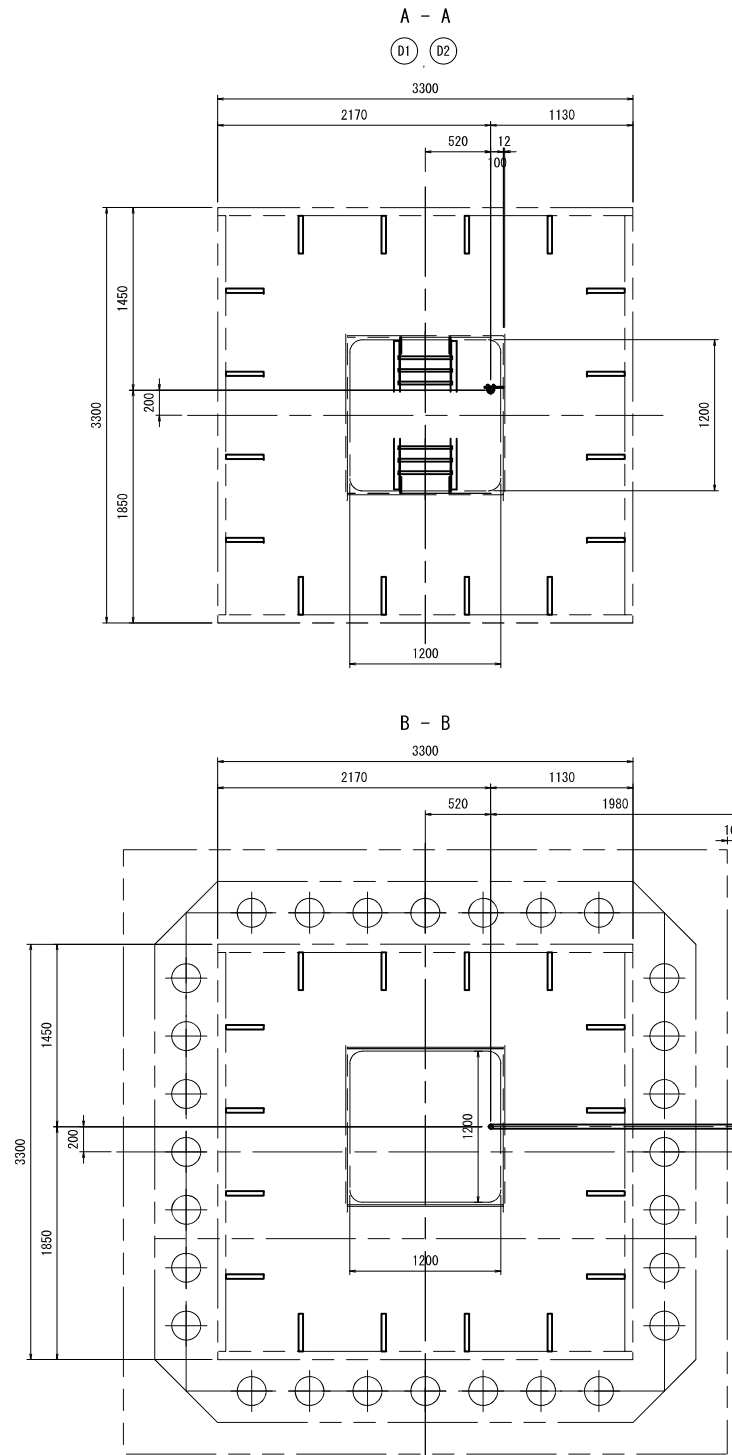
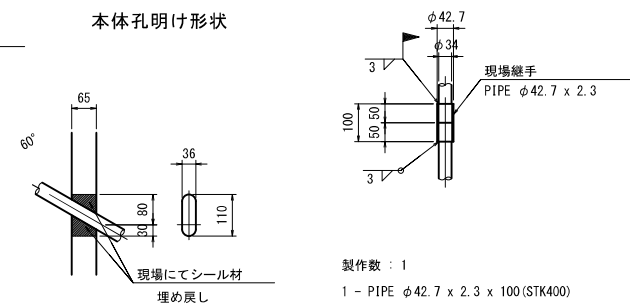
支持金具詳細図 S=1:10



"a"部詳細 S=1:10



水抜きパイプ継手詳細

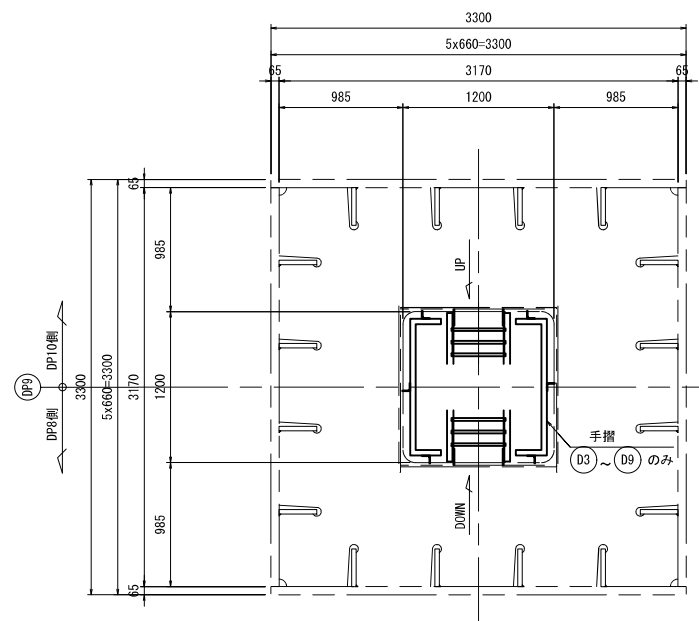


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	55 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 脚内梯子(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

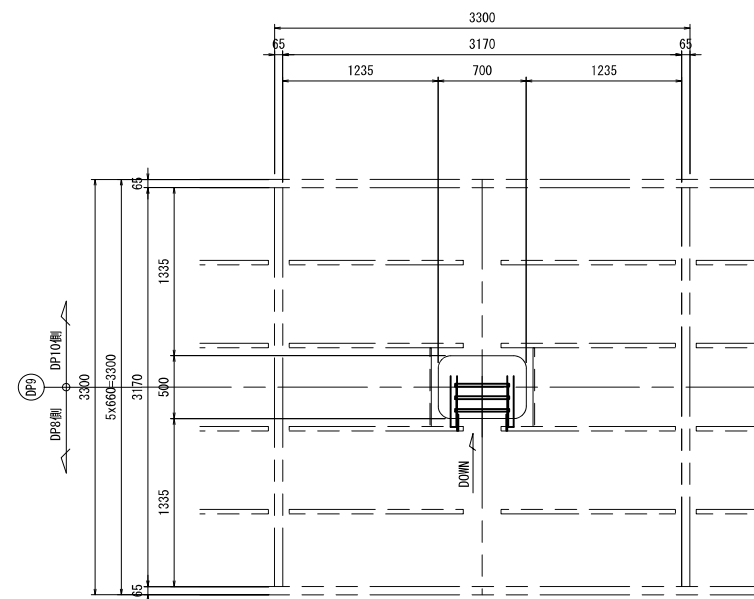
- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーリップは、全てR35とする。
 3. 本体付き(※印)以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
規格は、梯子及び手摺支柱は、JIS H8641 HD2T77とする。
手摺パイプ、ボルトナット及び座金は、HD2T49とする。
 4. ナットは、ゆるみ止めナットを使用する。
 5. TYPE-A' は、架設時のみに使用するため、設計数量に含めない。
 6. 各部詳細は、脚内梯子(その2)を参照のこと。

DP9鋼製橋脚 脚内梯子(その1) S=1:30

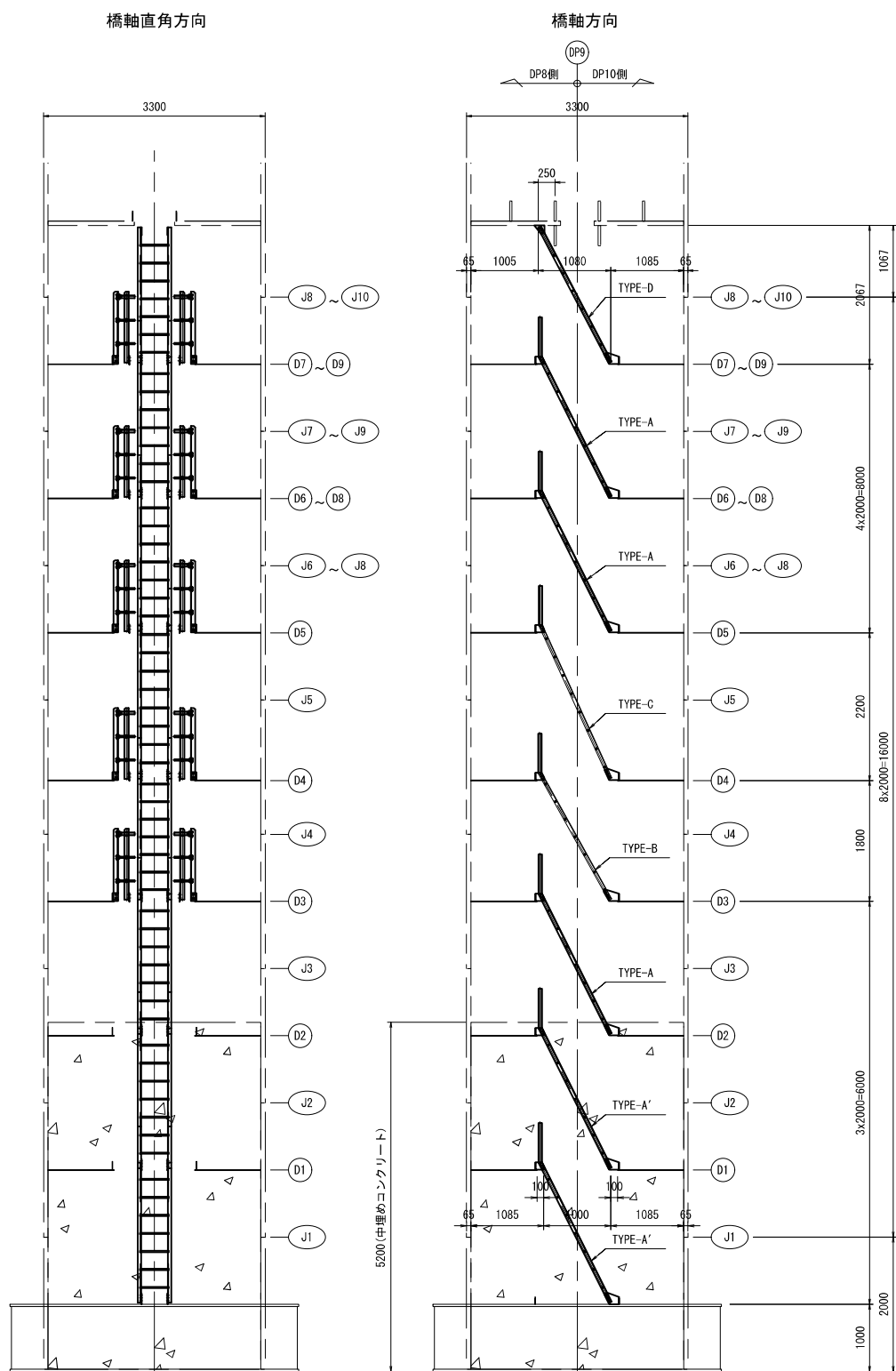
ダイヤフラム部平面図



隅角部平面図

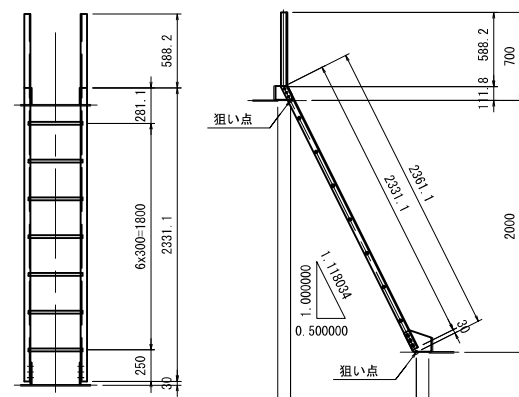


配置図 S=1:50



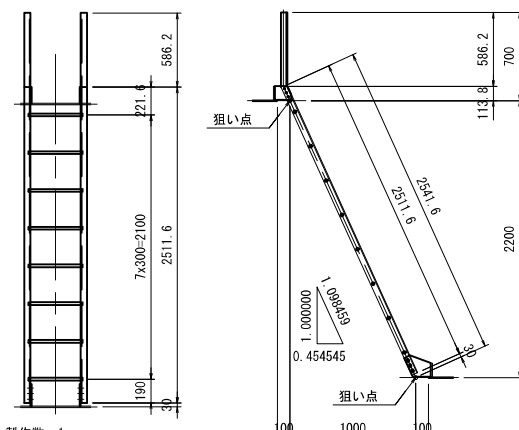
梯子詳細

TYPE-A <TYPE-A'>



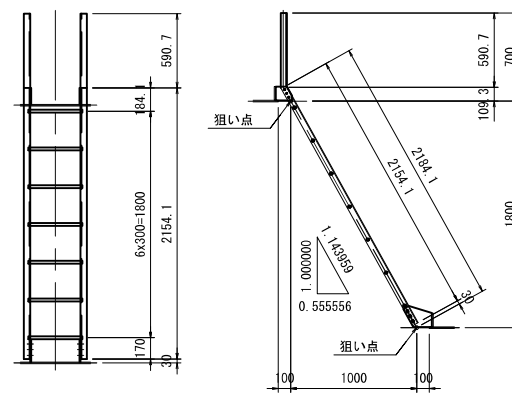
- 製作数: 5<2>
- ※ 2 - PL 110 x 9 x 130
 - ※ 2 - PL 168 x 9 x 218
 - 2 - L 50 x 50 x 6 x 593 (SS400)
 - 2 - L 50 x 50 x 6 x 2336 (SS400)
 - 7 - RB φ22 x 430 (SS400)
 - 12 - BN M10 x 35 (2-W付)

TYPE-C



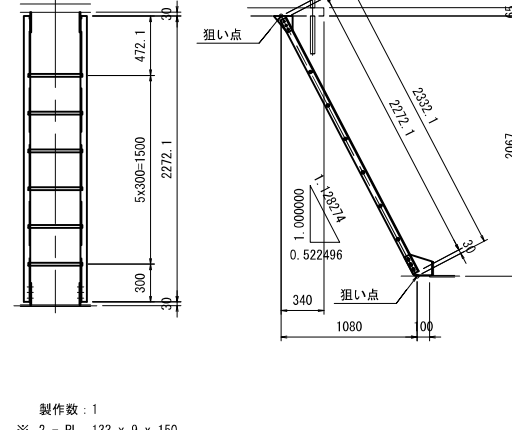
- 製作数: 1
- ※ 2 - PL 110 x 9 x 130
 - ※ 2 - PL 170 x 9 x 213
 - 2 - L 50 x 50 x 6 x 591 (SS400)
 - 2 - L 50 x 50 x 6 x 2516 (SS400)
 - 8 - RB φ22 x 430 (SS400)
 - 12 - BN M10 x 35 (2-W付)

TYPE-B



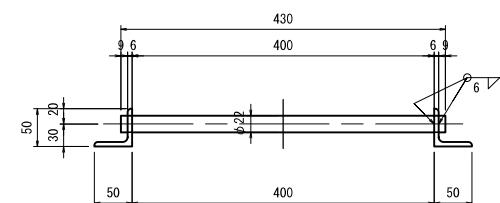
- 製作数: 1
- ※ 2 - PL 110 x 9 x 130
 - ※ 2 - PL 166 x 9 x 225
 - 2 - L 50 x 50 x 6 x 596 (SS400)
 - 2 - L 50 x 50 x 6 x 2159 (SS400)
 - 7 - RB φ22 x 430 (SS400)
 - 12 - BN M10 x 35 (2-W付)

TYPE-D



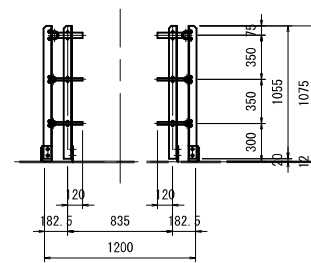
- 製作数: 1
- ※ 2 - PL 133 x 9 x 150
 - ※ 2 - PL 167 x 9 x 221
 - 2 - L 50 x 50 x 6 x 2272 (SS400)
 - 6 - RB φ22 x 430 (SS400)
 - 12 - BN M10 x 35 (2-W付)

ステップ詳細 S=1:5

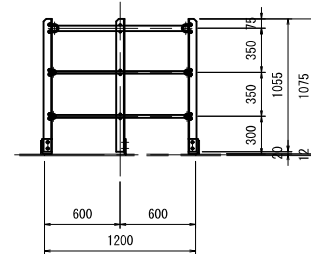


手摺詳細

橋軸直角方向



橋軸方向



- 製作数: 7
- ※ 6 - PL 78 x 9 x 120
 - 6 - L 65 x 65 x 6 x 1055 (SS400)
 - 2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 1085 (STK400)
 - 4 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 245 (STK400)
 - 4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 1085 (STK400)
 - 8 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 245 (STK400)
 - 12 - BN M16 x 45 (2-W付)
 - 6 - Uボルト 呼び 32C形 (2-W付)
 - 12 - Uボルト 呼び 15C形 (2-W付)

DP9鋼製橋脚 脚内梯子(その2) S=1:5

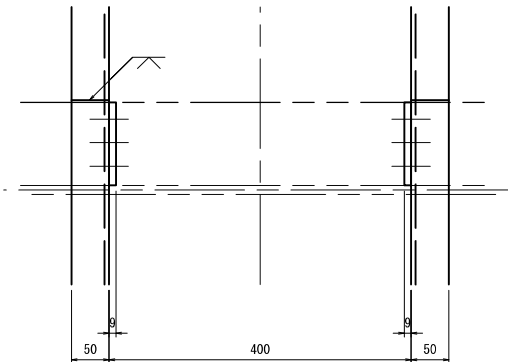
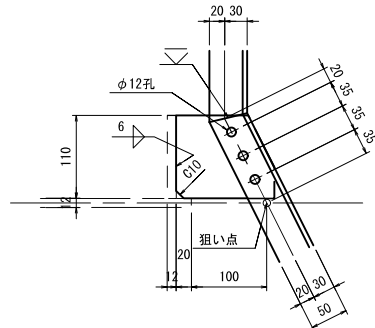
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	56 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 脚内梯子(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

注記

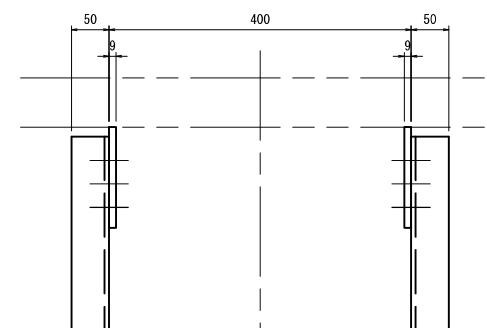
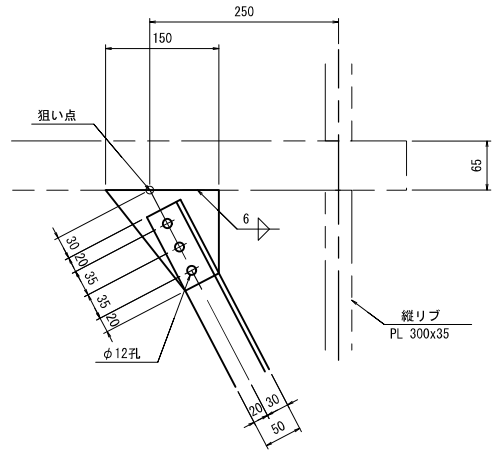
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 本体付き(※印)以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
規格は、梯子及び手摺支柱は、JIS H8641 HD2177とする。
手摺パイプ、ボルトナット及び座金は、HD2149とする。
4. ナットは、ゆるみ止めナットを使用する。
5. TYPE-A'は、架設時のみに使用するため、設計数量に含めない。

梯子取付部詳細

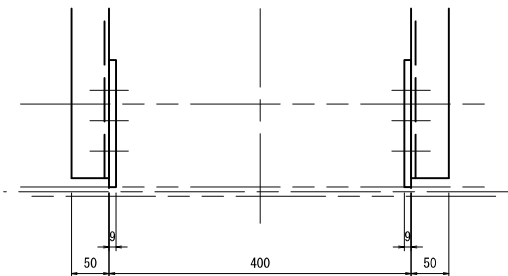
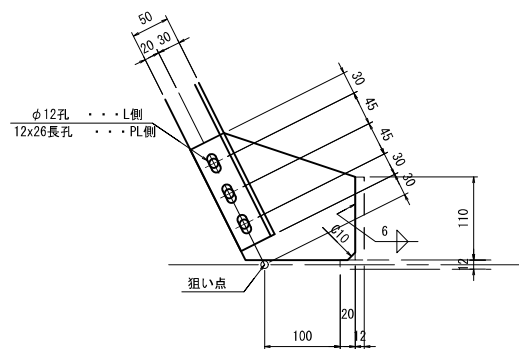
上部
(TYPE-Dを除く)



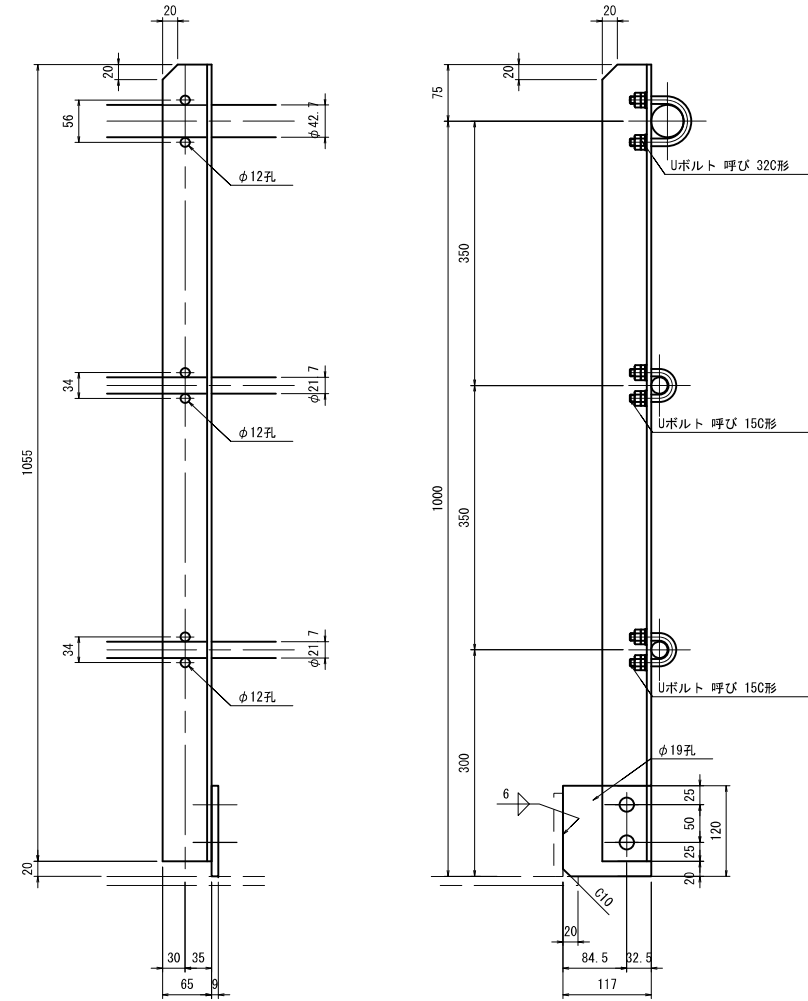
上部
(TYPE-Dのみ)



下部



手摺支柱詳細



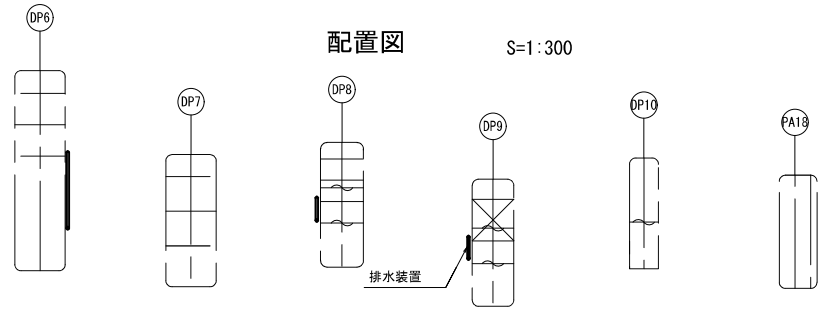
DP9鋼製橋脚 下部工排水装置図(その1)

S=1:60

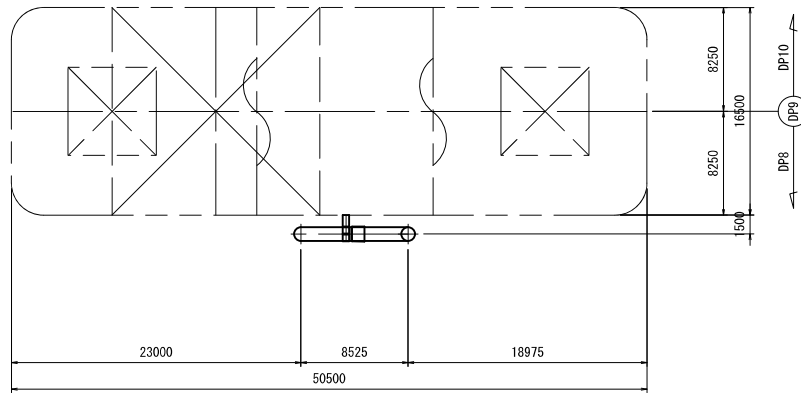
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	57 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 下部工排水装置図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

注記

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。

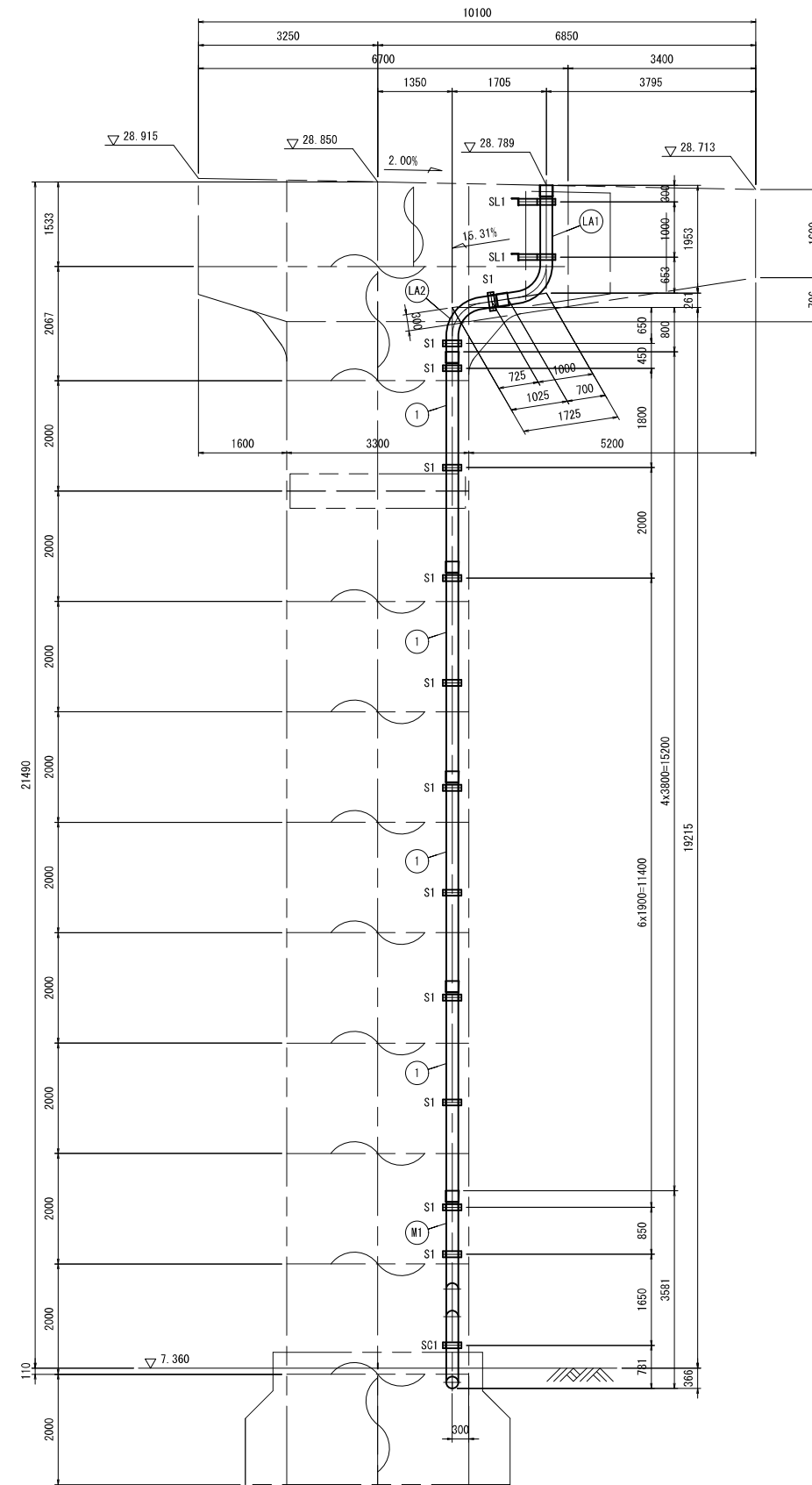


平面図

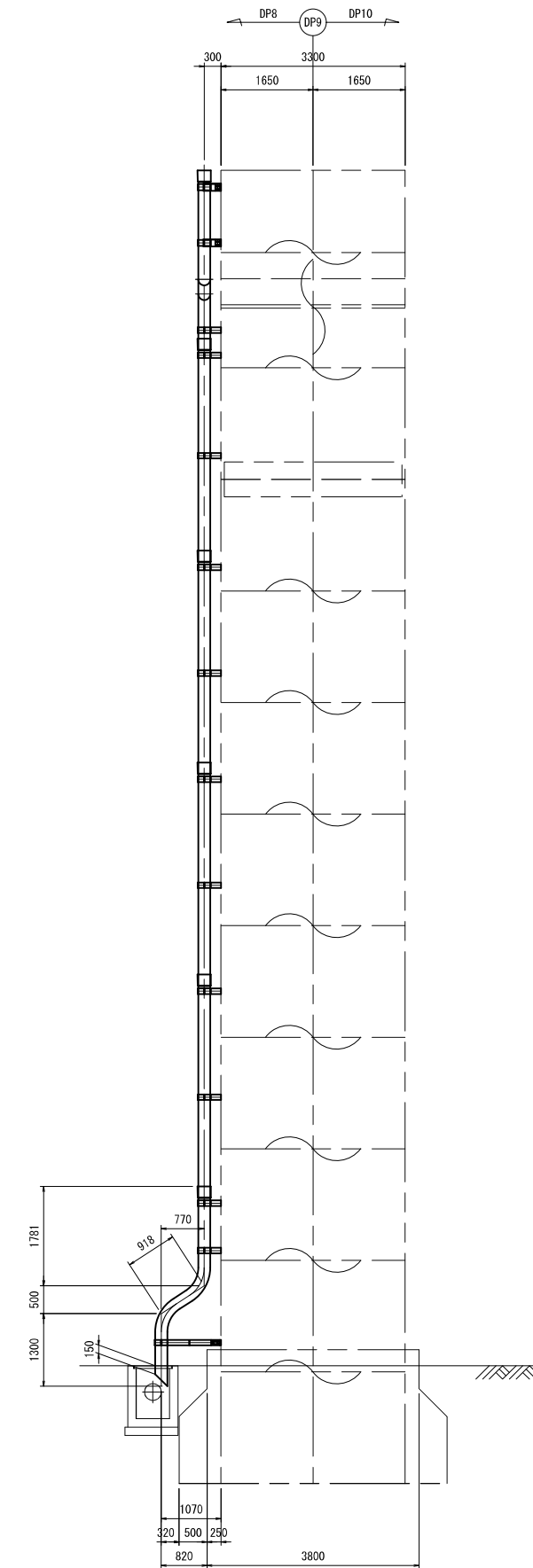


- 直管
① 4 - VP 200A x 4000 (スリーブ付)
- 加工管
各1 - (LA1), (LA2)
1 - (M1)
- 支持金具
12 - (S1)
2 - (SL1)
1 - (SC1)

正面図



側面図



DP9鋼製橋脚 下部工排水装置図(その2)

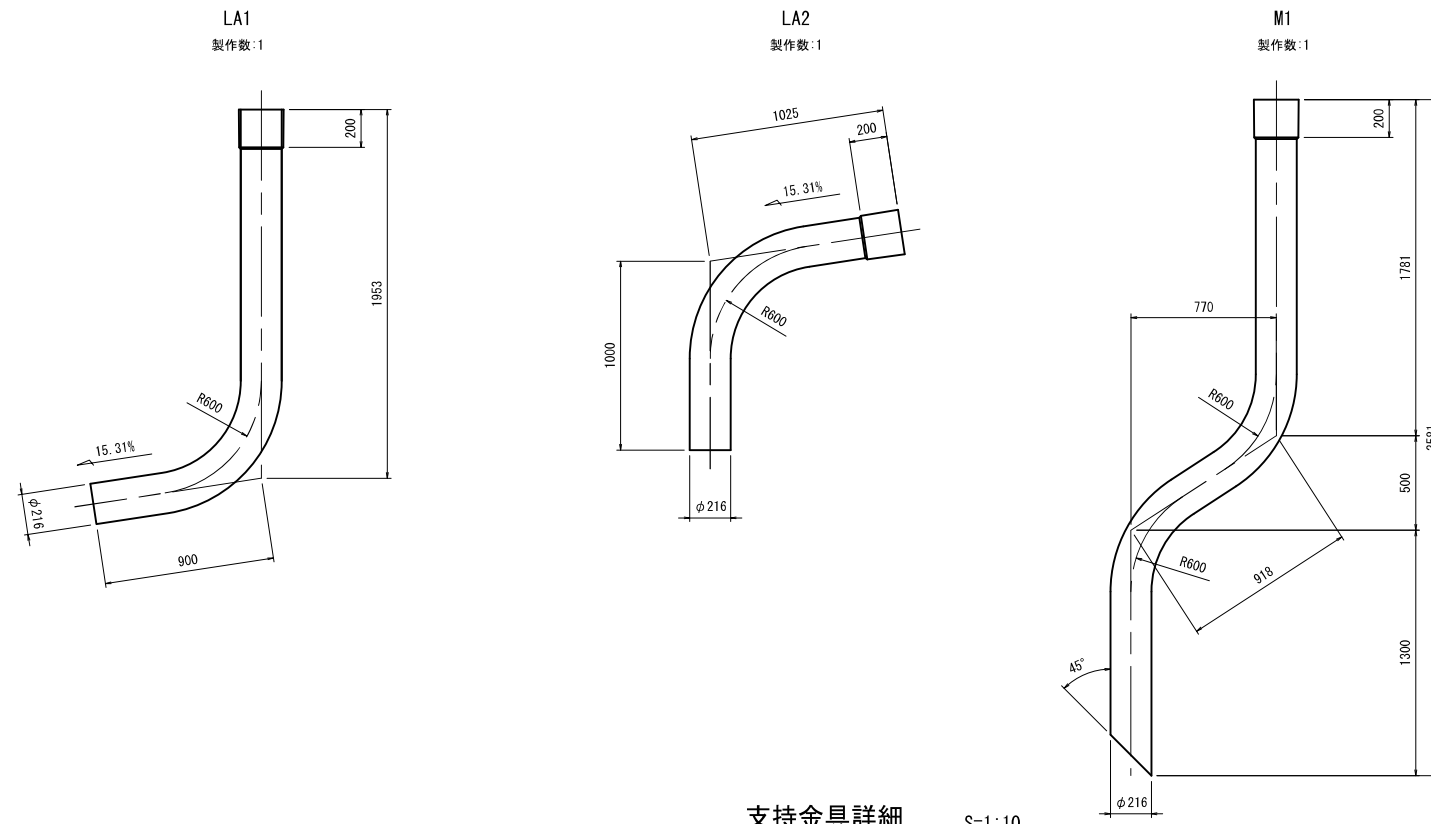
S=1:20

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	58 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 下部工排水装置図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

注記)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。

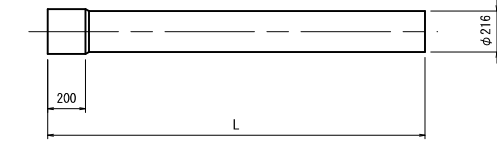
加工管詳細



直管詳細

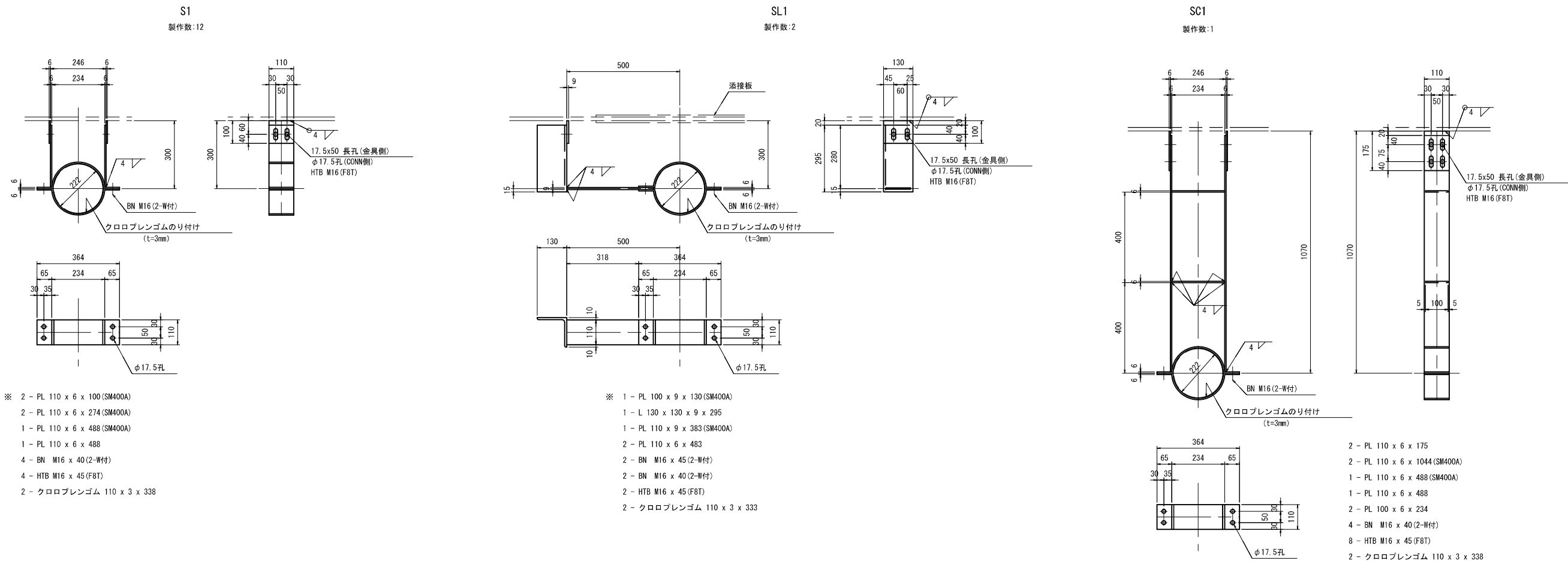
VP200A

(直管の寸法および個数は各図面参照のこと。)



支持金具詳細

S=1:10



- ※
- 2 - PL 110 x 6 x 100 (SM400A)
 - 2 - PL 110 x 6 x 274 (SM400A)
 - 1 - PL 110 x 6 x 488 (SM400A)
 - 1 - PL 110 x 6 x 488
 - 4 - BN M16 x 40 (2-W付)
 - 4 - HTB M16 x 45 (F8T)
 - 2 - クロロレンゴム 110 x 3 x 338

- ※
- 1 - PL 100 x 9 x 130 (SM400A)
 - 1 - L 130 x 130 x 9 x 295
 - 1 - PL 110 x 9 x 383 (SM400A)
 - 2 - PL 110 x 6 x 483
 - 2 - BN M16 x 45 (2-W付)
 - 2 - BN M16 x 40 (2-W付)
 - 2 - HTB M16 x 45 (F8T)
 - 2 - クロロレンゴム 110 x 3 x 338

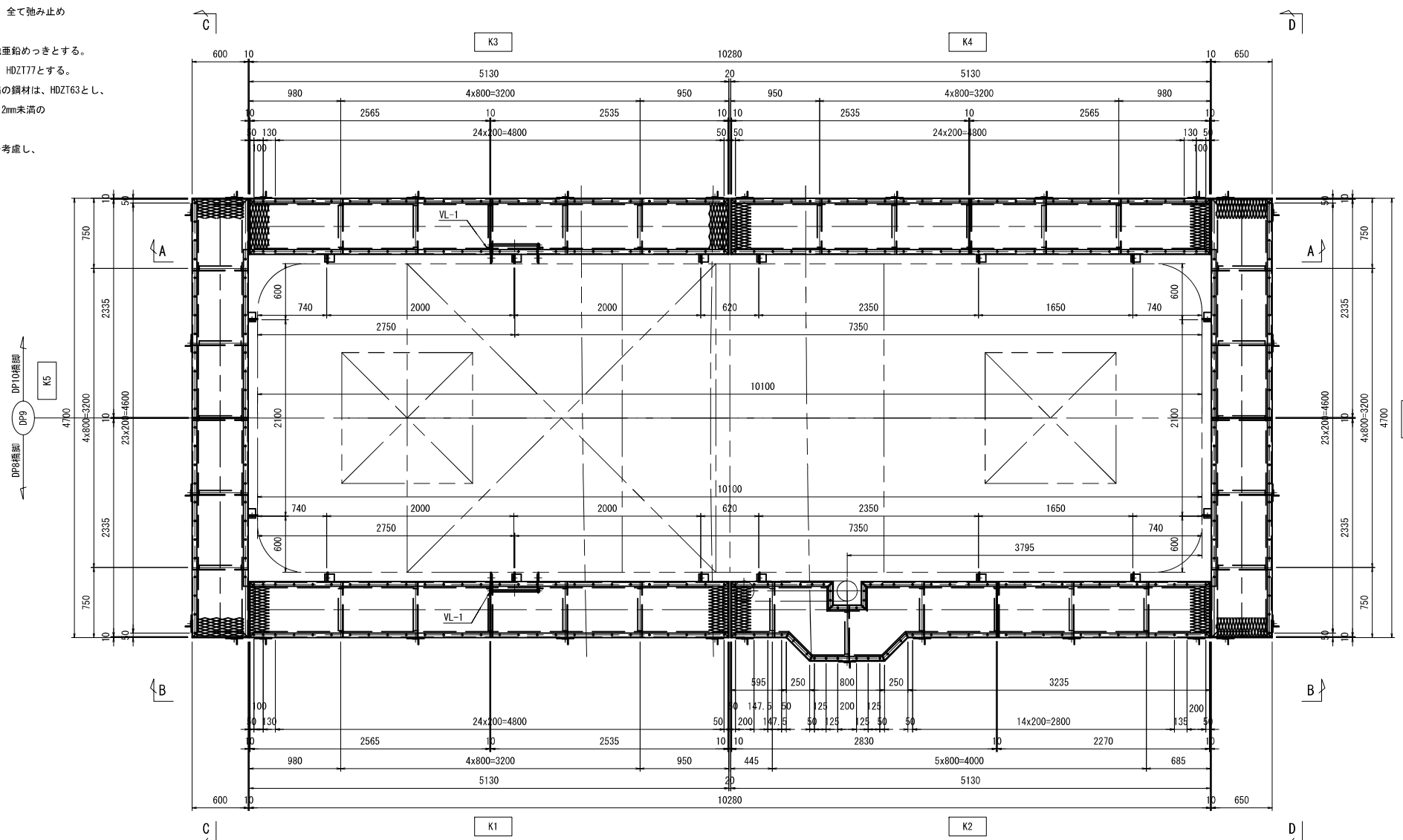
- 2 - PL 110 x 6 x 175
- 2 - PL 110 x 6 x 1044 (SM400A)
- 1 - PL 110 x 6 x 488 (SM400A)
- 1 - PL 110 x 6 x 488
- 2 - PL 100 x 6 x 234
- 4 - BN M16 x 40 (2-W付)
- 8 - HTB M16 x 45 (F8T)
- 2 - クロロレンゴム 110 x 3 x 338

DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その1) S=1:30

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	59 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 特記なきスカーップは、全てR=35とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。
 - ボルト孔は、めつき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

平面図



K1, K3, K4製作数:各1(7廊)

- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 5130
- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 600
- 5 - L 50 x 50 x 6 x 588
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 5110
- 1 - エキスバンドメタル 590 x 2565 (XG11)
- 1 - エキスバンドメタル 590 x 2535 (XG11)
- 54 - BN M12 x 50 (1-W, 1-TW付)
- 3 - PL 100 x 9 x 580 (SM400A)
- 6 - BN M16 x 45 (2-W付)

K2製作数:1(7廊)

- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 600
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 1095
- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 315
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 430
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 3735
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 622
- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 381
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 800
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 3262
- 6 - L 50 x 50 x 6 x 588
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 1078
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 286
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 386

- 1 - L 50 x 50 x 6 x 3718
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 600
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 363
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 789
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 3240
- 1 - エキスバンドメタル 840 x 2830 (XG11)
- 1 - エキスバンドメタル 590 x 2270 (XG11)
- 64 - BN M12 x 50 (1-W, 1-TW付)
- 3 - PL 100 x 9 x 580 (SM400A)
- 6 - BN M16 x 45 (2-W付)

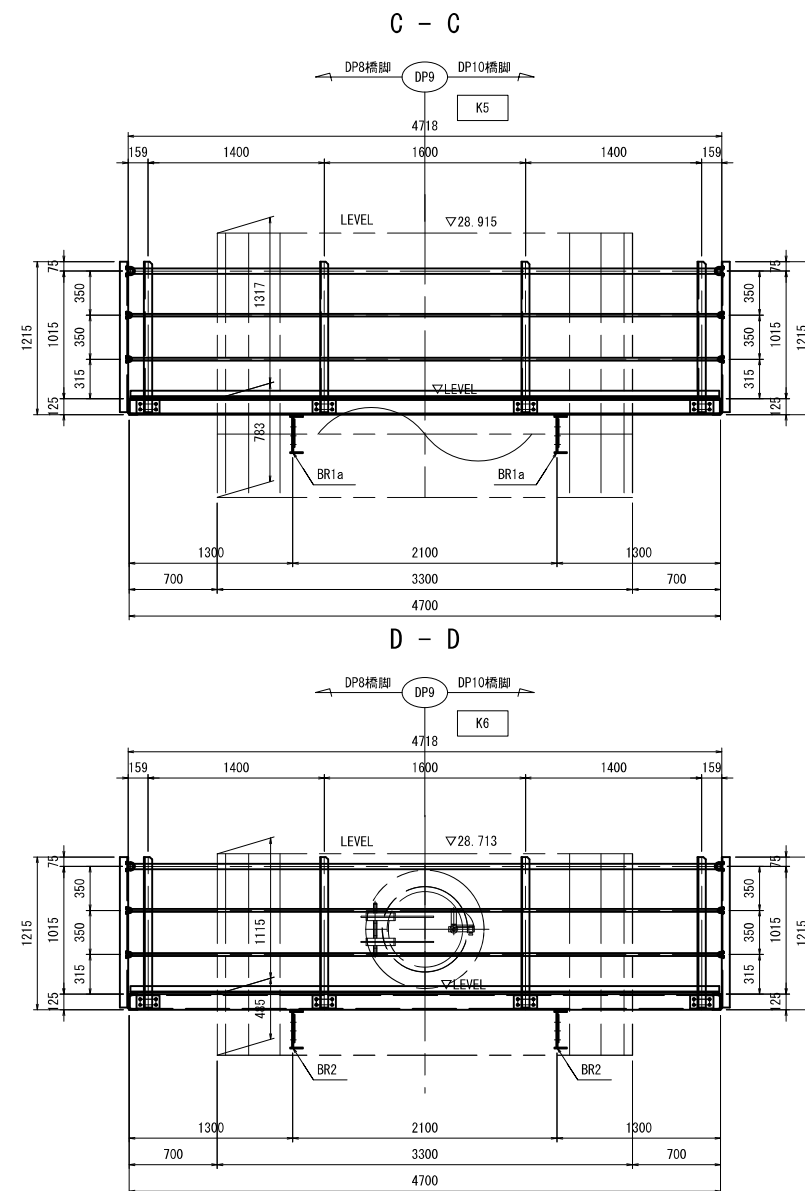
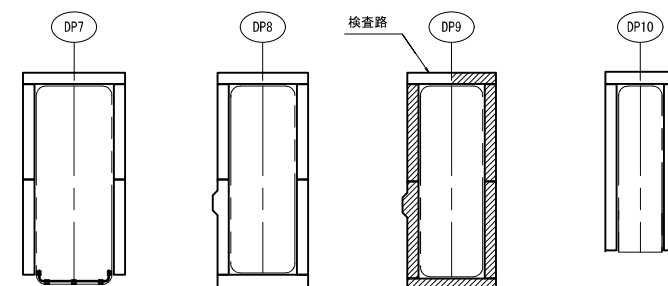
K5製作数:1(7廊)

- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 4700
- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 600
- 5 - L 50 x 50 x 6 x 588
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 3600
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 4680
- 2 - エキスバンドメタル 590 x 2335 (XG11)
- 42 - BN M12 x 50 (1-W, 1-TW付)
- 2 - PL 100 x 9 x 580 (SM400A)
- 4 - BN M16 x 45 (2-W付)

K6製作数:1(7廊)

- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 4700
- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 650
- 5 - L 50 x 50 x 6 x 638
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 3600
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 4680
- 2 - エキスバンドメタル 640 x 2335 (XG11)
- 42 - BN M12 x 50 (1-W, 1-TW付)
- 2 - PL 100 x 9 x 630 (SM400A)
- 4 - BN M16 x 45 (2-W付)

配置図



DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その2) S=1:30

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	60 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 特記なきカーラップは、全てR=35とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。
 - ボルト孔は、めつき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

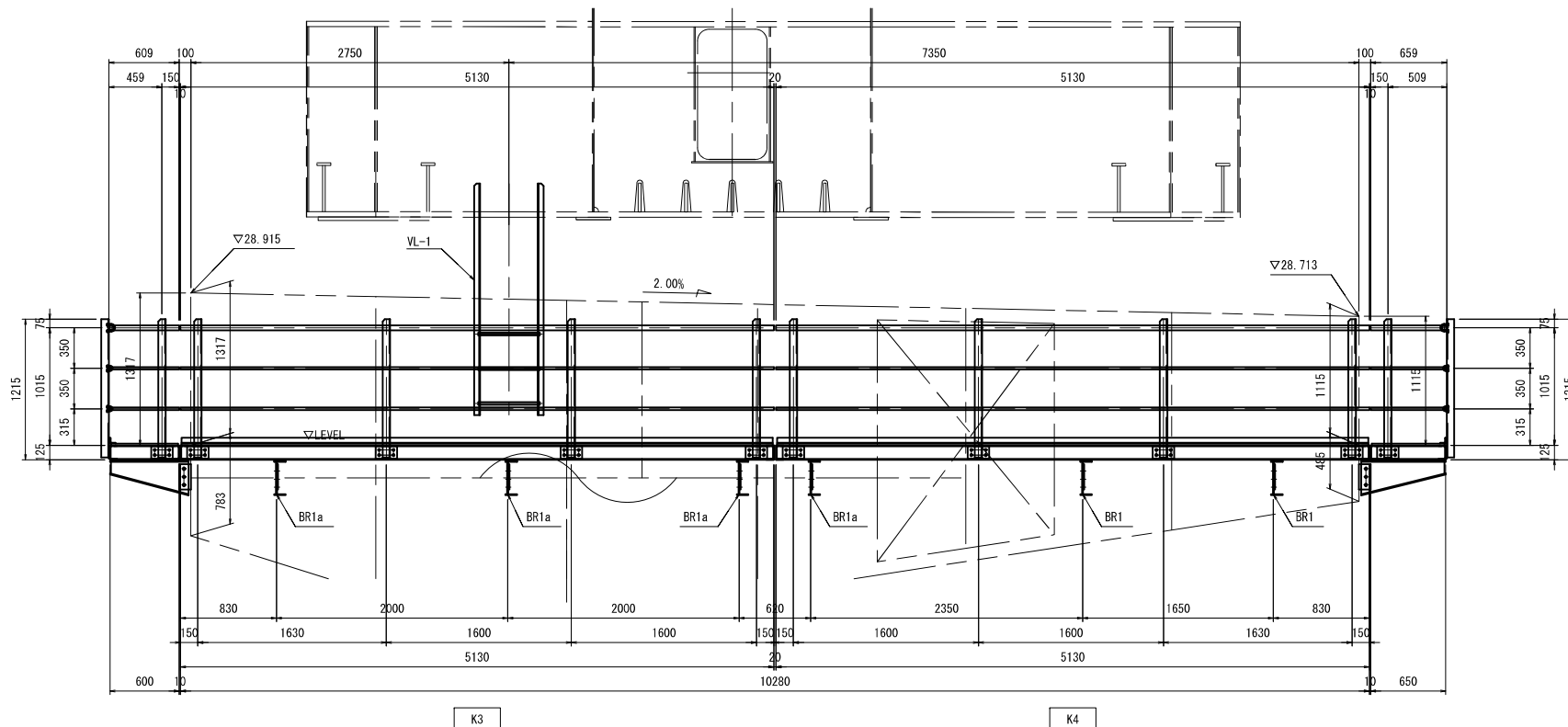
- K1, K3, K4製作数:各1(手すり)
- PIPE φ42.7 x 2.3 x 5130 (STK400)
 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 5130 (STK400)
 - L 65 x 65 x 6 x 1195
 - PL 105 x 9 x 185 (SM400A)
 - BN M16 x 45 (2-W付)
 - Uボルト 呼び径 32C (2-W付)
 - Uボルト 呼び径 15C (2-W付)

- K2製作数:1(手すり)
- PIPE φ42.7 x 2.3 x 609 (STK400)
 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 371 (STK400)
 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 808 (STK400)
 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 3249 (STK400)
 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 600 (STK400)
 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 363 (STK400)
 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 808 (STK400)
 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3240 (STK400)
 - L 65 x 65 x 6 x 1195
 - PL 105 x 9 x 185 (SM400A)
 - BN M16 x 45 (2-W付)
 - Uボルト 呼び径 32C (2-W付)
 - Uボルト 呼び径 15C (2-W付)

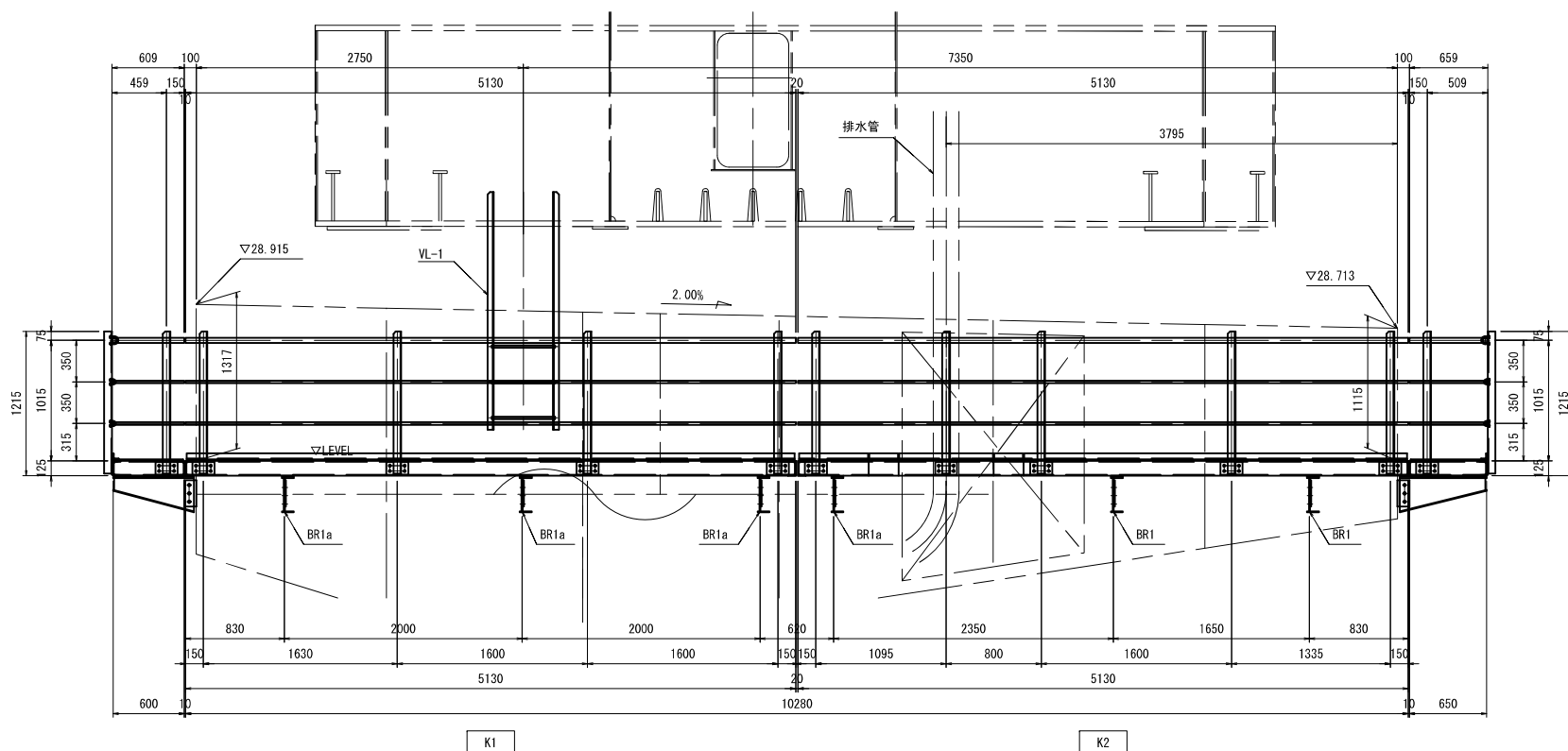
- K5製作数:1(手すり)
- PIPE φ42.7 x 2.3 x 4718 (STK400)
 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 609 (STK400)
 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4718 (STK400)
 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 609 (STK400)
 - L 65 x 65 x 6 x 1195
 - PL 105 x 9 x 185 (SM400A)
 - BN M16 x 45 (2-W付)
 - Uボルト 呼び径 32C (2-W付)
 - Uボルト 呼び径 15C (2-W付)

- K6製作数:1(手すり)
- PIPE φ42.7 x 2.3 x 4718 (STK400)
 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 659 (STK400)
 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4718 (STK400)
 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 659 (STK400)
 - L 65 x 65 x 6 x 1195
 - PL 105 x 9 x 185 (SM400A)
 - BN M16 x 45 (2-W付)
 - Uボルト 呼び径 32C (2-W付)
 - Uボルト 呼び径 15C (2-W付)

A - A

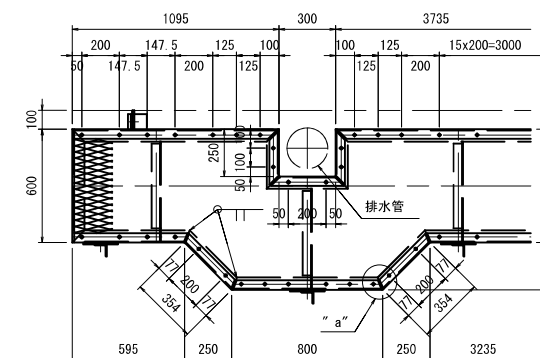


B - B



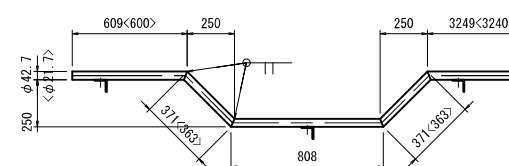
排水切欠き部 S=1:20

歩廊平面

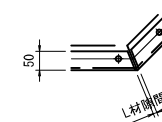


手摺平面

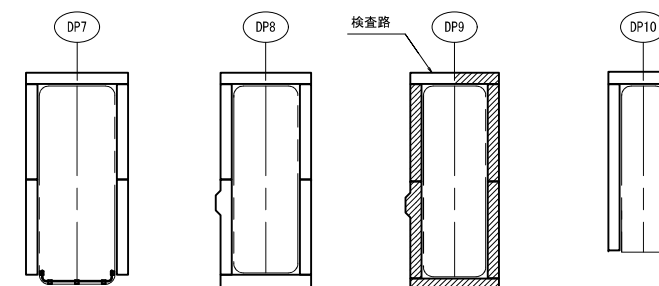
上段・中段・下段



"a"部詳細 S=1:10



配置図



工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	61 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その3)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

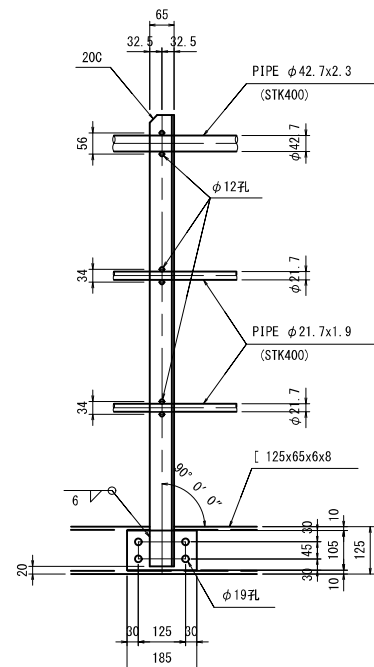
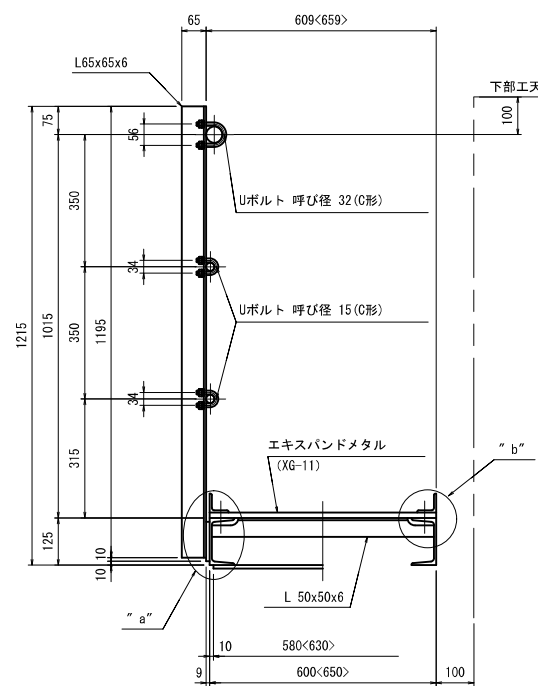
DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その3)

S=1:10

共通詳細(1/2)

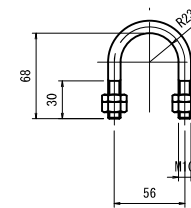
- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 特記なきカーブは、全てR=35とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。
 - ボルト孔は、めつき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

手すり詳細

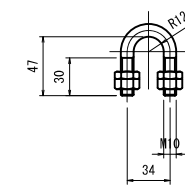


手摺取付ボルト詳細 S=1:3

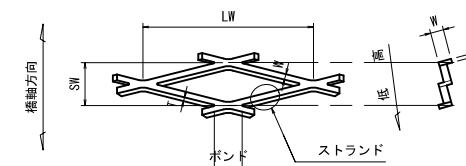
Uボルト 32C型
φ42.7用



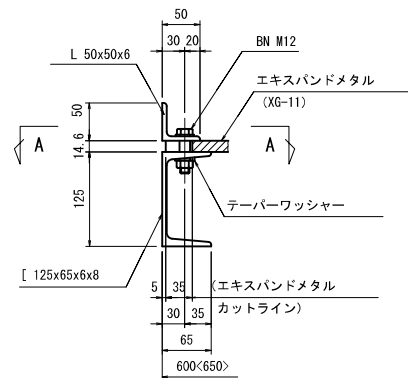
Uボルト 15C型
φ21.7用



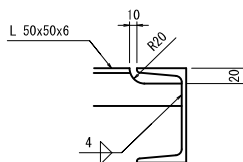
エキスパンドメタル取付方向



"a" 部詳細 S=1:5

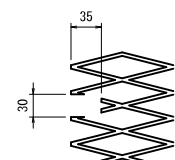


"b" 部詳細 S=1:5



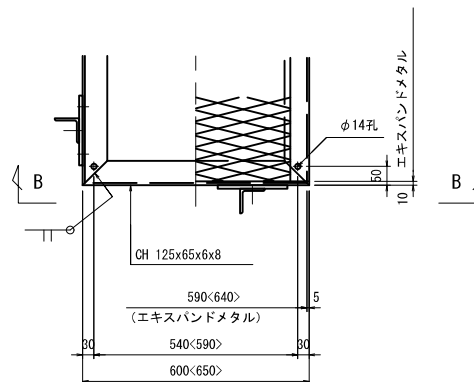
A - A

(ボルトとエキスパンドメタルが干渉する場合の切欠き)

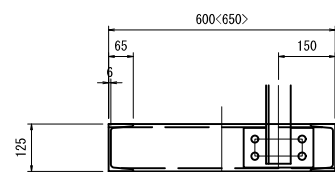


歩廊詳細

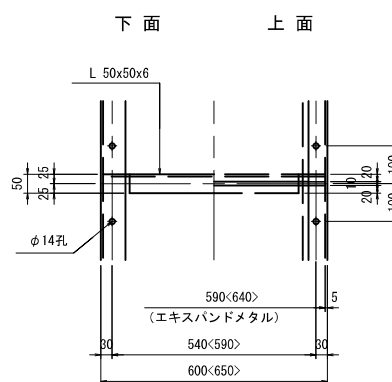
端部



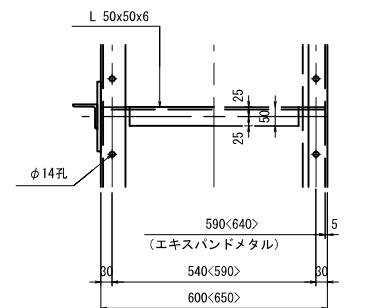
B - B



床材分割部

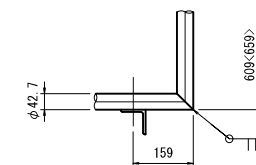


中間部

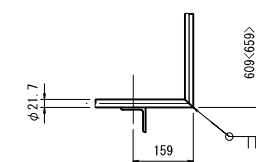


手摺コーナー部詳細

上段



中段・下段



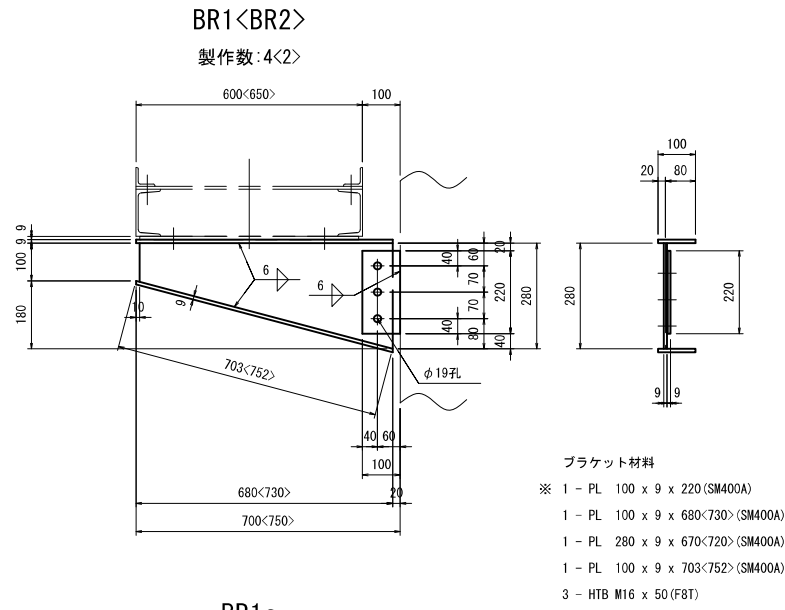
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	62 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その4)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その4) S=1:10

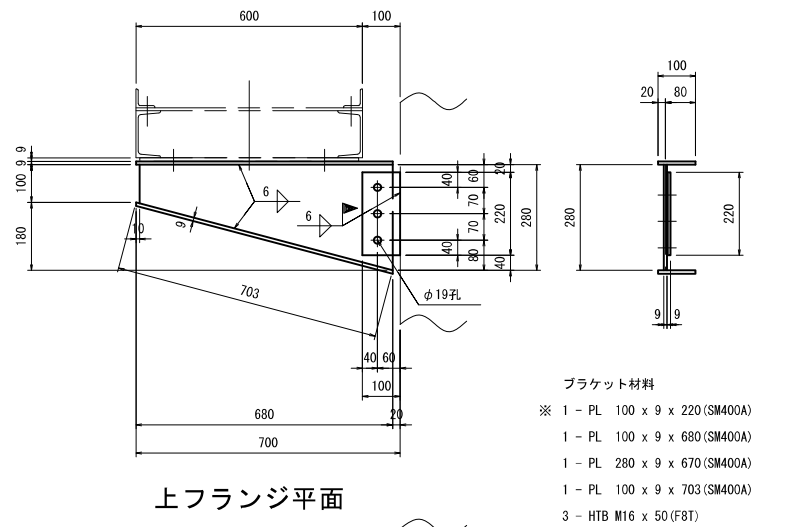
共通詳細(2/2)

- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 特記なきスカーップは、全てR=35とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。
 - ボルト孔は、めつき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

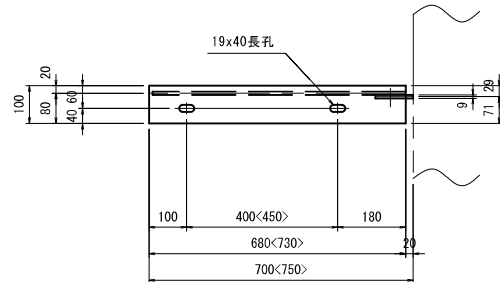
ブラケット詳細



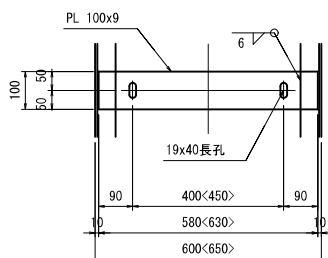
BR1a
製作数:10



上フランジ平面

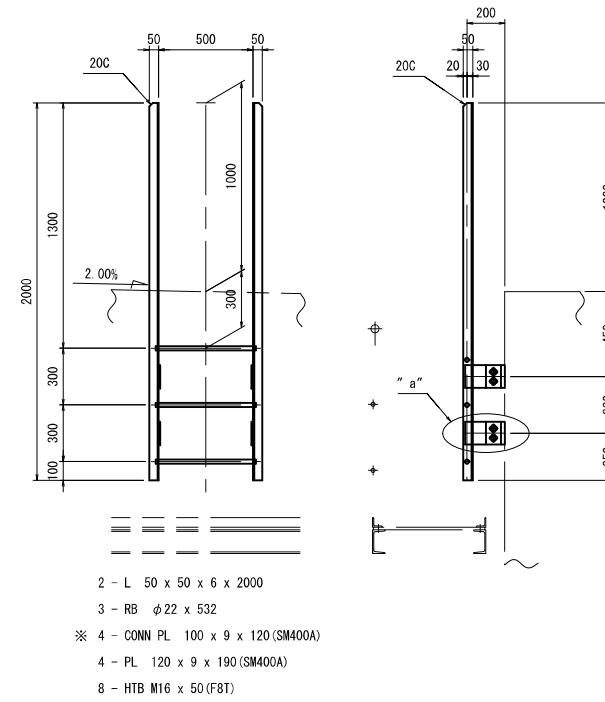


検査路取付板詳細

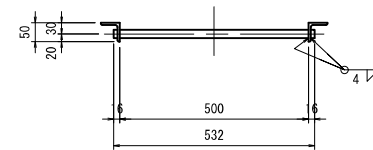


梯子詳細 S=1:20

VL-1
(製作数:2)

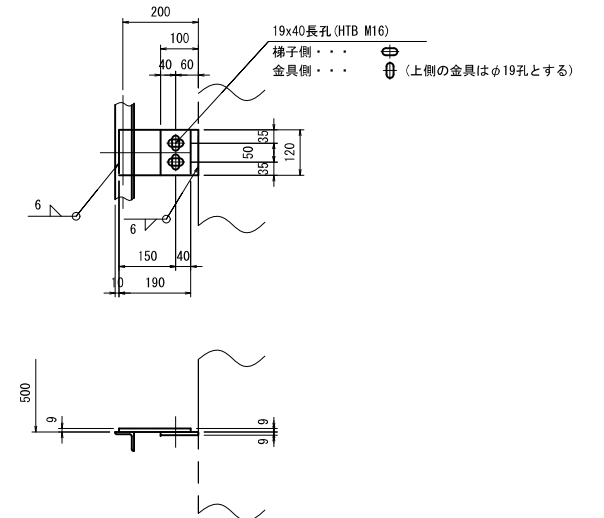


ステップ詳細



"a"部詳細

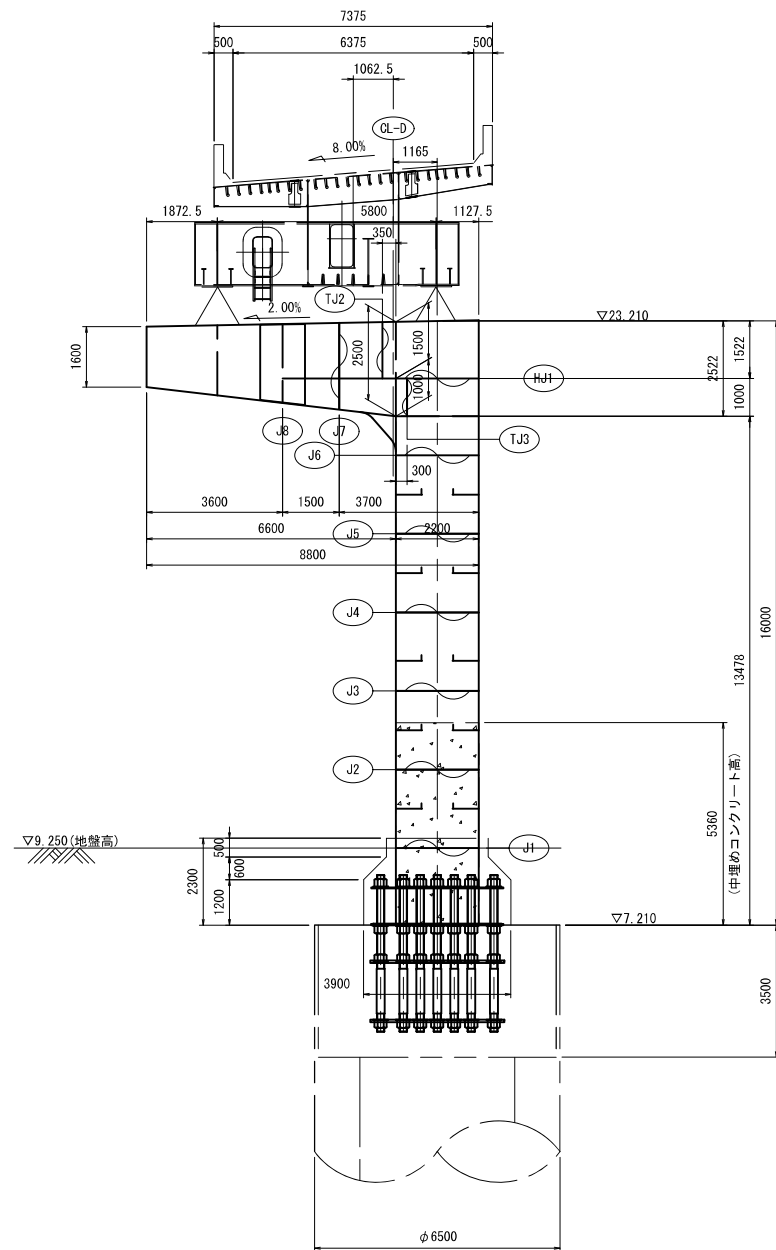
(梯子取付金具詳細)



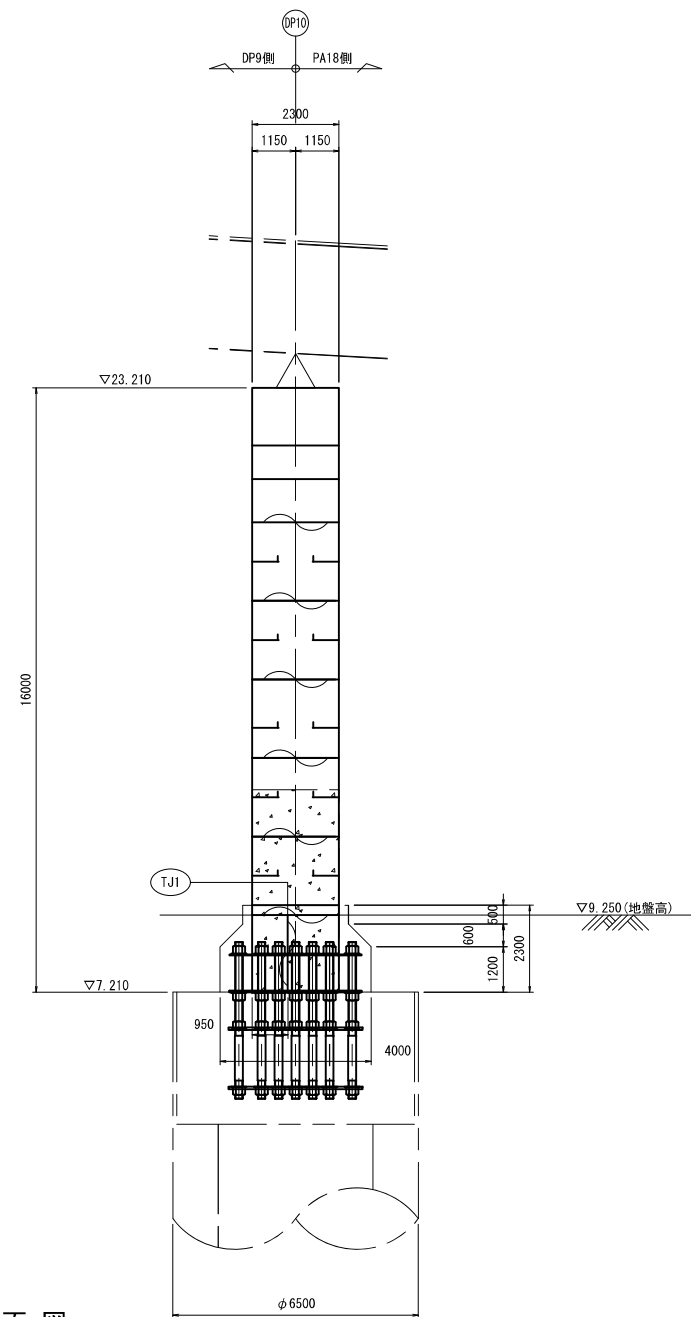
DP10鋼製橋脚 構造一般図 S=1:100

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	63 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 構造一般図	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

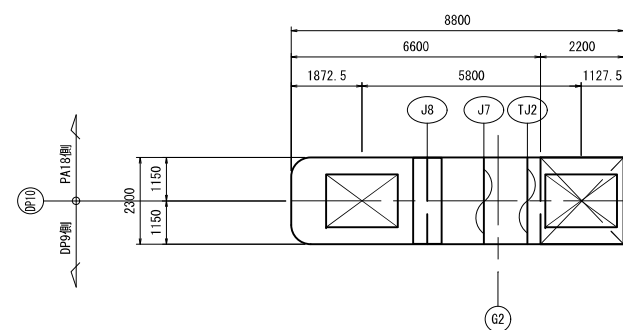
正面図



側面図

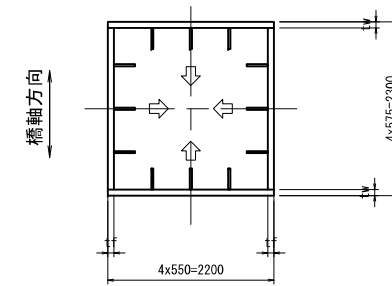


平面図



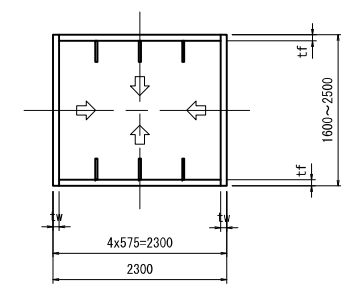
柱断面 S=1:50

直角方向



梁断面 S=1:50

橋軸方向



設計条件

項目	条件
形式	鋼製T型橋脚(角柱)
柱高	柱 16.000 m
上部工形式	5径間連続鋼床版桁橋
設計震度	II種&III種地盤混在 B2地域(広島県) Kh = 0.26 (レベル1-III種地盤) Kh = 1.30 (レベル2-タイプI-II種地盤) Kh = 1.49 (レベル2-タイプII-II種地盤)
衝突荷重	橋軸方向: 1000kN 橋軸直角方向: 500kN
温度変化	±30°C
使用鋼材	SBHS500, SM490Y, SM400, SS400, S10T
支承条件	固定支承
継手形式	柱 ... 溶接継手 (ただし隅角直下の継手はボルト継手) 梁 ... ボルト継手
適用基準	道路橋示方書・同解説 I~V (平成29年 11月 日本道路協会)

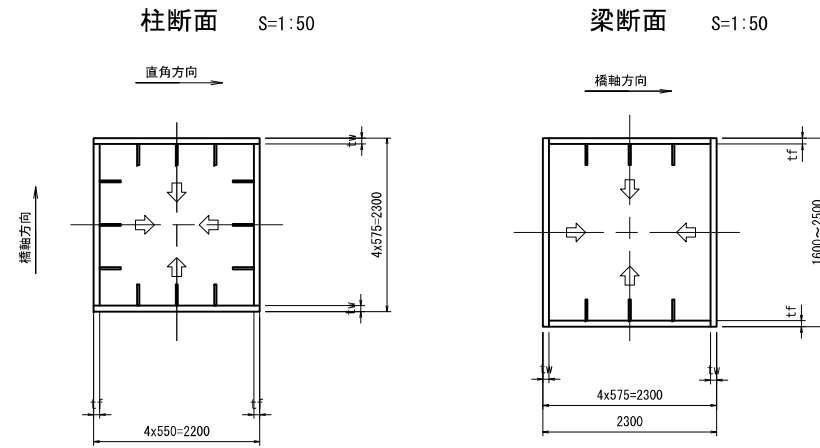
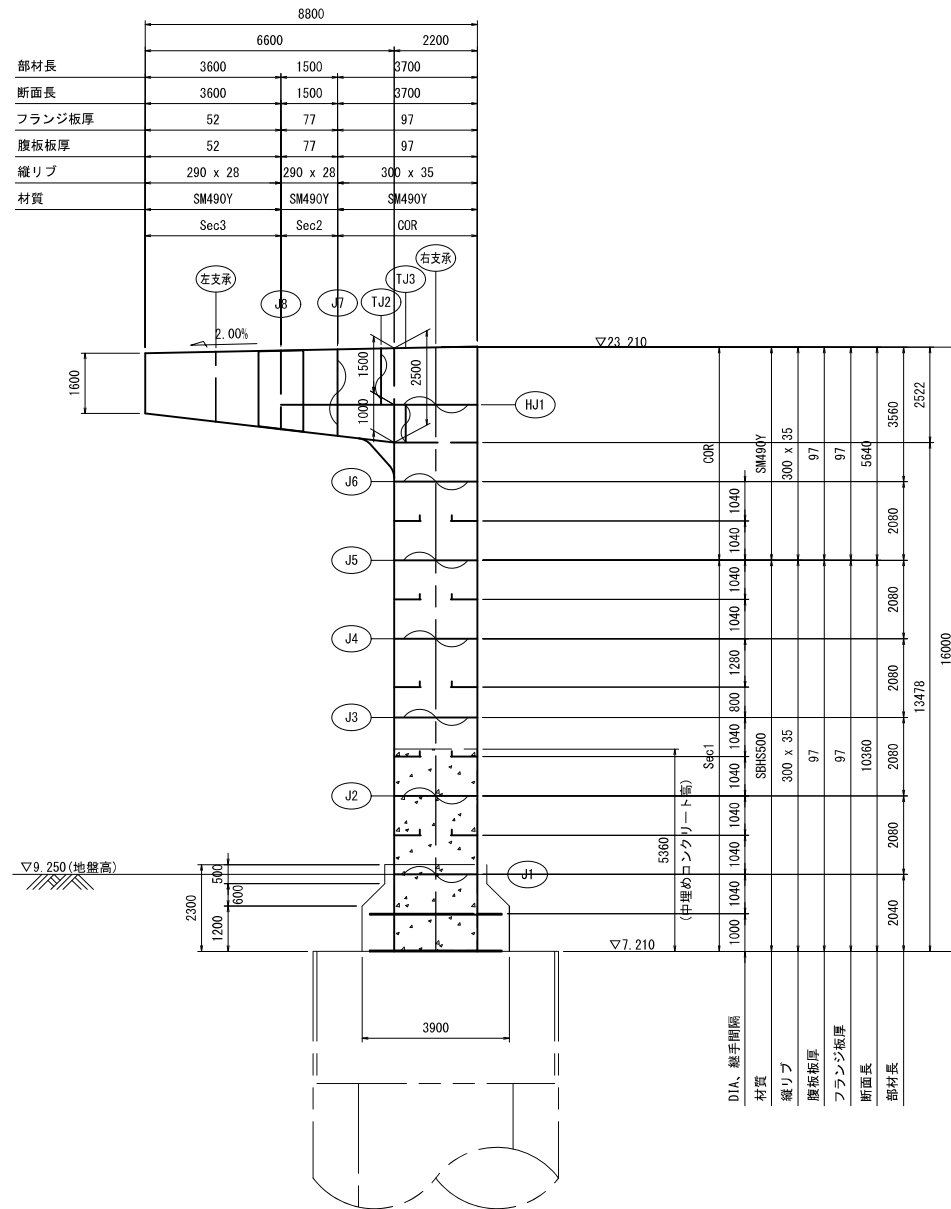
構造高表

		DP10	
		左支承	右支承
路面計画高	Z1		26.845
舗装厚	t1		0.080
鋼床版厚	t2		0.012
腹板高	h1		2.900
主桁下面高	Z2	23.853	23.863
SOLE. PL厚	t3	0.052	0.052
支承高	h2	0.525	0.525
支承下面高	Z3	23.276	23.286
調整モルタル厚	t4	0.032	0.032
台座高	h3	0.151	0.045
下部工天端高	Z4	23.093	23.209

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	64 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚断面構成図	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚 断面構成図

正面図 S=1:100

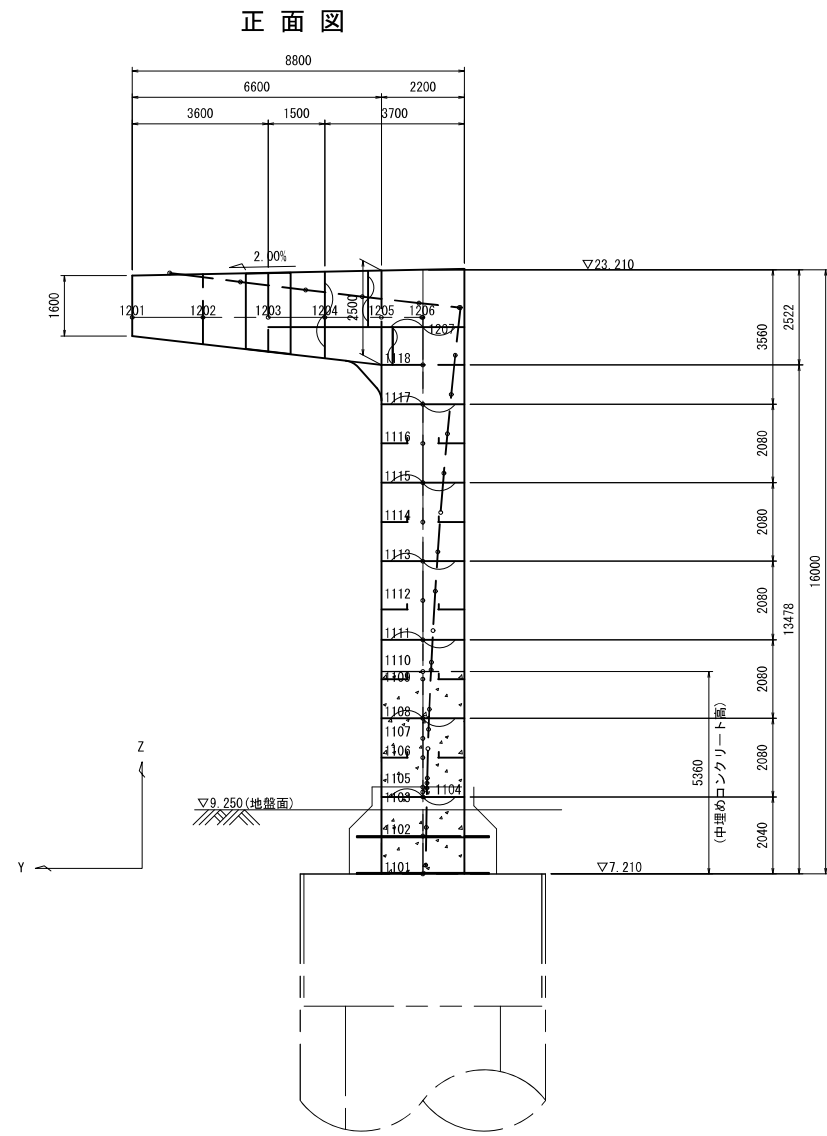


断面計算位置		柱			梁					
		Sec1		GOR	Sec2	Sec3				
照査状況		静的解析	L1動解	L2動解	静的解析	静的解析	静的解析			
格点番号		1101	-	-	1115	1204	1203 1202			
使用断面 (mm)	フランジ	フランジ	2106x97		2106x97	2196x52				
		縦リブ	3-300x35		3-300x35	3-290x28				
	腹板	腹板	2200x97		2200x97	(2295~2091)x77				
		縦リブ	3-300x35		3-300x35	-				
材質		SBHS500			SM490Y	SM490Y				
垂直応力度 (N/mm ²)	フランジ	σ	-187	-126	-433	-211	75	76	-31	
		σ_d	328	428	475	243	272	272	265	
	腹板	σ	-190	-134	-469	-228	75	76	32	
		σ_d	328	428	475	243	272	272	272	
せん断応力度 (N/mm ²)	フランジ	τ	21	10	47	81	64	97	106	
		τ_d	18	7	35	70	62	94	103	
			τd	207	244	271	157	157	157	157
	合成応力度		F	0.28	0.10	0.99	0.91	0.21	0.40	0.45
安定照査	横倒座屈	K	0.53	0.32	0.997	0.85	0.24	0.21	0.12	
		Kd	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	局部座屈	C	0.53	0.32	0.995	0.84	0.24	0.21	0.12	
		Cca1	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		決定ケース		D+E02X			D+E02X	D+E02X		
決定要因		安定照査			Sec1板厚	板厚差		板厚差		

照査点番号		COR		
		左梁	下柱	
使用断面 (mm)	フランジ厚	97	97	
	腹板厚	97	97	
	使用材料	SM490Y		
垂直応力度 (N/mm ²)	σ	117	161	
	σ_d	272	272	
せん断応力度 (N/mm ²)	フランジ	着目点c	τ_c 52	71
			τ_d 122	157
		着目点e	τ_e 52	48
	腹板	着目点c	τ_c 58	59
			τ_d 122	122
		着目点e	τ_e 58	59
合成応力度	フランジ	照査値	0.12	0.22
		許容値	1.00	1.00
		照査値	0.23	0.50
	腹板	照査値	0.14	0.27
		許容値	1.00	1.00
		照査値	0.32	0.50
決定荷重ケース		D+E02X		
決定要因		Sec1板厚		

DP10鋼製橋脚 キャンバー図 S=1:100

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	65 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 キャンバー図	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			



Y方向 (単位:mm)

格点番号	鋼自重	上部工 死荷重反力	変位合計	製作そり
1101	0.1	1.4	1.5	-1.5
1102	0.2	1.6	1.8	-1.8
1103	0.2	2.0	2.1	-2.1
1104	0.2	2.0	2.2	-2.2
1105	0.2	2.1	2.3	-2.3
1106	0.2	2.5	2.7	-2.7
1107	0.3	2.8	3.0	-3.0
1108	0.3	3.1	3.4	-3.4
1109	0.4	3.9	4.3	-4.3
1110	0.4	4.1	4.5	-4.5
1111	0.5	4.9	5.3	-5.3
1112	0.6	5.9	6.5	-6.5
1113	0.7	7.2	7.9	-7.9
1114	0.9	8.6	9.4	-9.4
1115	1.0	10.1	11.1	-11.1
1116	1.2	11.8	13.0	-13.0
1117	1.4	13.6	15.0	-15.0
1118	1.5	15.6	17.1	-17.1
1201	1.8	18.1	19.9	-19.9
1202	1.8	18.1	19.9	-19.9
1203	1.8	18.1	19.9	-19.9
1204	1.8	18.1	19.9	-19.9
1205	1.8	18.1	19.9	-19.9
1206	1.8	18.1	19.9	-19.9
1207	1.8	18.1	19.9	-19.9

※ たわみは荷重係数を乗じていない特性値

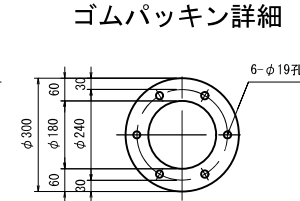
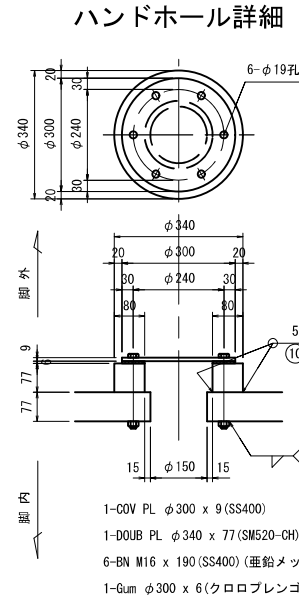
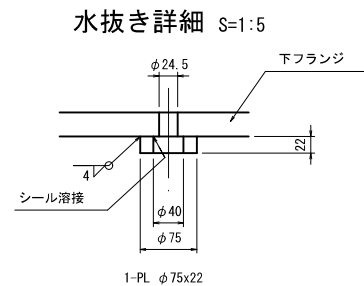
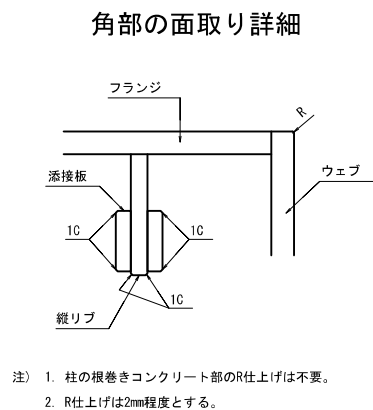
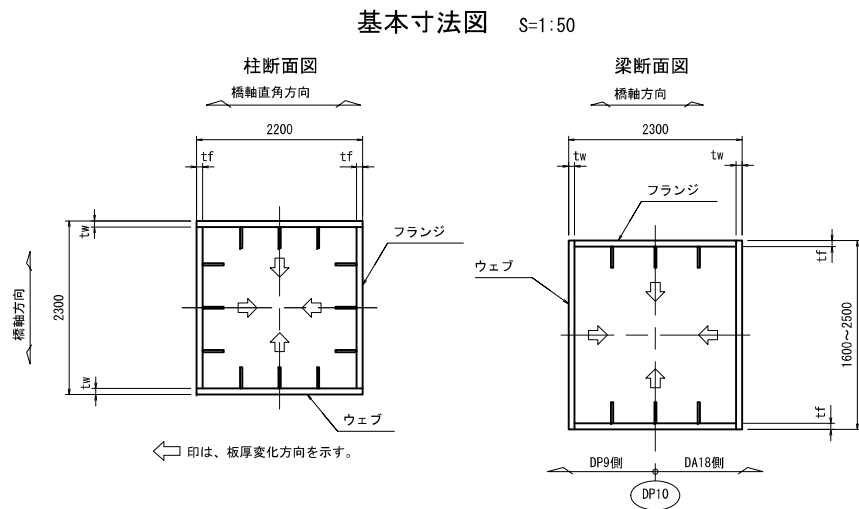
Z方向 (単位:mm)

格点番号	鋼自重	上部工 死荷重反力	変位合計	製作そり
1101	-1.4	-3.2	-4.6	4.6
1102	-1.4	-3.2	-4.7	4.7
1103	-1.4	-3.3	-4.7	4.7
1104	-1.4	-3.3	-4.7	4.7
1105	-1.4	-3.3	-4.7	4.7
1106	-1.4	-3.3	-4.8	4.8
1107	-1.5	-3.3	-4.8	4.8
1108	-1.5	-3.3	-4.8	4.8
1109	-1.5	-3.4	-4.8	4.8
1110	-1.5	-3.4	-4.9	4.9
1111	-1.5	-3.4	-4.9	4.9
1112	-1.5	-3.5	-4.9	4.9
1113	-1.5	-3.5	-5.0	5.0
1114	-1.5	-3.5	-5.0	5.0
1115	-1.5	-3.6	-5.1	5.1
1116	-1.5	-3.6	-5.1	5.1
1117	-1.5	-3.6	-5.1	5.1
1118	-1.5	-3.7	-5.2	5.2
1201	-3.1	-20.4	-23.6	23.6
1202	-2.7	-16.1	-18.8	18.8
1203	-2.3	-12.2	-14.5	14.5
1204	-2.0	-8.9	-10.9	10.9
1205	-1.7	-5.9	-7.6	7.6
1206	-1.5	-3.7	-5.2	5.2
1207	-1.5	-3.7	-5.2	5.2

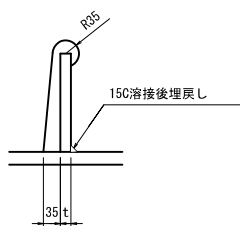
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	66 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 共通詳細図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚 共通詳細図(その1) S=1:10

- 注記
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - ※印部材は、溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。

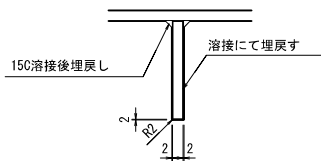


縦リブスカーラップ詳細

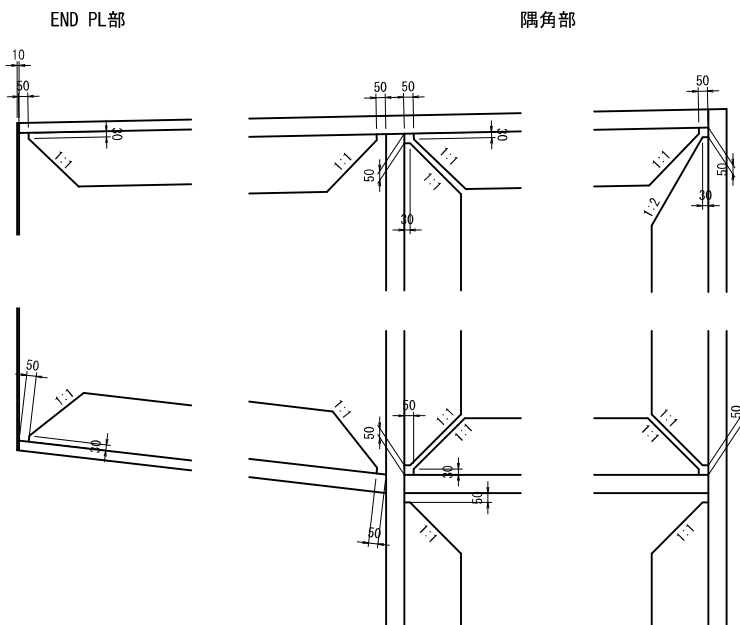


t	R
t ≤ 22	20
23 ≤ t < 32	25
33 ≤ t	30

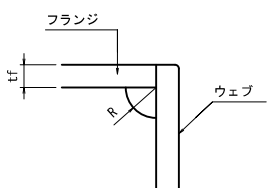
スリット詳細



縦リブ端部詳細 S=1:20 隅角部

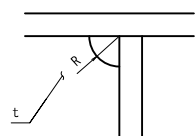


柱及び横梁かど溶接部 スカーラップ詳細



スカーラップ内の溶接ビード同士が重ならないようにすること。

板厚によるスカーラップ形状



t	R
t ≤ 16	35
16 < t < 40	40
t ≥ 40	50

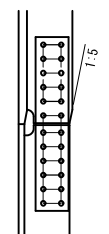
板継ぎ溶接部詳細

注) テーパーは1:5を標準とする。



縦リブテーパー詳細

ボルト継手

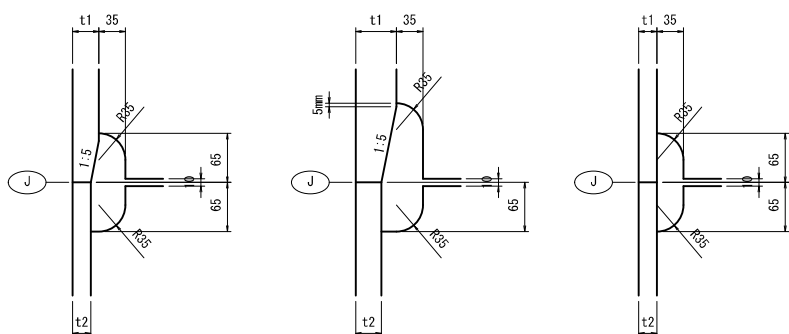


注) 縦リブが同幅の場合、母材の板厚差分のテーパーを縦リブにとること。

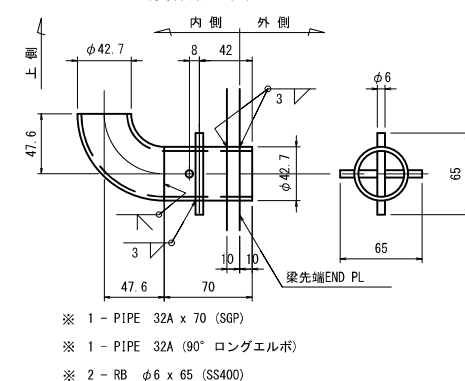
(t1-t2) ≤ 11

(t1-t2) > 11

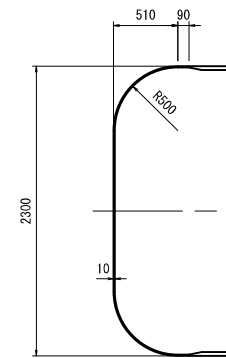
t1 = t2
板厚差がない場合



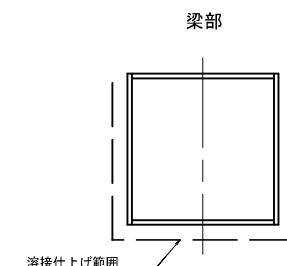
梁先端換気孔詳細 S=1:3 (製作数 2組)



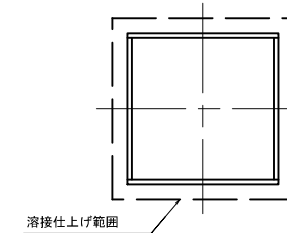
梁先端部詳細 S=1:30



溶接仕上げ範囲詳細

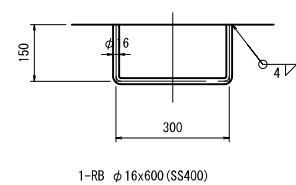


柱部

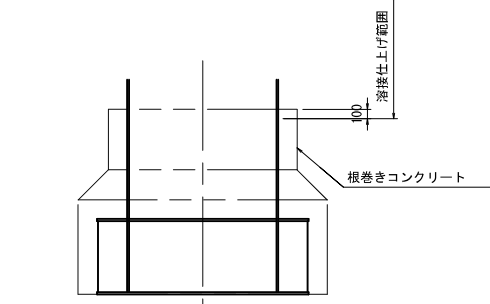
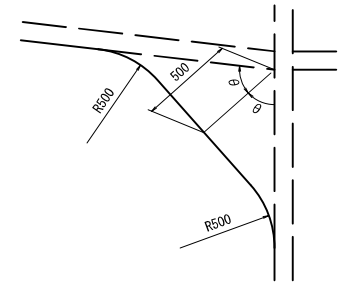


ステップ詳細図

※ 現場継手と干渉する箇所は現場溶接とする。



フィレット詳細 S=1:20



工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	67 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 共通詳細図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

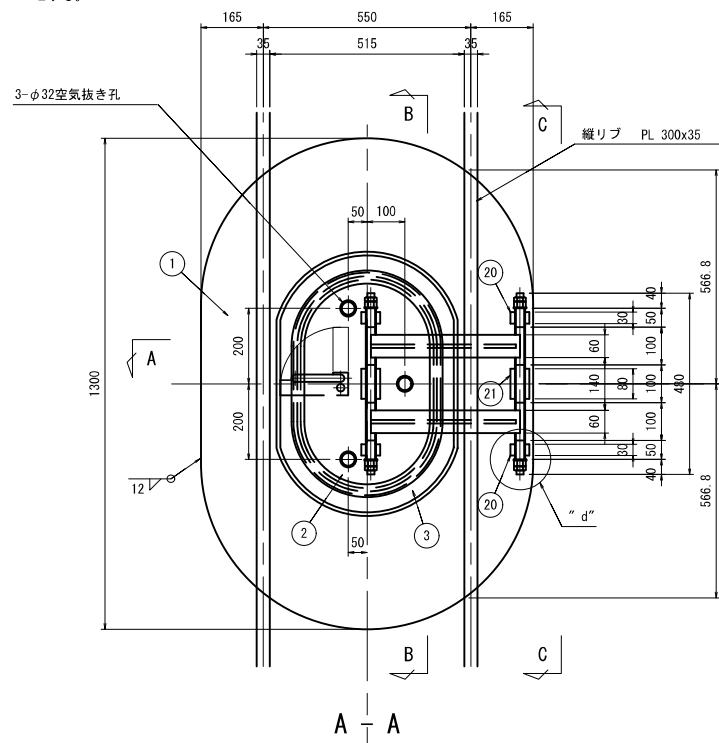
DP10鋼製橋脚 共通詳細図(その2) S=1:10

注記

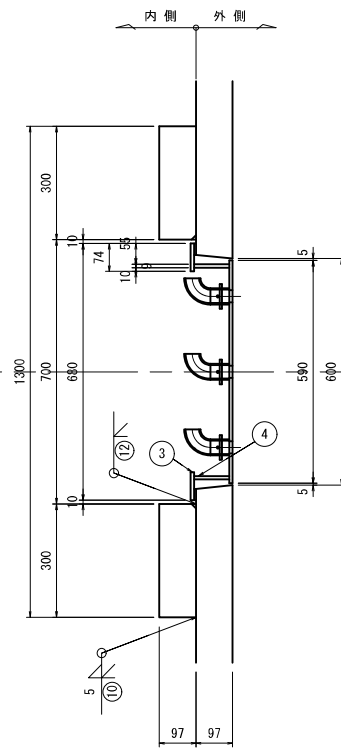
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - ゴムパッキンは、母材側に接着剤にて取付ける。
 - ※印部分は、溶融垂鉛めっきとする。
- 垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
 但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
 ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。

- ① 1-PL 880 x 97 x 1300 (SBHS500) (本体にて計上)
- ② 1-PL 390 x 9 x 590
- ③ 1-PL 420 x 9 x 680
- ④ 2-PL 93 x 9 x 767
- ⑤ 2-PL 401 x 9 x 485
- ⑥ 2-PL 60 x 9 x 1030
- ⑦ 4-PIPE 20A x 50 (SUS304TP 20S)
- ⑧ 6-PIPE 20A x 100 (SUS304TP 20S)
- ⑨ 2-RB φ19 x 480 (SUS304)
- ⑩ 4-NUT M18 (1種) (SUS304)
- ⑪ 4-NUT M18 (3種) (SUS304)
- ⑫ 4-産金 M18用 (SUS304)
- ※ ⑬ 1-PIPE 50A x 50 (SGP)
- ⑭ 1-PL φ80 x 6 (SUS304)
- ⑮ 2-PL φ30 x 6 (SUS304)
- ⑯ 1-PL 60 x 12 x 180 (SUS304)
- ⑰ 1-PL 30 x 15 x 50 (SUS304) (一面テーバー加工削り代3mm)
- ⑱ 1-PL 20 x 9 x 30
- ⑲ 1-RB φ19 x 235 (SUS304)
- ⑳ 1-RB φ19 x 337 (SUS304)
- ㉑ 1-ゴムパッキン 460x5x680 (クロロレンゴム (硬度50°))
- ㉒ 4-PL 50 x 6 x 30
- ㉓ 2-PL 50 x 6 x 80
- ※ ㉔ 3-PIPE 32A x 50 (SGP)
- ※ ㉕ 3-90° ロングエルボ 32A (SGP)
- ※ ㉖ 6-RB φ6 x 65 (SS400)
- ㉗ 2-ゴムパッキン 50x5x50 (クロロレンゴム (硬度50°))

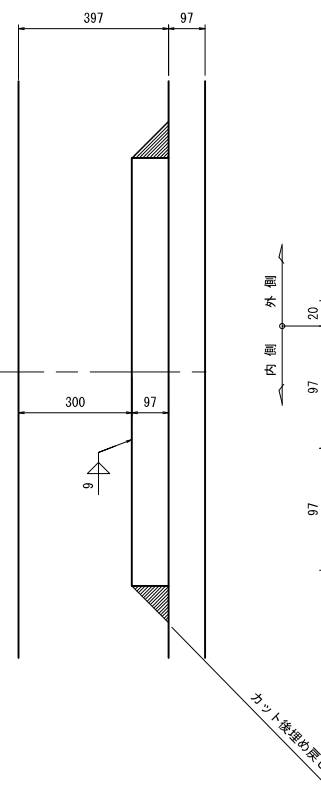
内側正面図



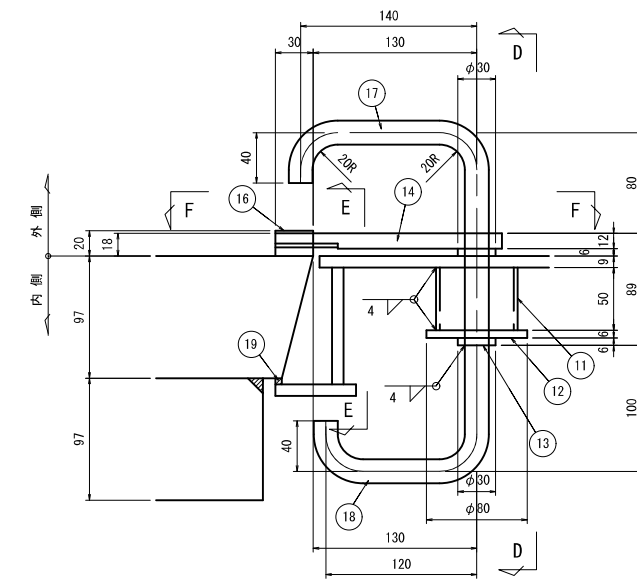
柱部用
M-1
B-B



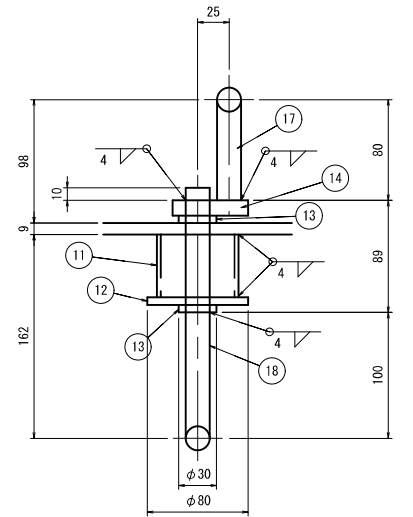
C-C



"a"部詳細図 S=1:3

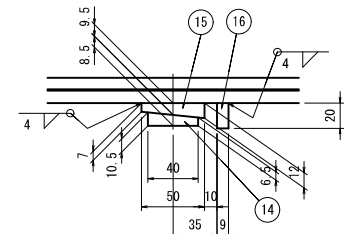


D-D S=1:3

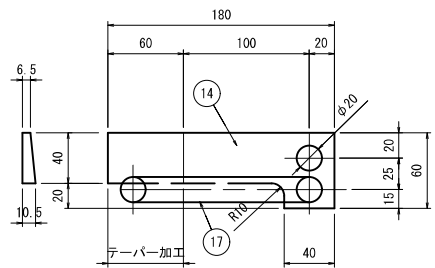


E-E S=1:3

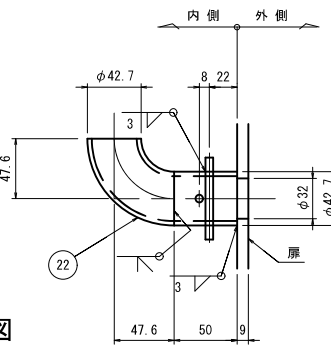
"a"部詳細の母材については、
縦方向は10mm、横方向は25mmの角落としを設けること。



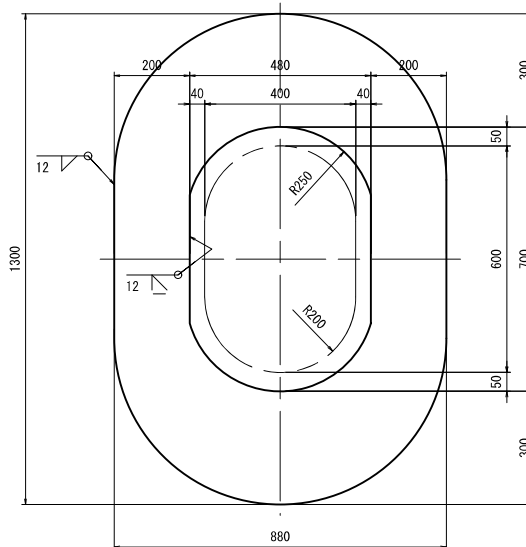
F-F S=1:3



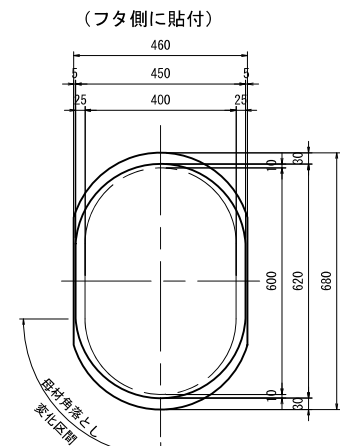
空気抜き孔詳細図 S=1:3



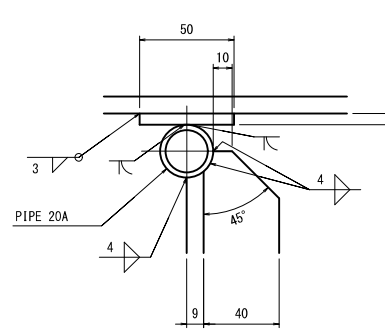
マンホール補強板詳細図



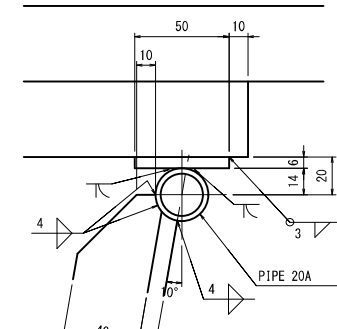
ゴムパッキン詳細図



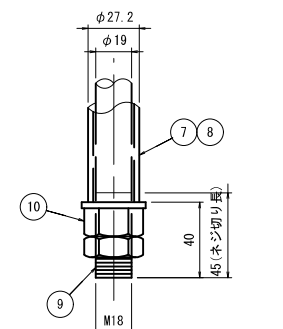
"b"部詳細図 S=1:2



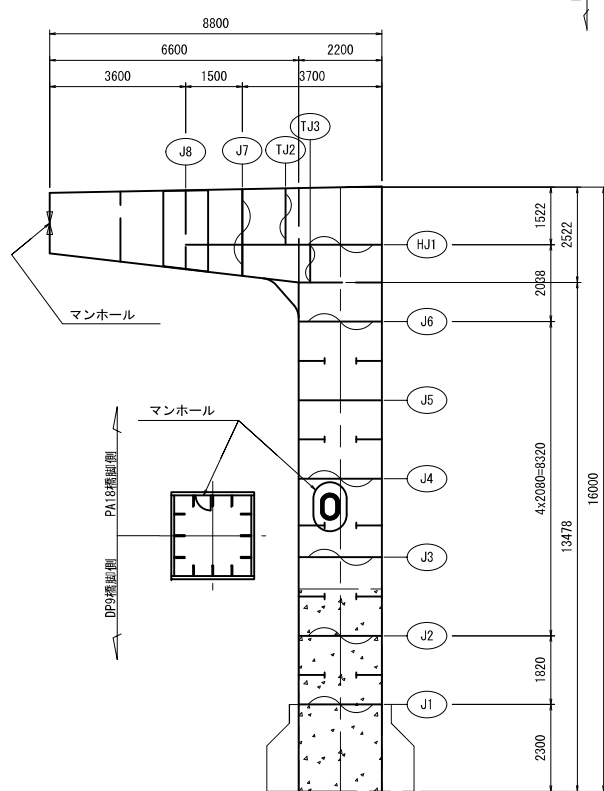
"c"部詳細図 S=1:2



"d"部詳細図 S=1:2



配置図



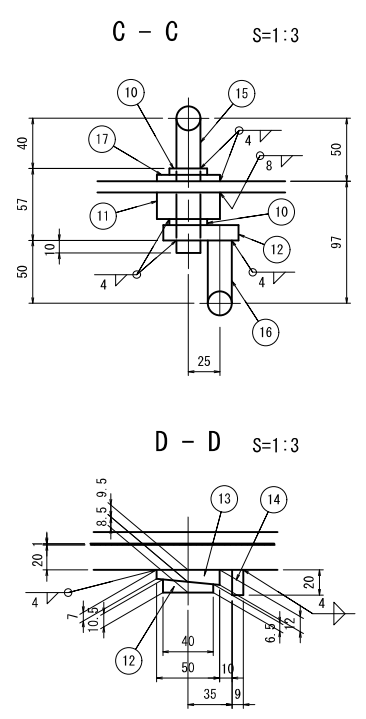
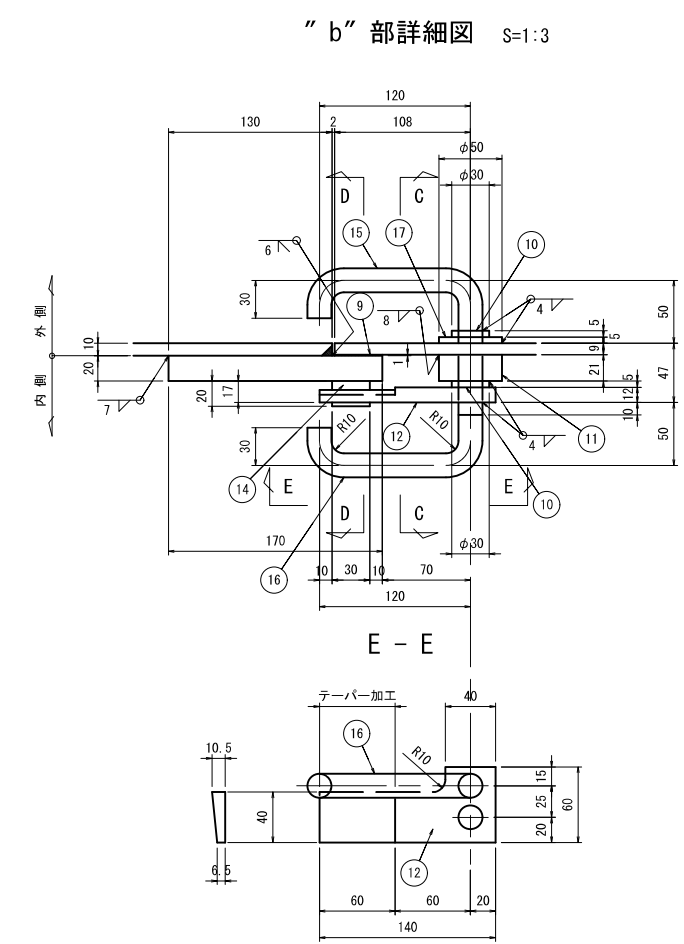
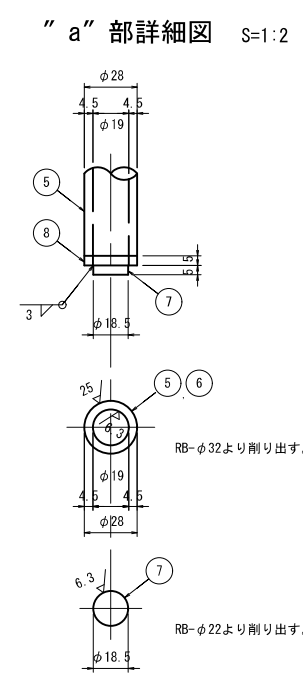
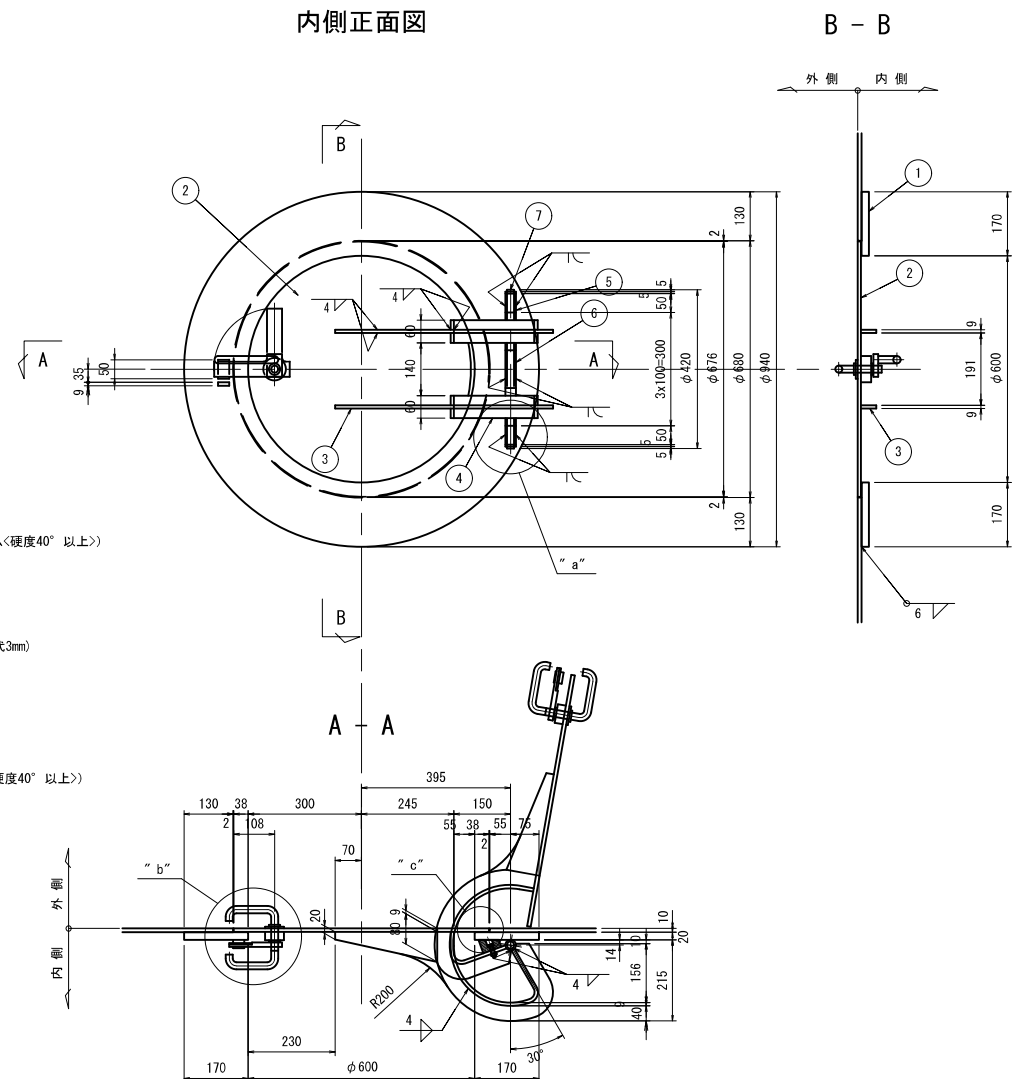
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	68 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 共通詳細図(その3)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚 共通詳細図(その3) S=1:10

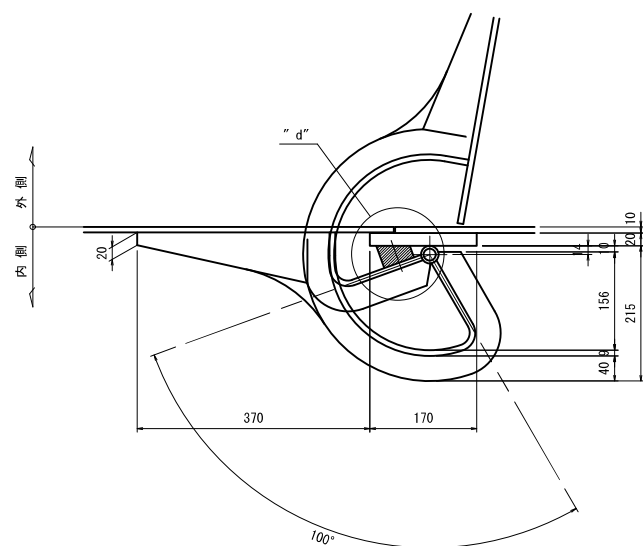
梁先端部用
M-2

注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. ゴムパッキンは、母材側に接着剤にて取付ける。

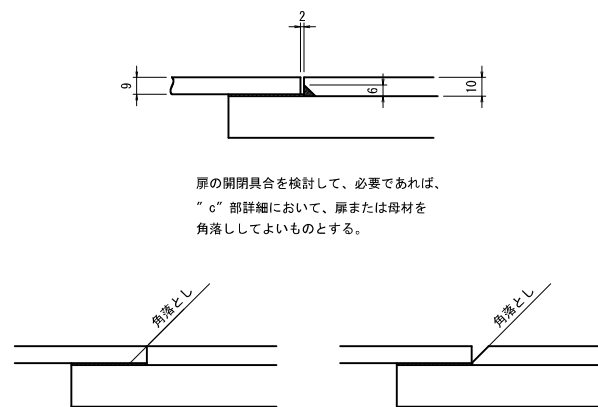
- 1 1- PL φ940 x 20 ... 本体図計上
- 2 1- PL φ676 x 9
- 3 2- PL 236 x 9 x 578
- 4 2- PL 60 x 9 x 491
- 5 2- RB φ32 x 50 (SUS304)
- 6 3- RB φ32 x 100 (SUS304)
- 7 1- RB φ22 x 420 (SUS304)
- 8 2- PL φ28 x 5 (SUS304)
- 9 1- ゴムパッキンφ80 x 1 (クロロレンゴム<硬度40°以上>)
- 10 2- PL φ30 x 5 (SUS304)
- 11 1- PL φ50 x 21 (SM400A)
- 12 1- PL 60 x 12 x 140 (SUS304)
- 13 1- PL 30 x 15 x 50 (SUS304) (一面テーパ加工削り代3mm)
- 14 1- PL 20 x 9 x 30
- 15 1- RB φ19 x 240 (SUS304)
- 16 1- RB φ19 x 200 (SUS304)
- 17 1- PL φ50 x 5 (SUS304)
- 18 2- ゴム板φ0 x 38 x 50 (クロロレンゴム<硬度40°以上>)
- 19 4- BN M8 x 35 (SUS304)



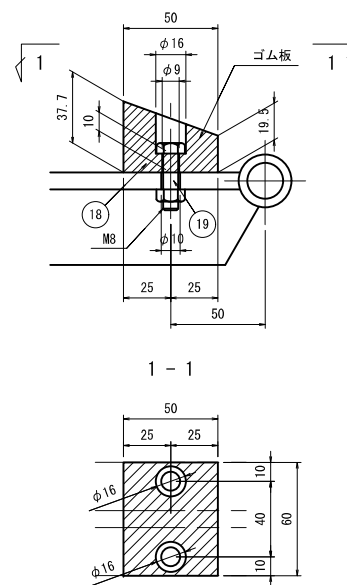
マンホール蓋回転図 S=1:6



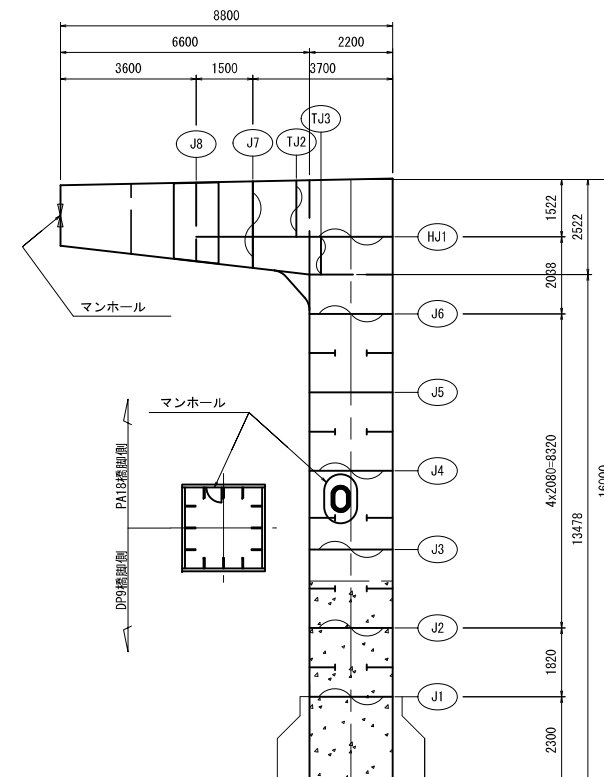
" c " 部詳細図 S=1:2



" d " 部詳細図 S=1:2



配置図

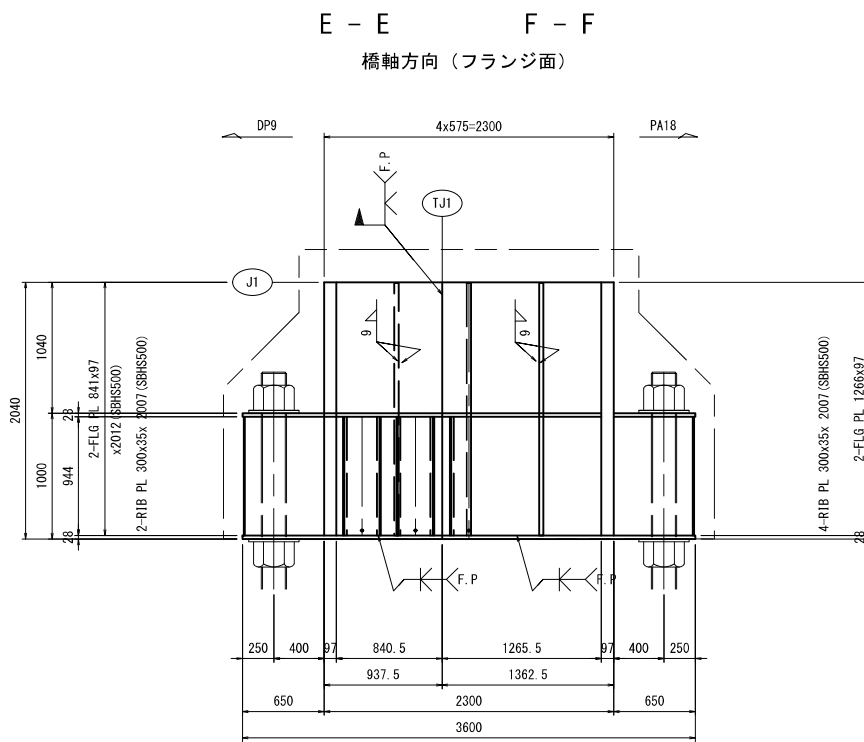
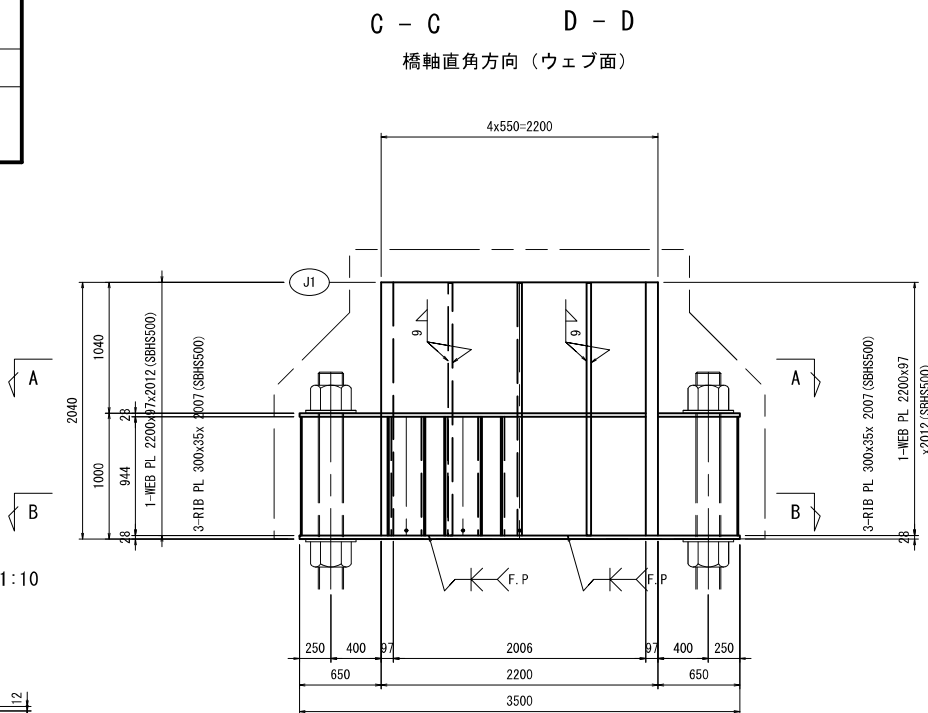


工事名	広島高速5号線温品JCT橋上工工事(2工区)		
図面番号	69 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚柱 詳細図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚柱 詳細図(その1)

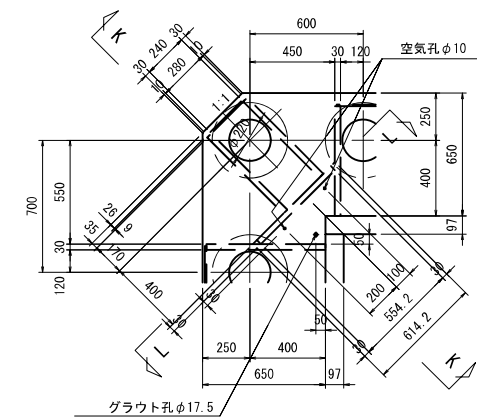
S=1:30
基部~J1

- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーリップは、全て R=35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
*印は、高力ボルト HTB M24 (F10T) を示す。
 - *印部は、C15溶接後処理とする。



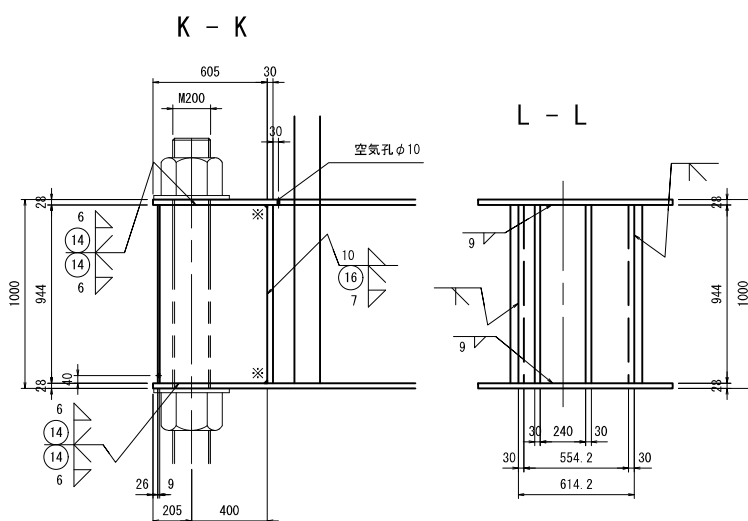
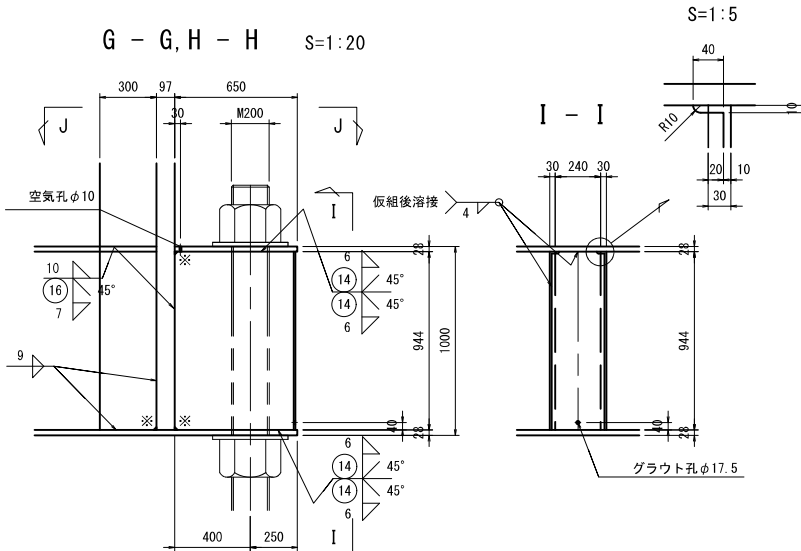
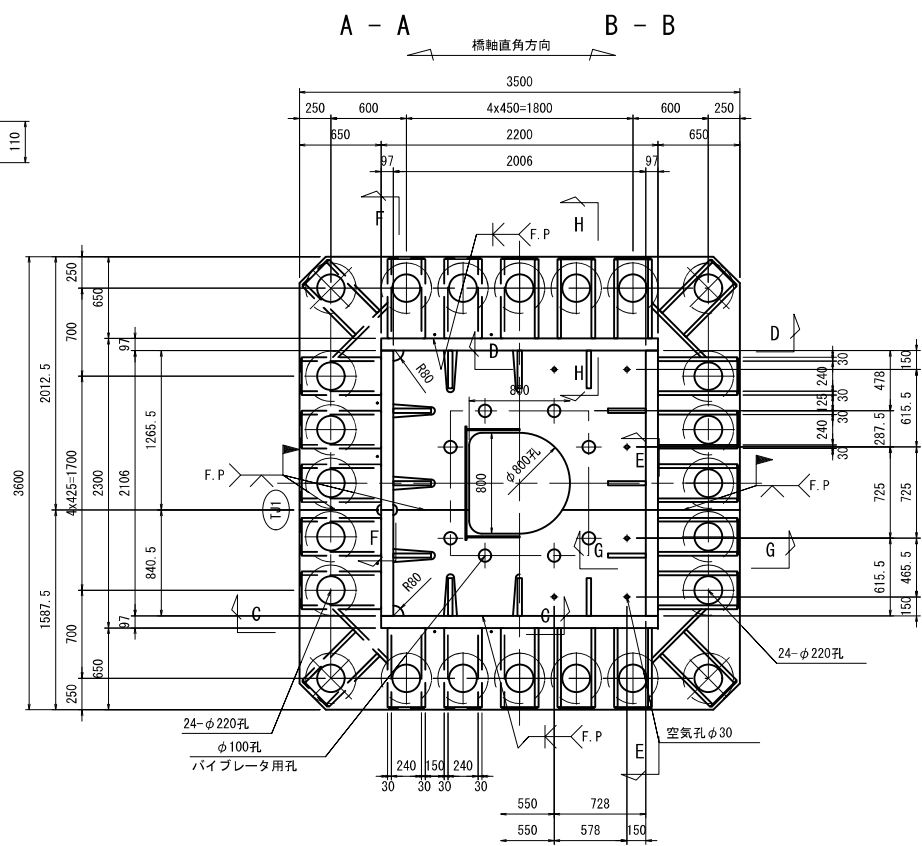
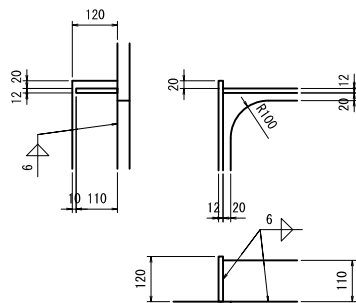
コーナー部詳細 S=1:20

(特記の他標準部に倣う)

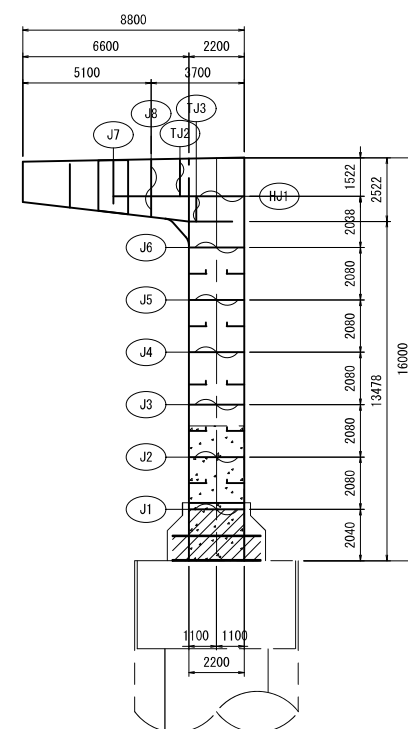


開口部詳細 S=1:10

(柱基部DIA)



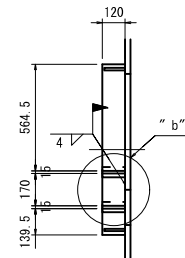
配置図



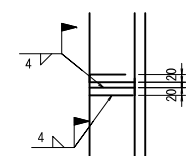
- 1 - FLG PL 3500 x 28 x 2013 (SBHS500)
- 1 - DIA PL 2006 x 28 x 1266 (SBHS500)
- 2 - PL 120 x 12 x 565
- 1 - PL 110 x 12 x 840
- 22 - R1B PL 630 x 30 x 944 (SBHS500)
- 11 - COV PL 280 x 9 x 944
- 4 - R1B PL 570 x 30 x 944 (SBHS500)
- 2 - R1B PL 554 x 30 x 944 (SBHS500)
- 2 - COV PL 280 x 9 x 944
- 1 - BASE PL 3500 x 28 x 2013 (SBHS500)

- 1 - FLG PL 3500 x 28 x 1588 (SBHS500)
- 1 - DIA PL 2006 x 28 x 841 (SBHS500)
- 2 - PL 120 x 12 x 140
- 1 - PL 110 x 12 x 840
- 18 - R1B PL 630 x 30 x 944 (SBHS500)
- 9 - COV PL 280 x 9 x 944
- 4 - R1B PL 570 x 30 x 944 (SBHS500)
- 2 - R1B PL 554 x 30 x 944 (SBHS500)
- 2 - COV PL 280 x 9 x 944
- 1 - BASE PL 3500 x 28 x 1588 (SBHS500)
- 1 - PL 120x6x170 (SS400)
- 2 - PL 50x6x55 (SS400)

"a"部詳細 S=1:20



"b"部詳細 S=1:10



工事名	広島高速5号線温品JCT橋上部分工(2工区)		
図面番号	70 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚柱詳細図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

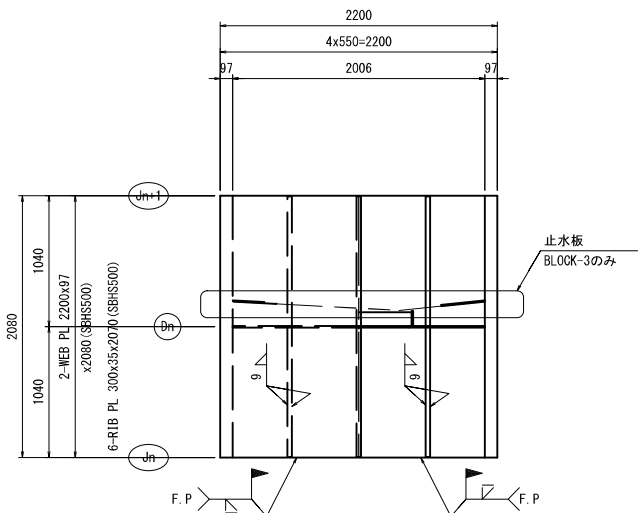
- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーフは、全て R=35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T), TCB M24 (S10T) を示す。
*印は、高力ボルト HTB M24 (F10T) を示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

DP10鋼製橋脚柱詳細図(その2)

S=1:30

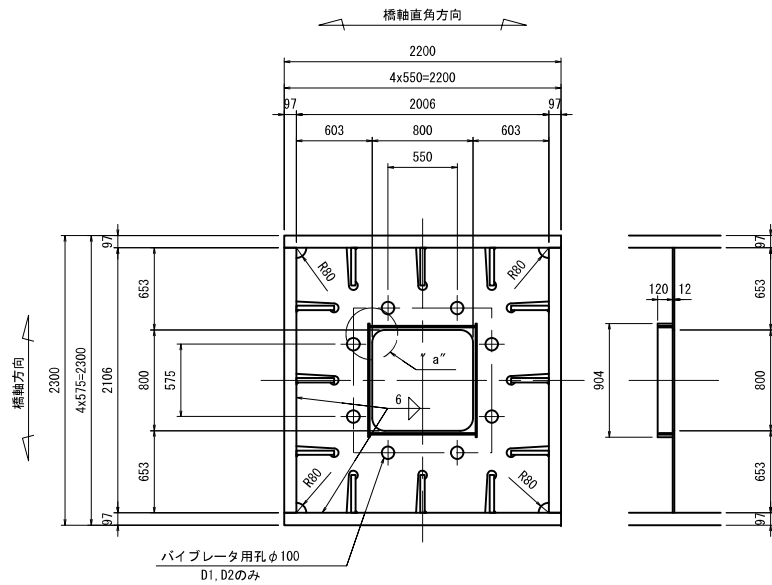
J1~J3

橋軸直角方向(ウェブ面)

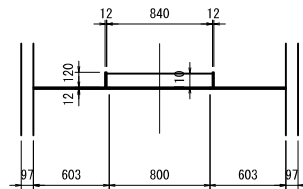
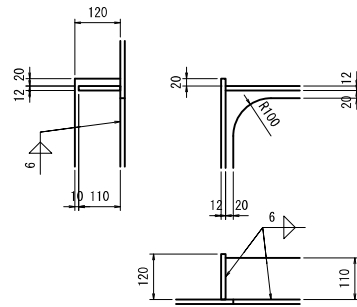


標準ダイアフラム

(D1) (D2) (D4) (D5)

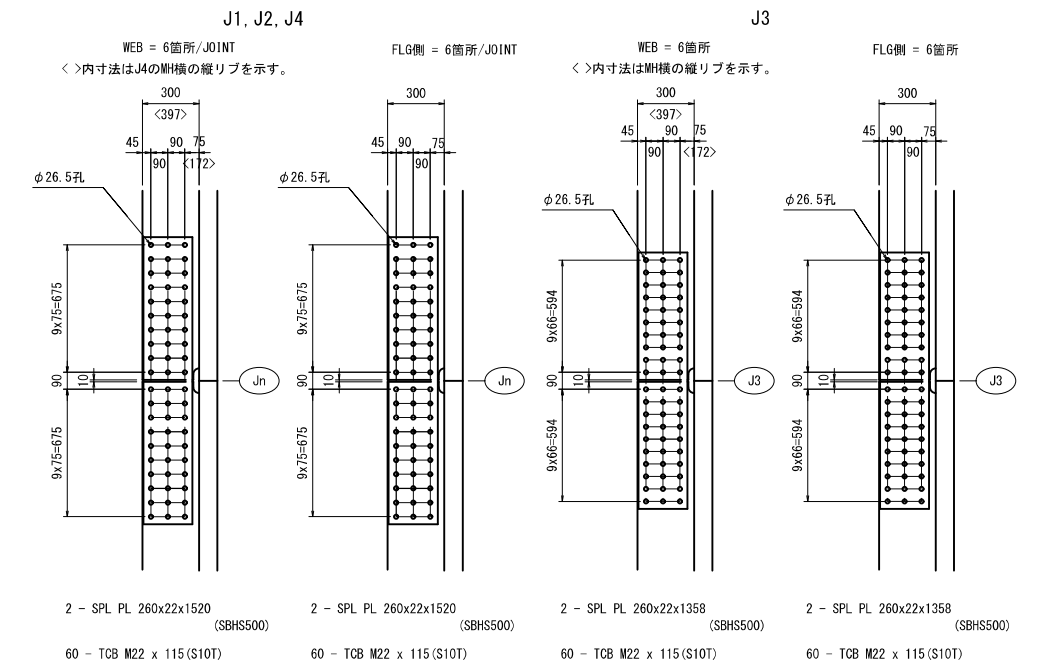


"a"部詳細 S=1:10

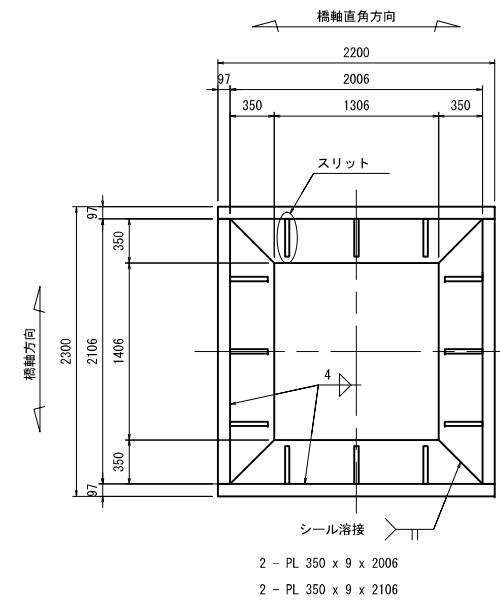


1-DIA PL 2006x12x2106
2-PL 120x12x904
2-PL 110x12x840

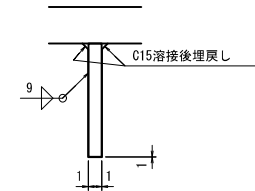
縦リブ添接詳細 S=1:20



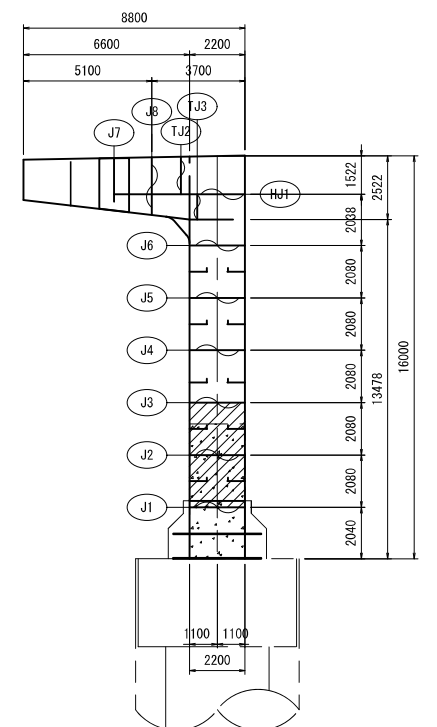
止水板詳細
BLOCK-3のみ



スリット詳細 S=1:10



配置図



工事名	広島高速5号線温品JCT橋上工 (2工区)		
図面番号	71 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚柱詳細図(その3)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚柱詳細図(その3)

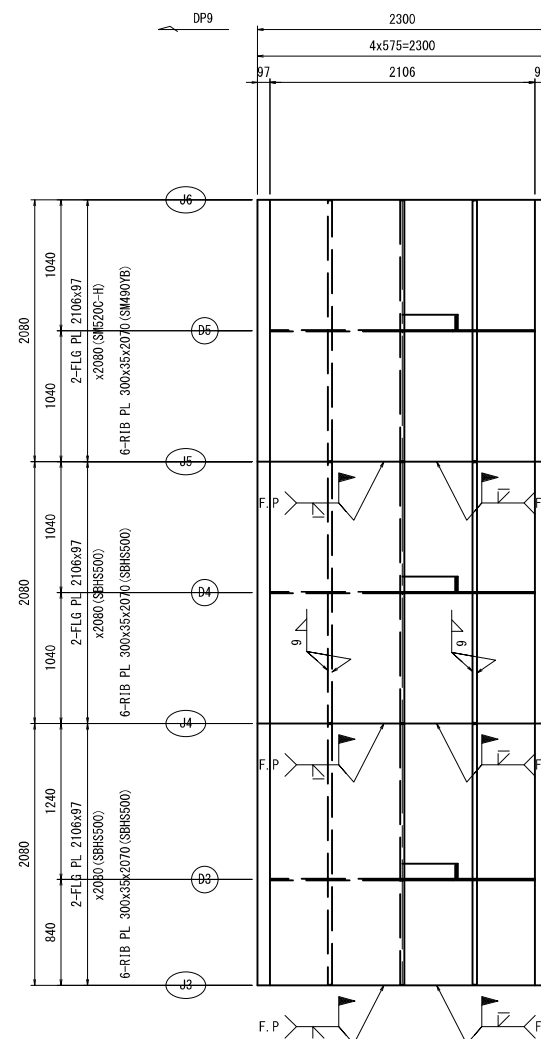
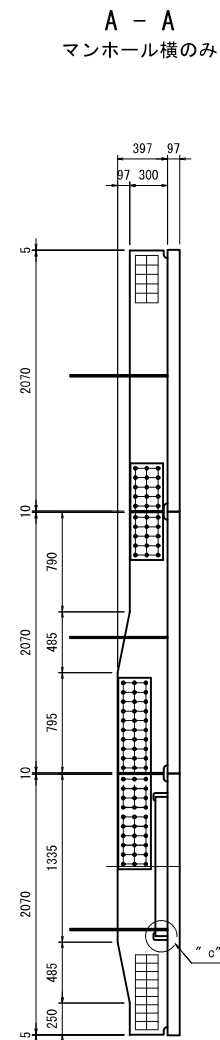
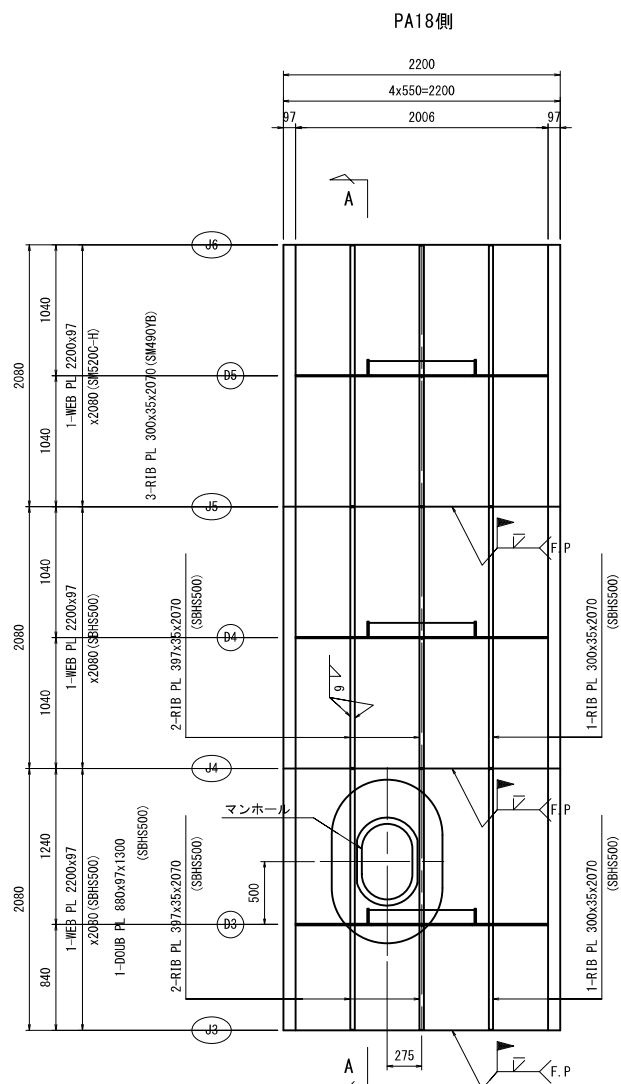
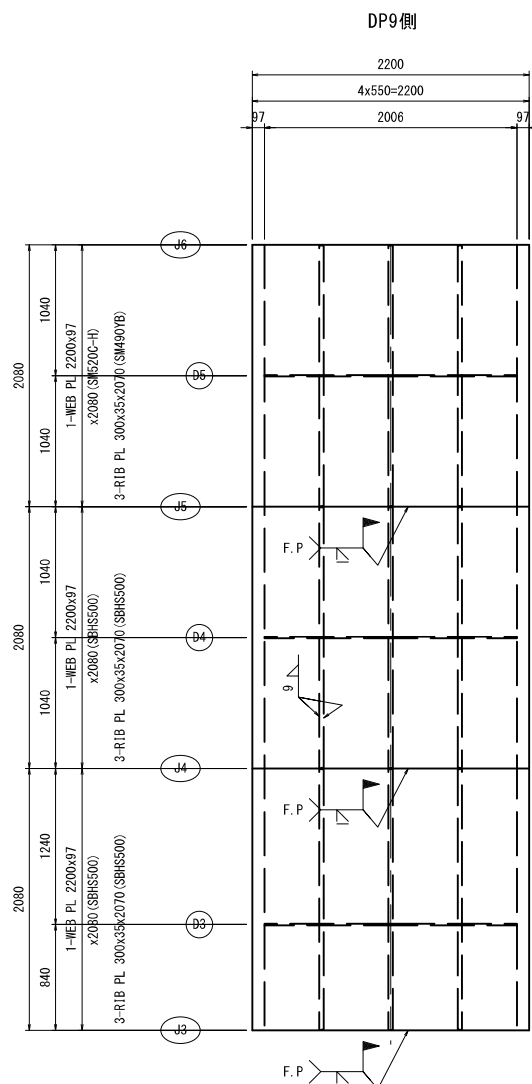
S=1:30

J3~J6

橋軸直角方向 (ウェブ面)

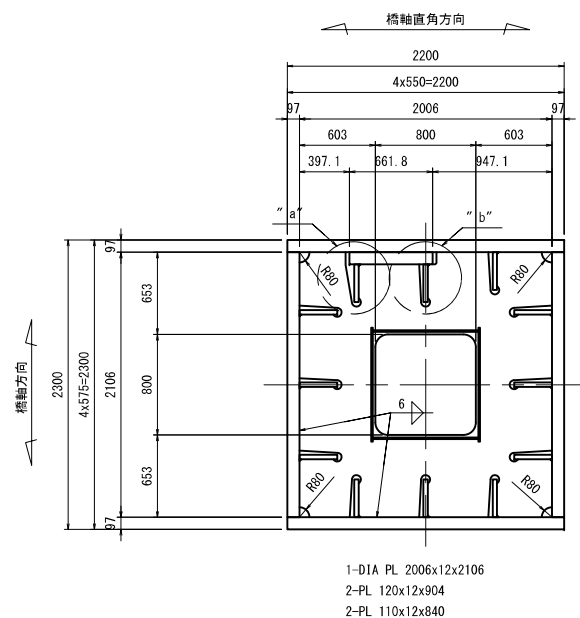
橋軸方向 (フランジ面)

- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーリップは、全て R=35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
*印は、高力ボルト HTB M24 (F10T) を示す。
 - **印部は、C15溶接後理戻しとする。

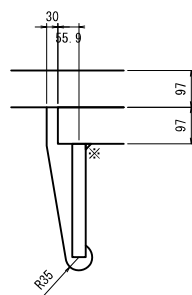


D3

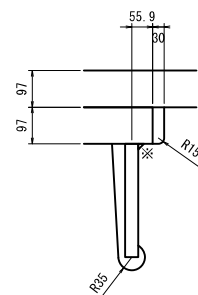
注) 特記の他標準ダイヤフラムに依る



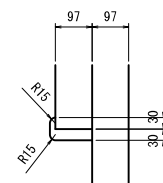
“ a ” 部詳細 S=1:10



“ b ” 部詳細 S=1:10

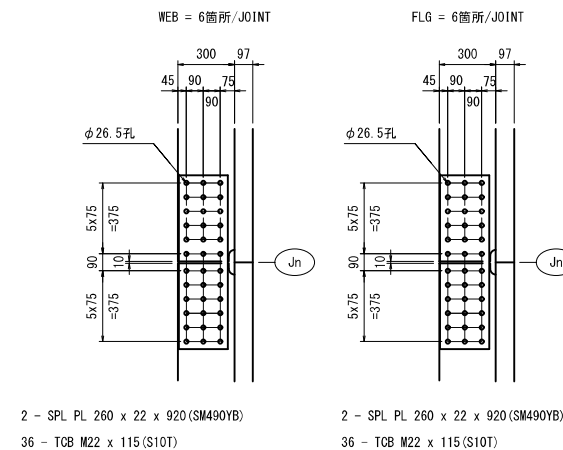


“ c ” 部詳細 S=1:10

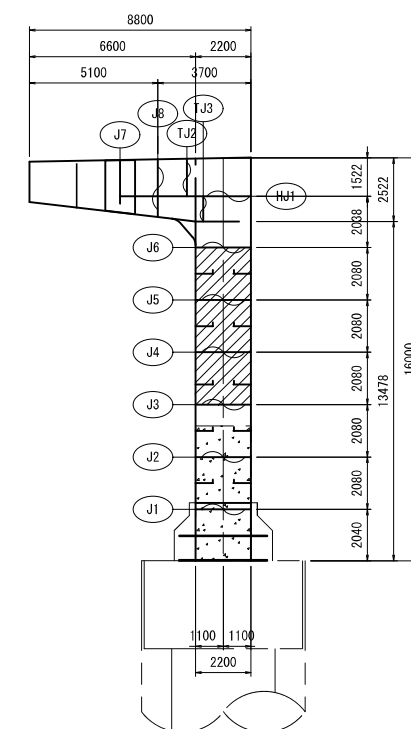


縦リブ添接詳細 S=1:20

J5, J6



配置図

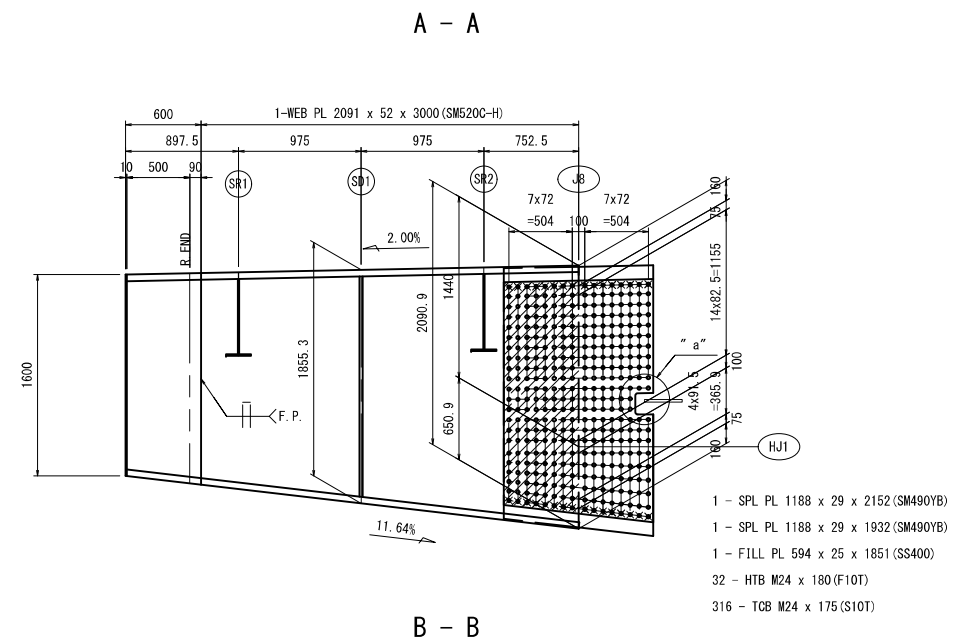
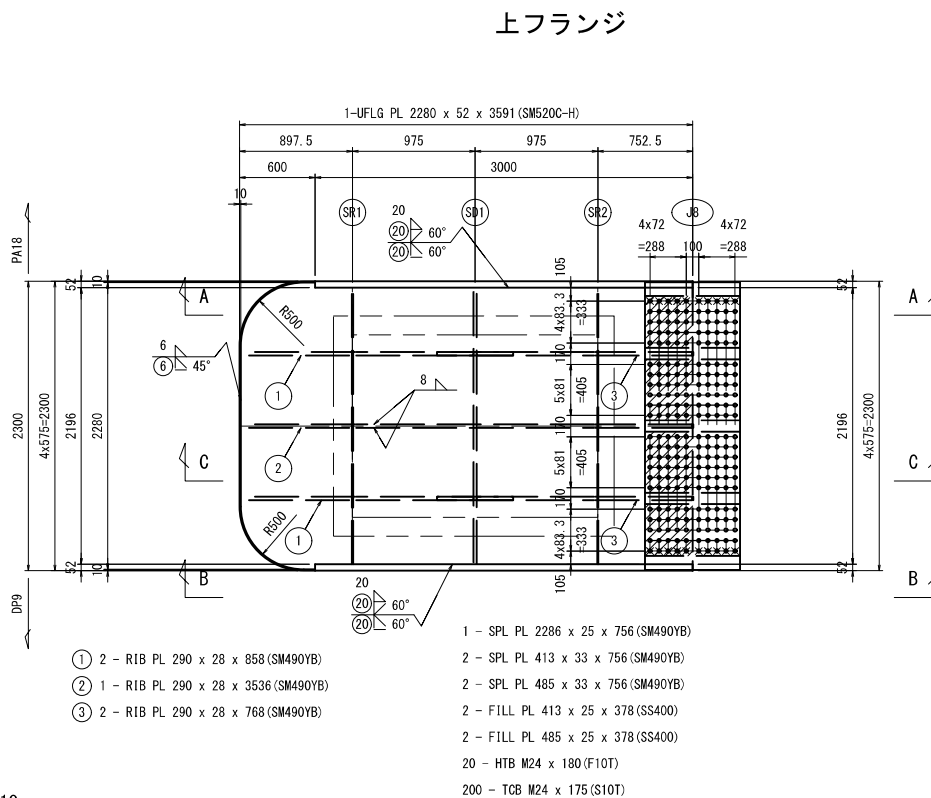


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	72 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

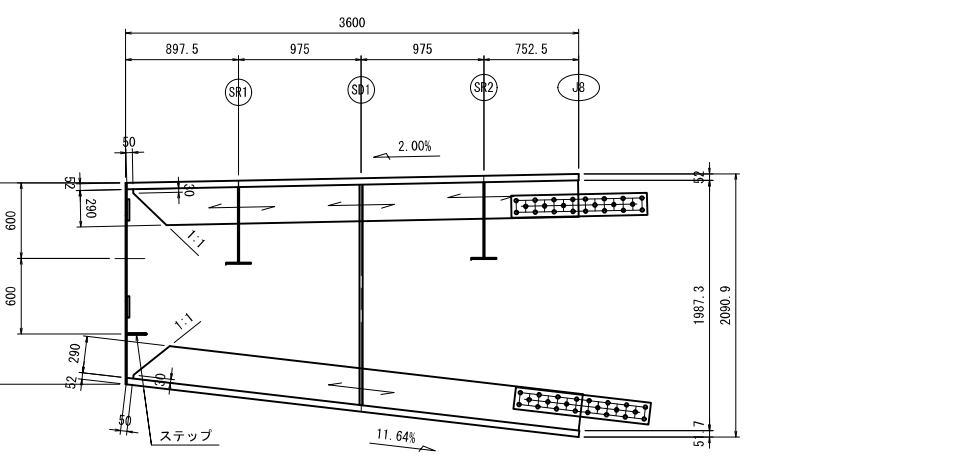
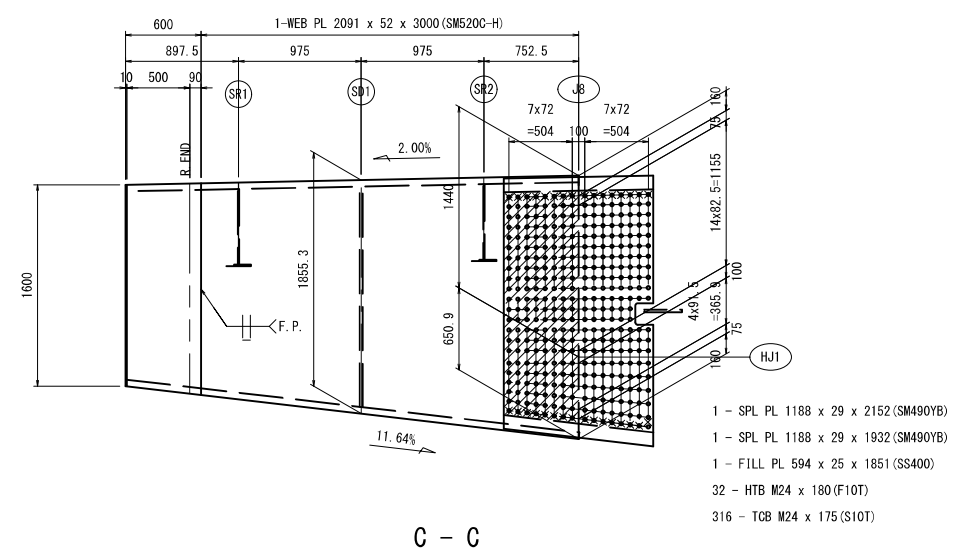
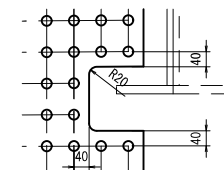
DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その1)

S=1:30

- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーフは、全て R=35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
米印は、高力ボルト HTB M22 (F10T)、HTB M24 (F10T) を示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。
 - J7 は、断面変化位置を示す。

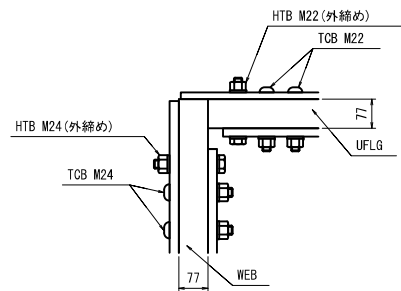


“a”部詳細 S=1:10

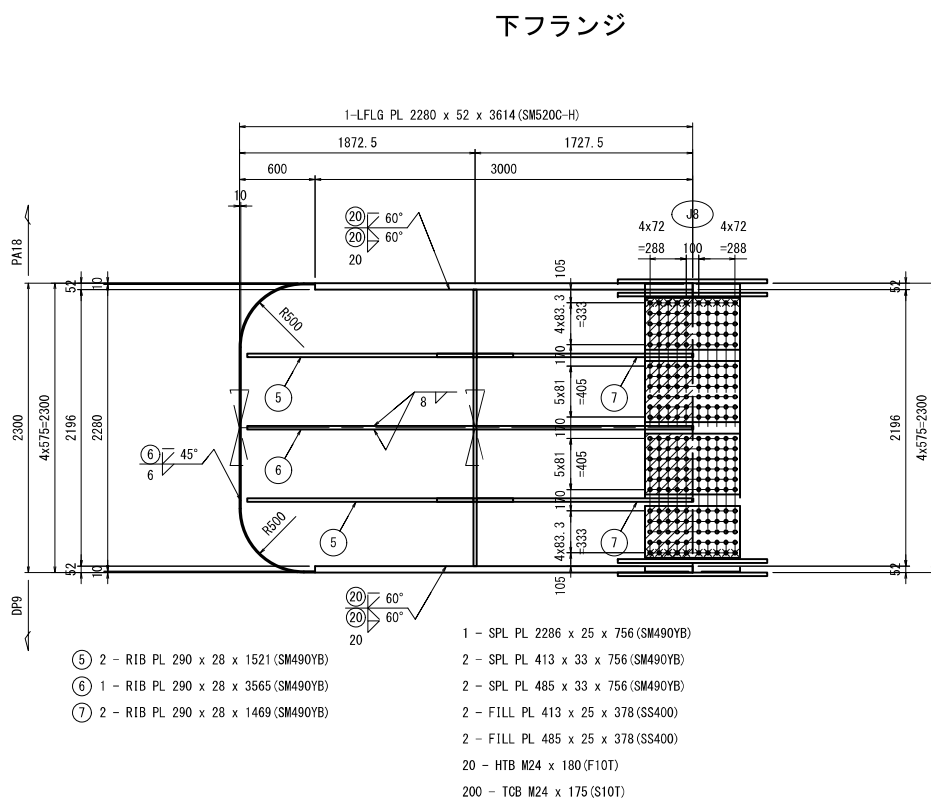
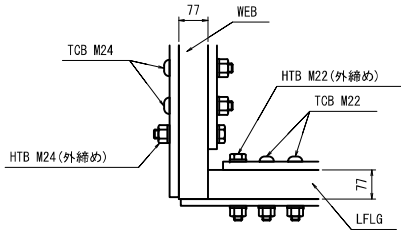


ボルト締め付け要領 S=1:10

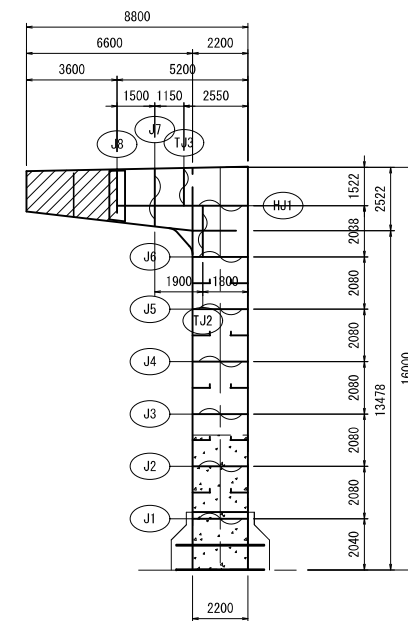
上フランジ側



下フランジ側



配置図

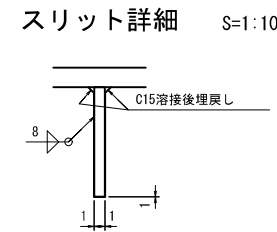
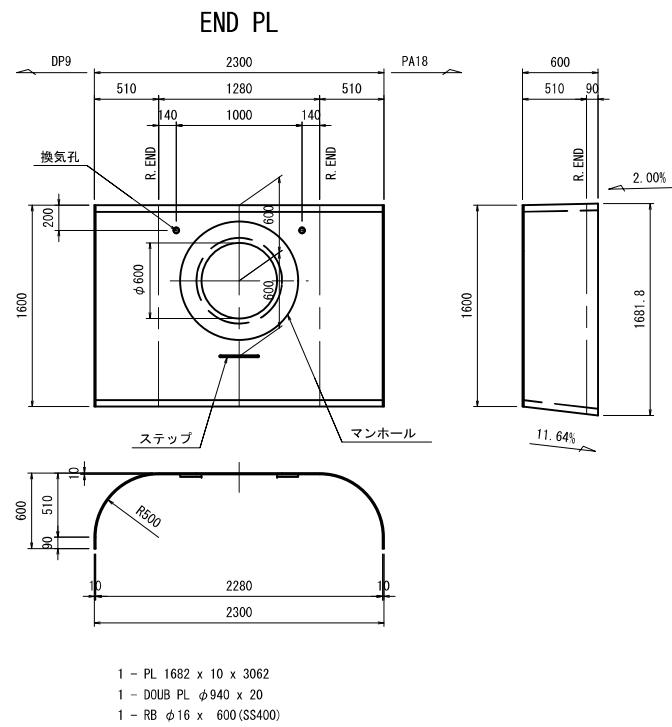
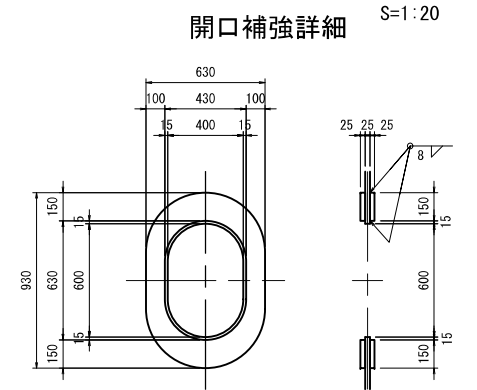
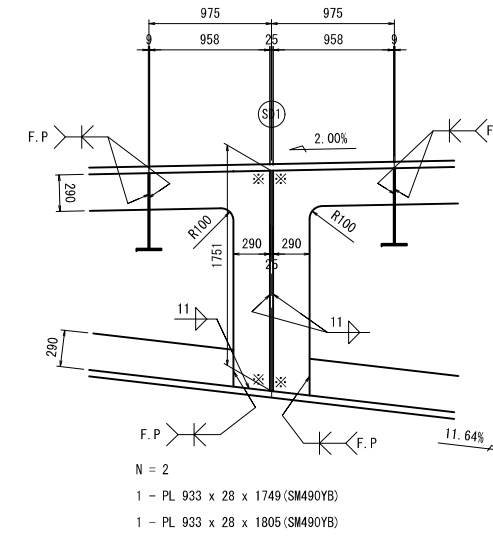
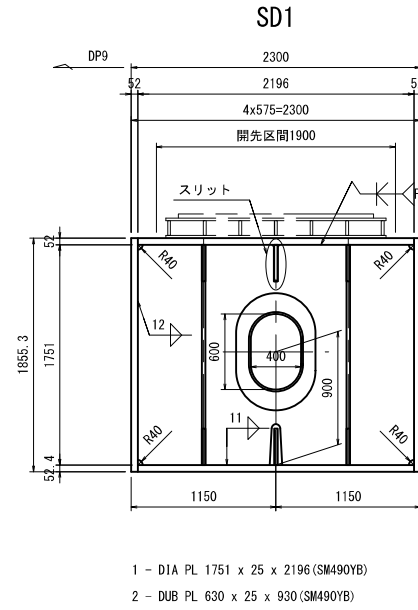
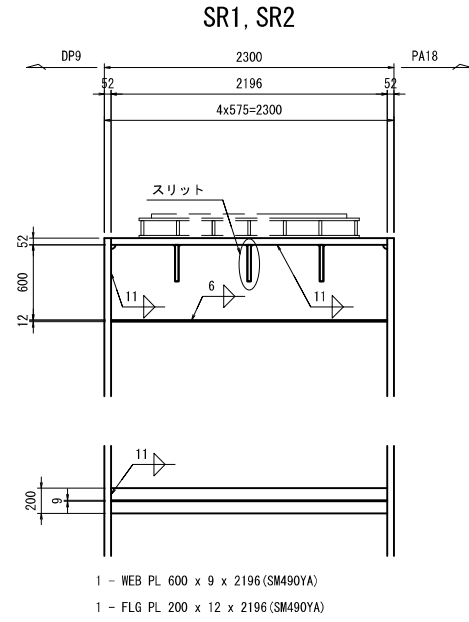


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	73 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部詳細図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

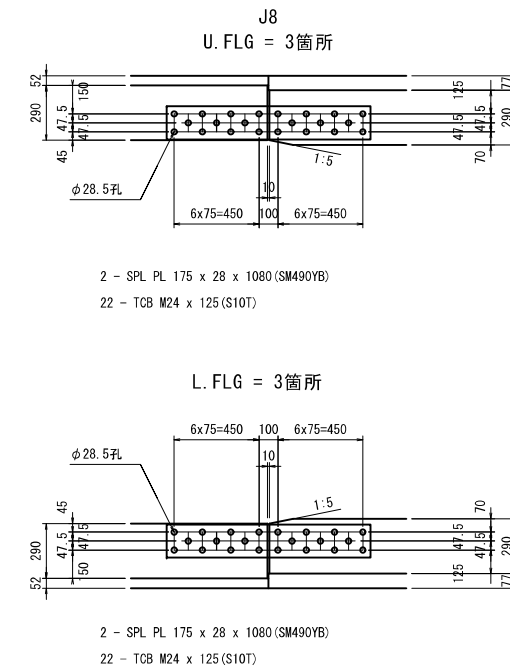
- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーップは、全て R=35 とする。
 - ◆印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
※印は、高力ボルト HTB M22 (F10T)、HTB M24 (F10T) を示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。
 - J7 は、断面変化位置を示す。

DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その2)

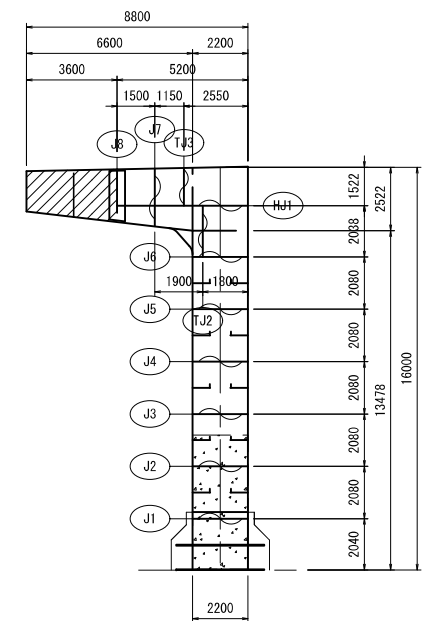
S=1:30



縦リブ継手詳細 S=1:20



配置図

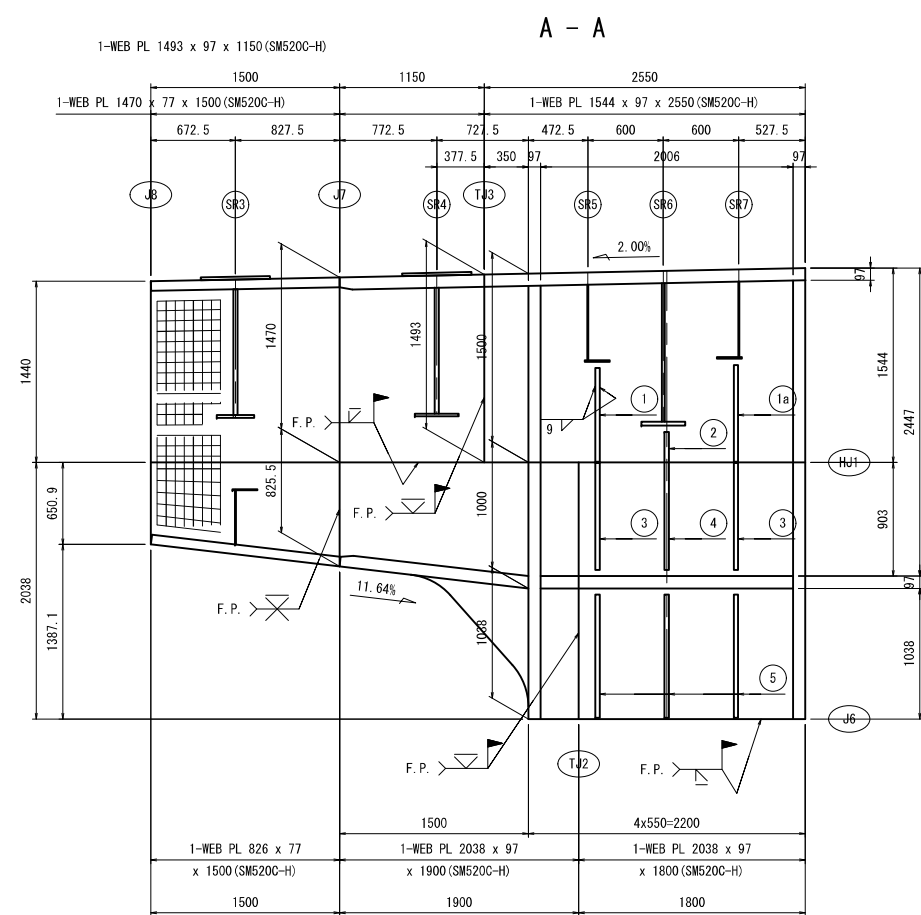
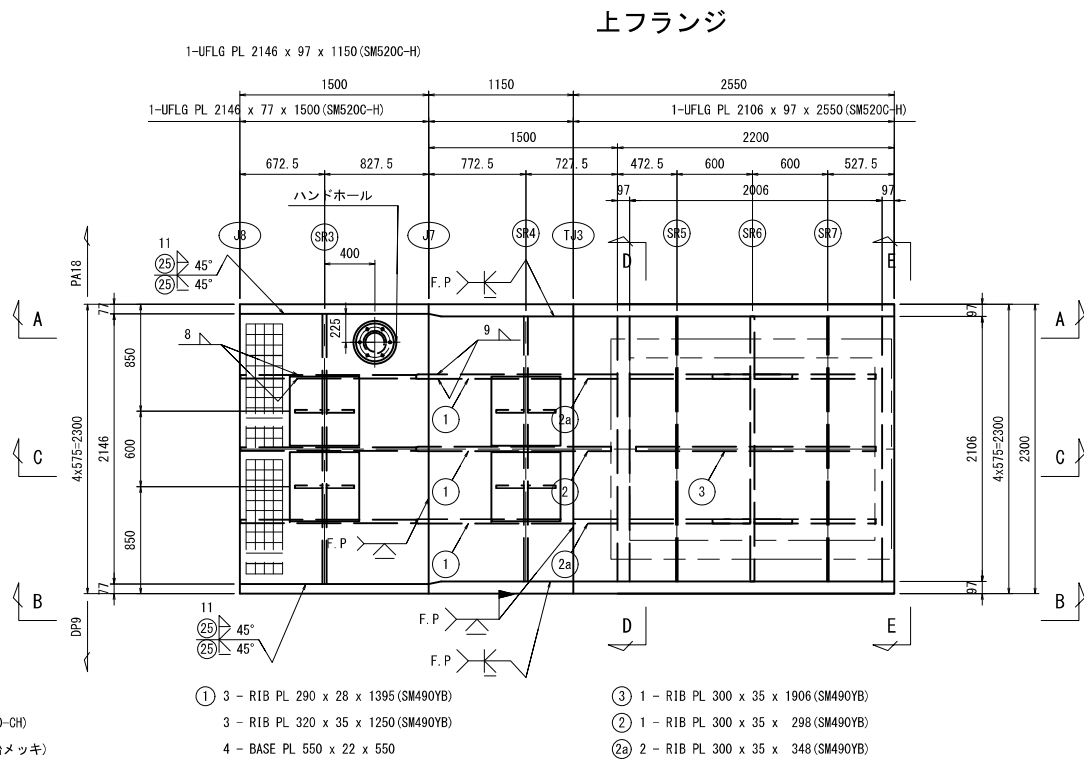


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	74 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その3)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その3) S=1:30

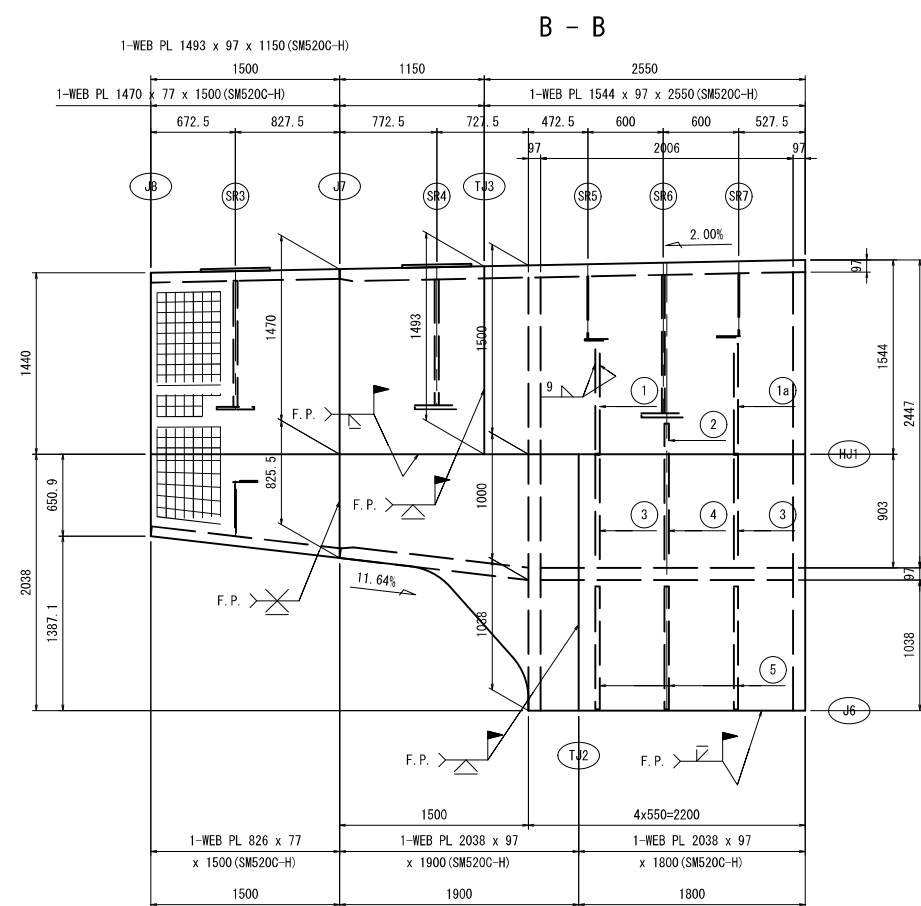
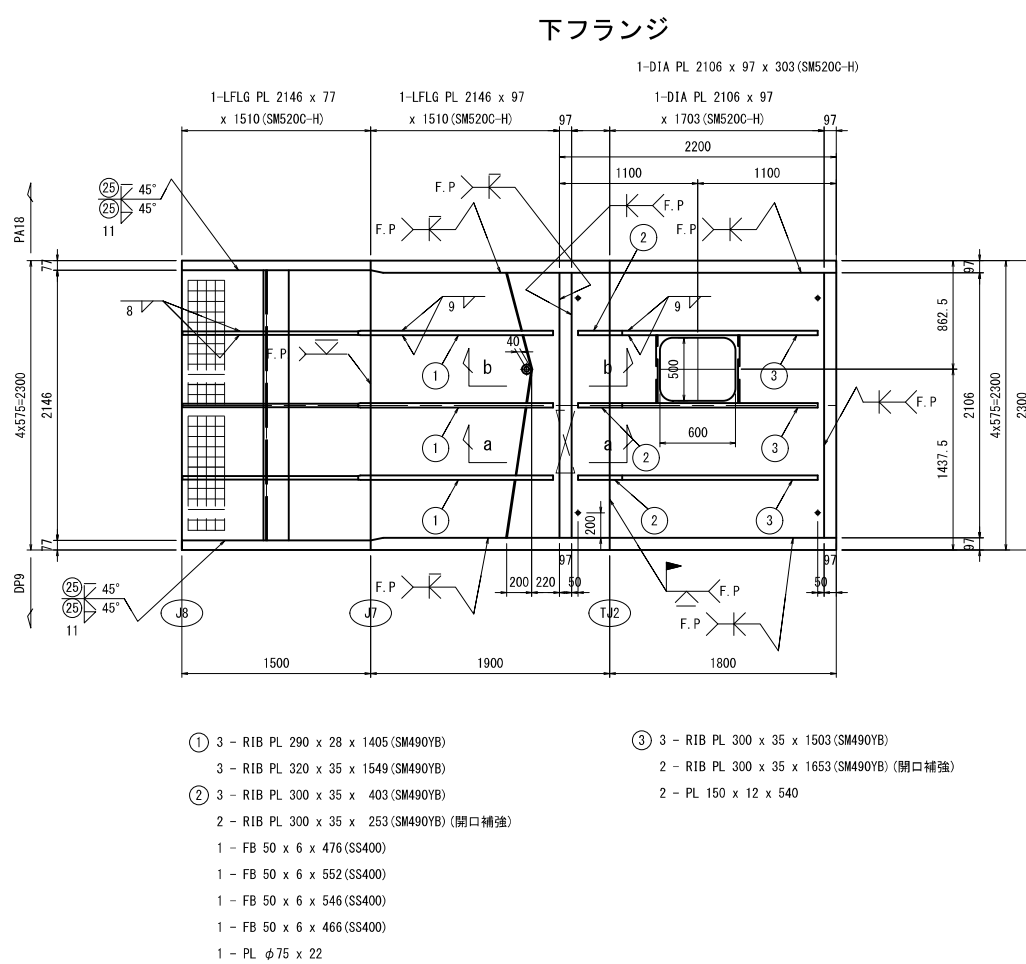
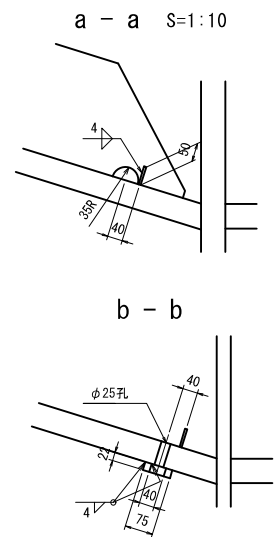
- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
米印は、高力ボルト HTB M22 (F10T)、HTB M24 (F10T) を示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。
 - (J7) は、断面変化位置を示す。

ハンドホール材料 N=1
 1-COV PL φ300 x 9 (SS400)
 1-DOUB PL φ340 x 77 (SM520-CH)
 6-BN M16 x 190 (SS400) (垂鉛メッキ)
 1-6um φ300 x 6 (クロロレンゴム)



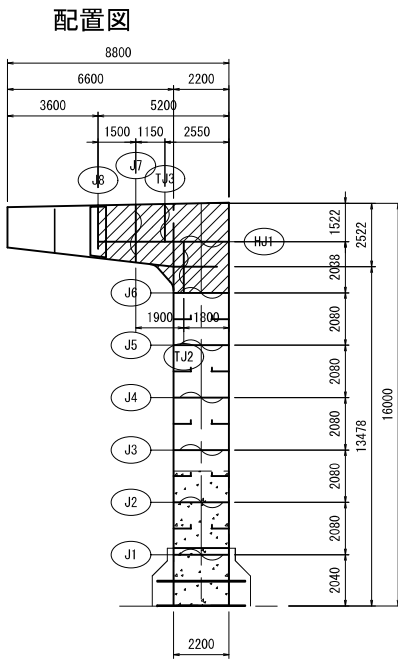
- HJ1-TOP
 ① 1 - RIB PL 300 x 35 x 747 (SM490YB)
 ①a) 1 - RIB PL 300 x 35 x 771 (SM490YB)
 ② 1 - RIB PL 300 x 35 x 242 (SM490YB)

- J6-HJ1
 ③ 2 - RIB PL 300 x 35 x 848 (SM490YB)
 ④ 1 - RIB PL 300 x 35 x 853 (SM490YB)
 ⑤ 3 - RIB PL 300 x 35 x 978 (SM490YB)



- HJ1-TOP
 ① 1 - RIB PL 300 x 35 x 747 (SM490YB)
 ①a) 1 - RIB PL 300 x 35 x 771 (SM490YB)
 ② 1 - RIB PL 300 x 35 x 242 (SM490YB)

- J6-HJ1
 ③ 2 - RIB PL 300 x 35 x 848 (SM490YB)
 ④ 1 - RIB PL 300 x 35 x 853 (SM490YB)
 ⑤ 3 - RIB PL 300 x 35 x 978 (SM490YB)

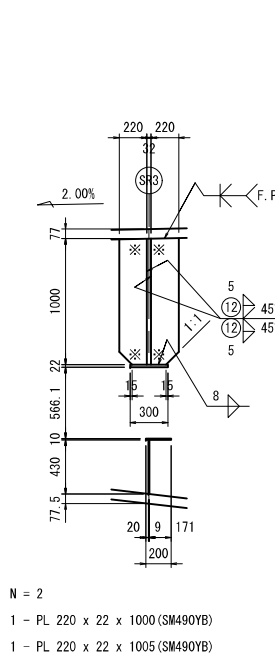
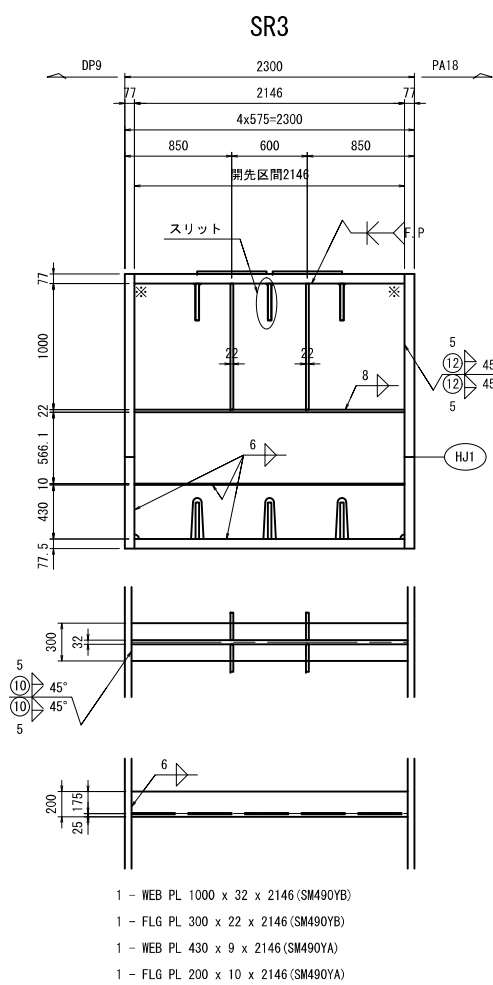
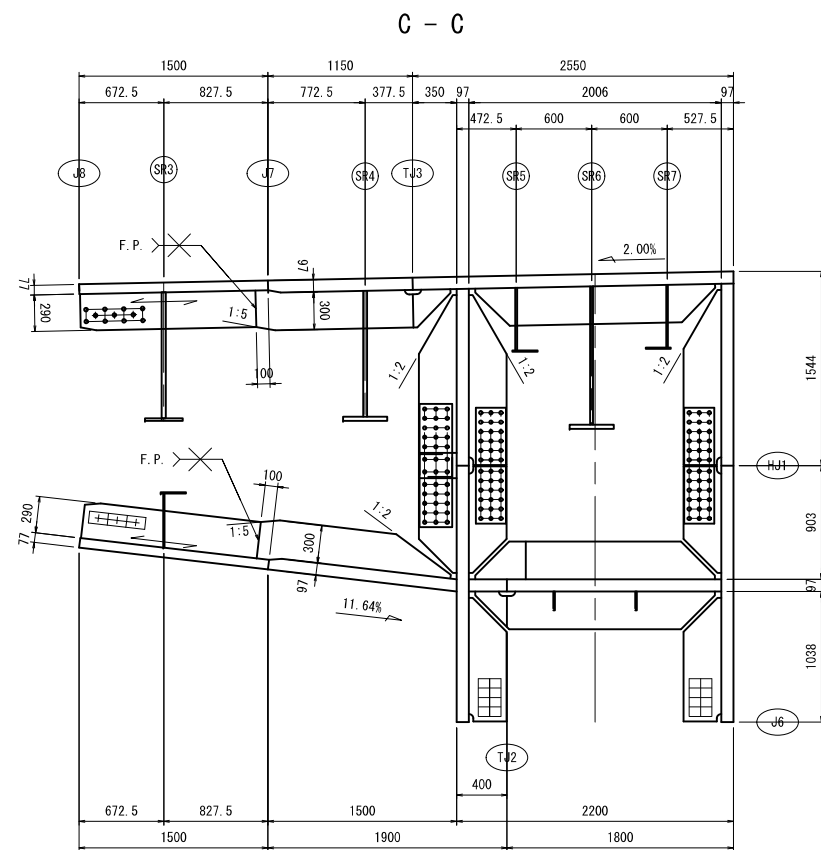


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	75 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その4)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

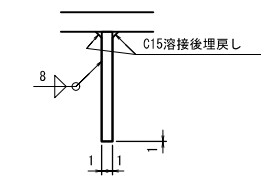
DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その4)

S=1:30

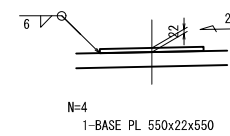
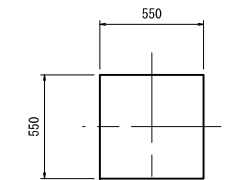
- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーフは、全て R=35 とする。
 - ◆印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
※印は、高力ボルト HTB M22 (F10T)、HTB M24 (F10T) を示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。
 - J7 は、断面変化位置を示す。



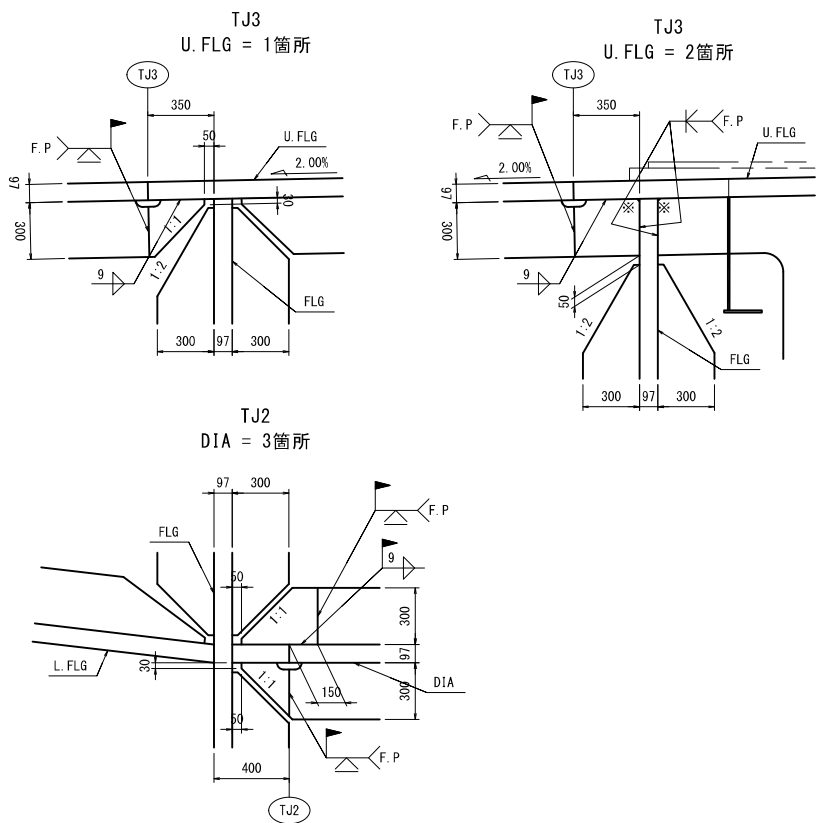
スリット詳細 S=1:10



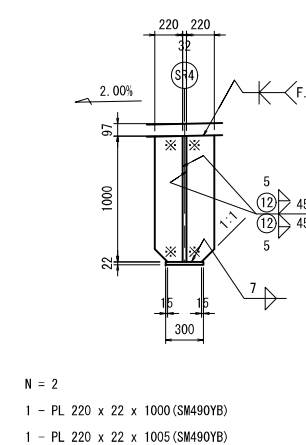
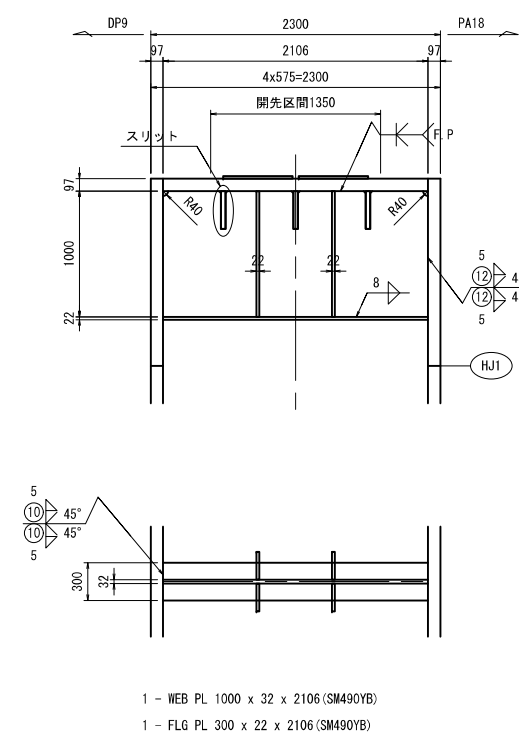
ジャッキアップ用
ベースプレート詳細 S=1:20



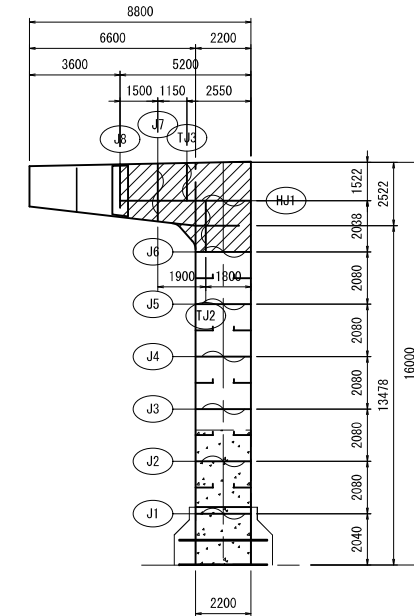
縦リブ継手詳細 S=1:20



SR4



配置図

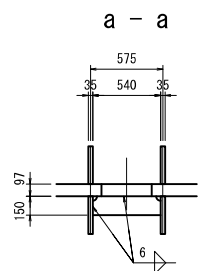
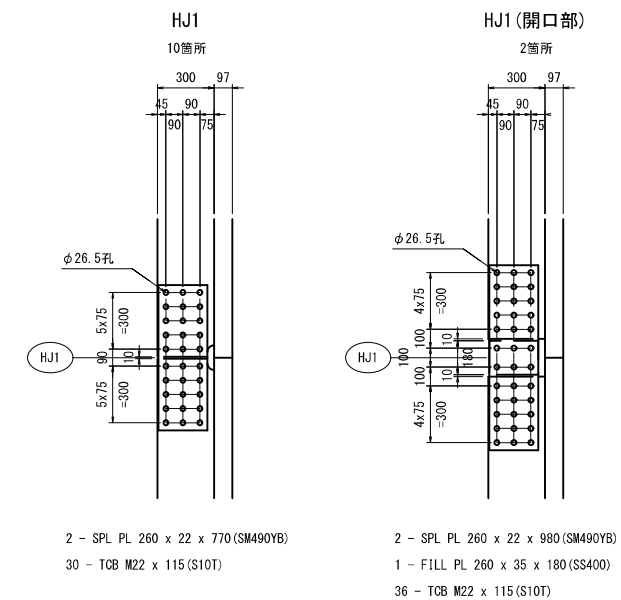
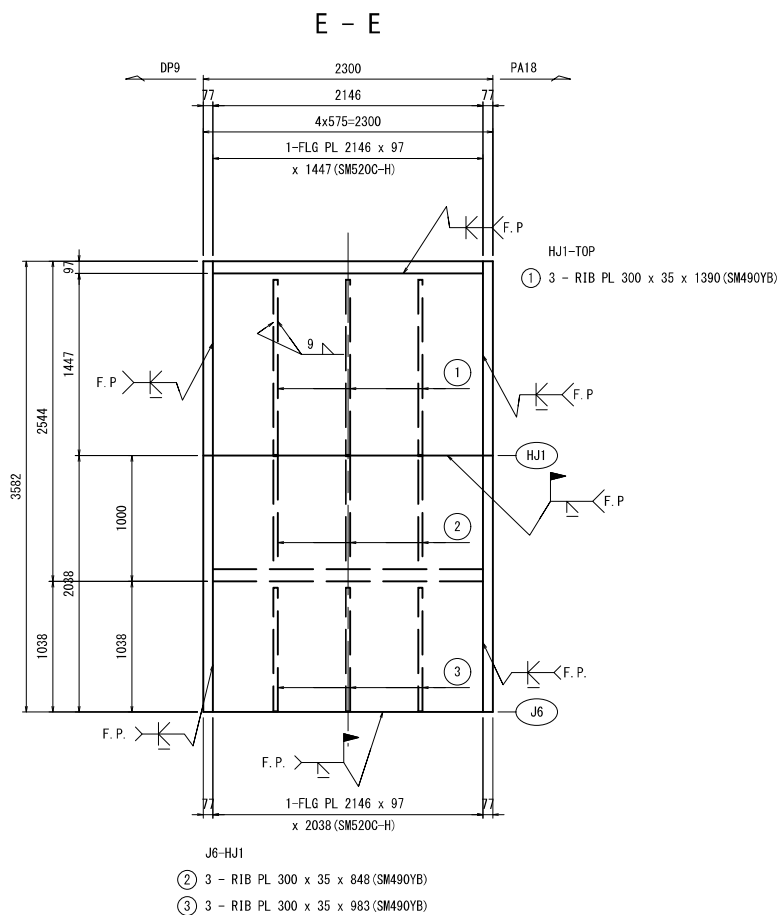
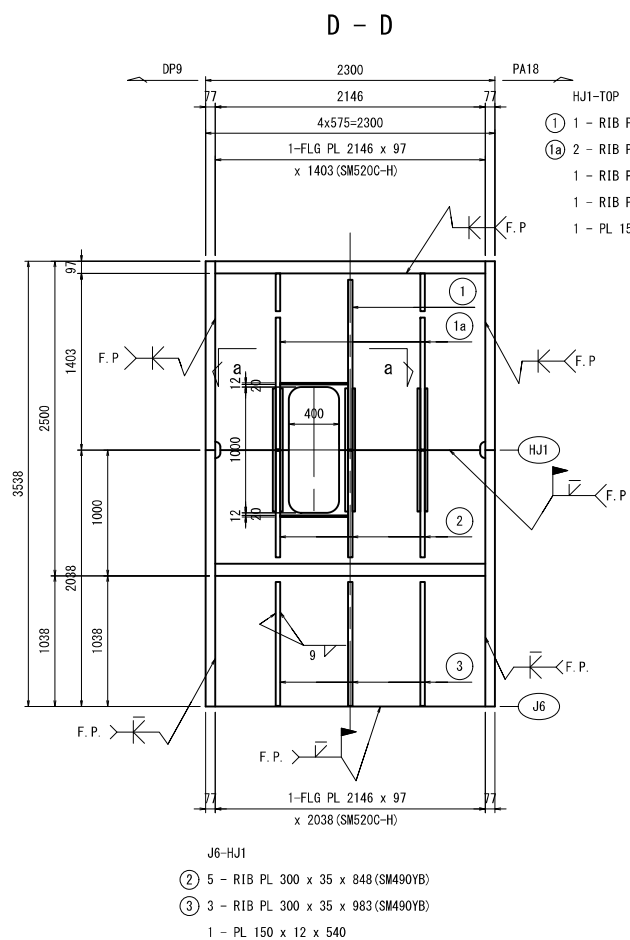


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	76 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その5)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

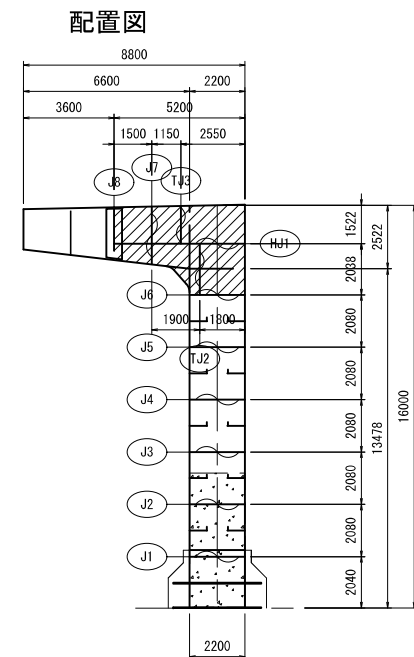
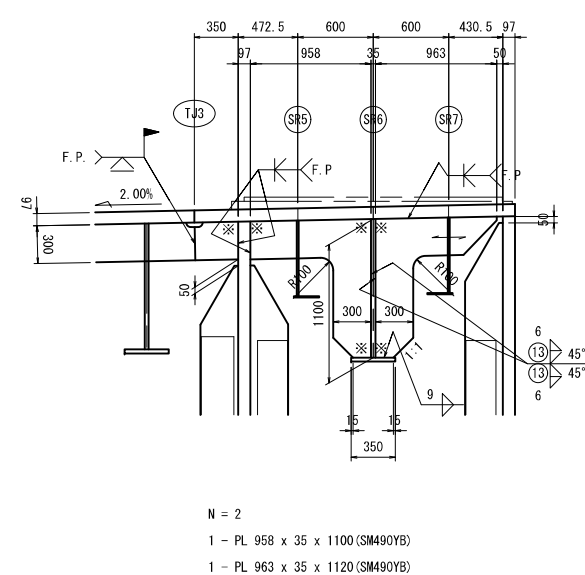
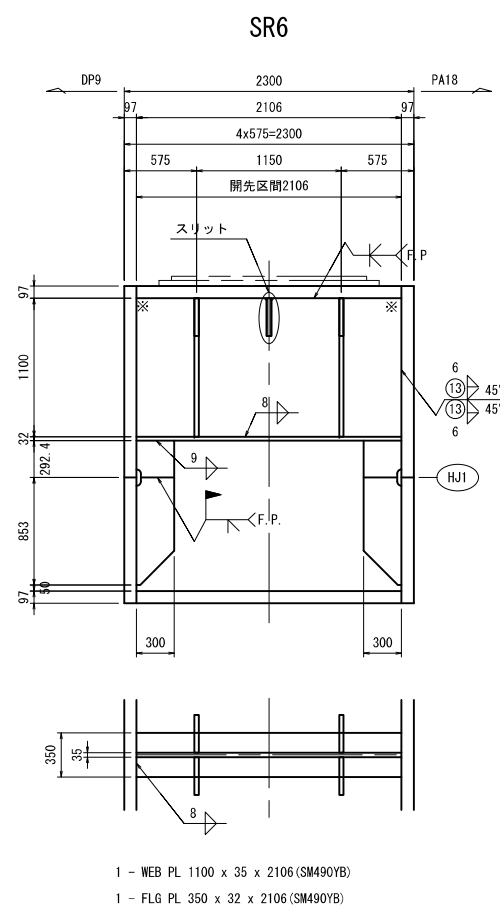
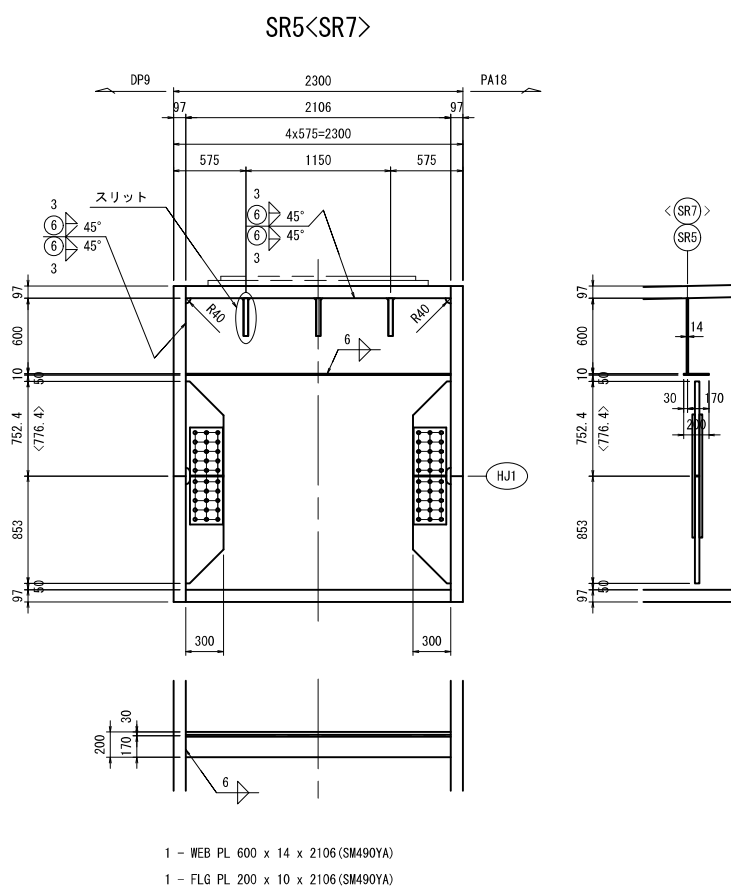
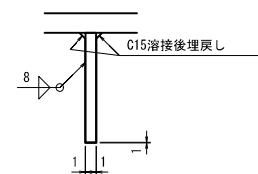
DP10鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その5)

S=1:30

- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 - 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T) を示す。
米印は、高力ボルト HTB M22 (F10T)、HTB M24 (F10T) を示す。
 - ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。
 - 印部は、断面変化位置を示す。



スリット詳細 S=1:10

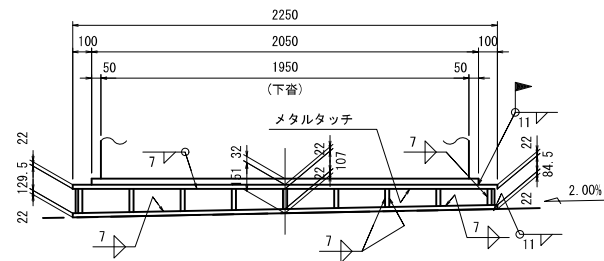
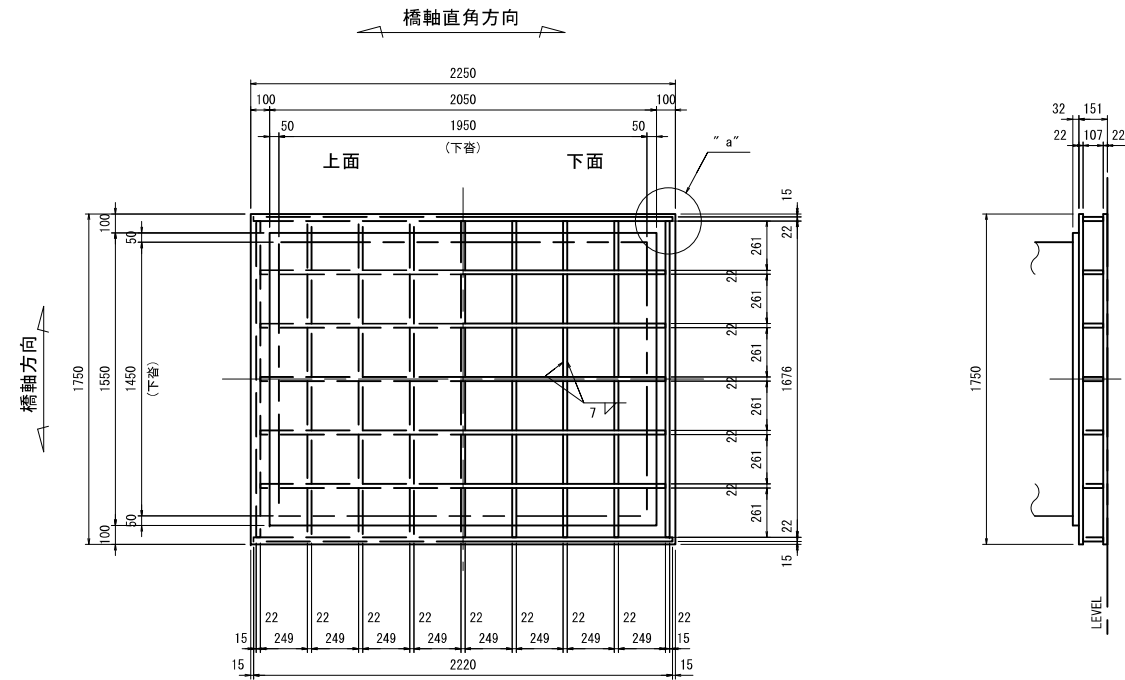


DP10鋼製橋脚 脊座詳細図 S=1:20

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	77 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 脊座詳細図	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

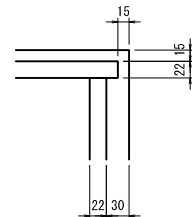
- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - ※印部ベースプレート板厚は、支承設置高を現場実測後決定のこと。
また、※印部ベースプレートは、上部施工範囲とする。

左支承

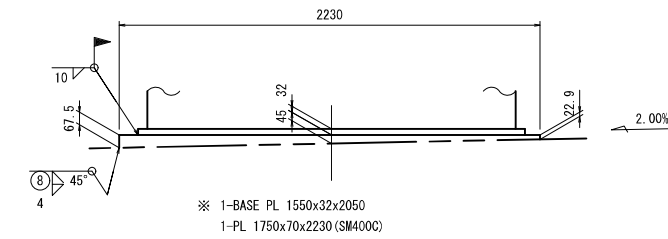
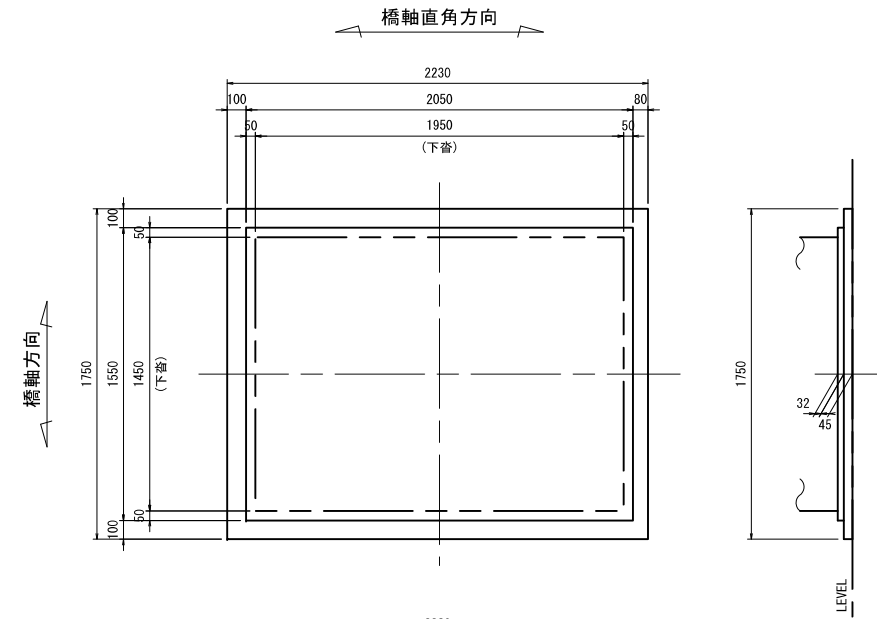


- ※ 1-BASE PL 1550x32x2050
- 2-FLG PL 1750x22x2250
- 2-RIB 129x22x2220
- 5-RIB 129x22x2146
- 1-RIB 129x22x1676
- 6-RIB 123x22x261
- 6-RIB 118x22x261
- 6-RIB 112x22x261
- 6-RIB 107x22x261
- 6-RIB 102x22x261
- 6-RIB 96x22x261
- 6-RIB 91x22x261
- 1-RIB 85x22x1676

"a"部詳細 S=1:5



右支承

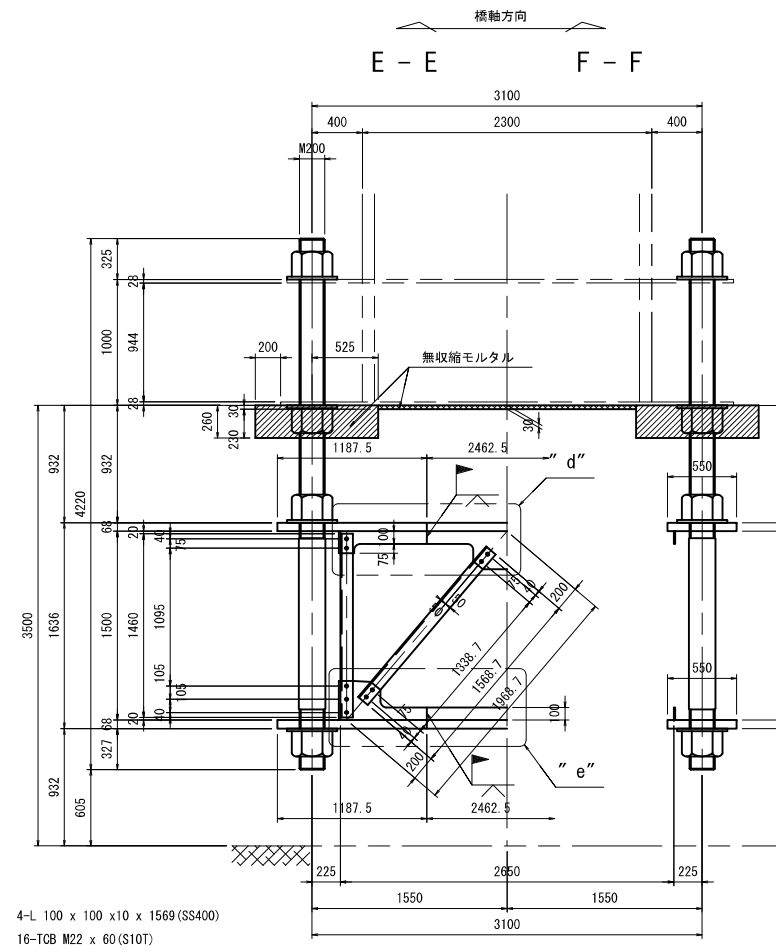
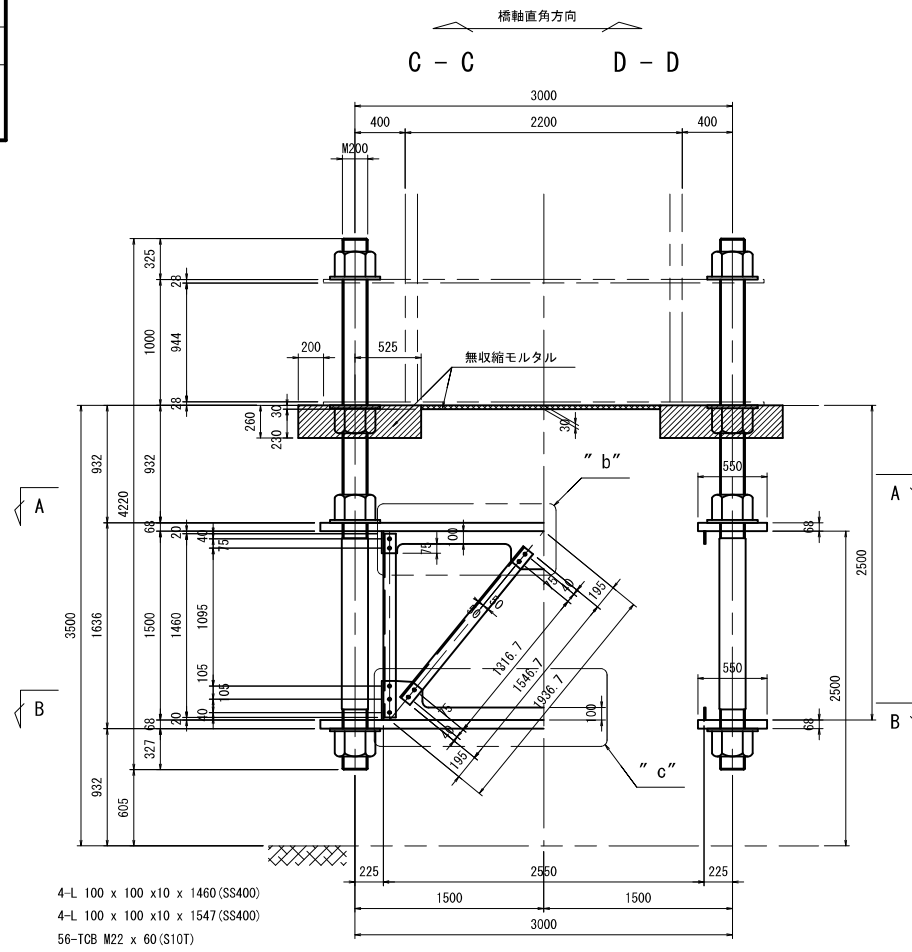


- ※ 1-BASE PL 1550x32x2050
- 1-PL 1750x70x2230 (SM400C)

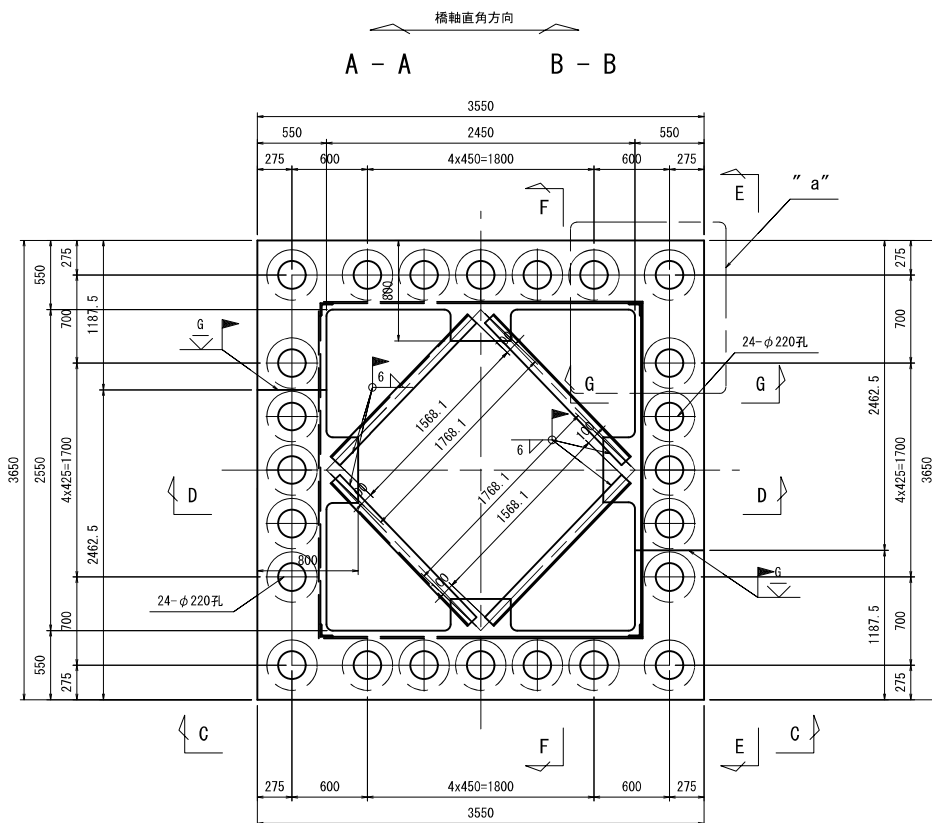
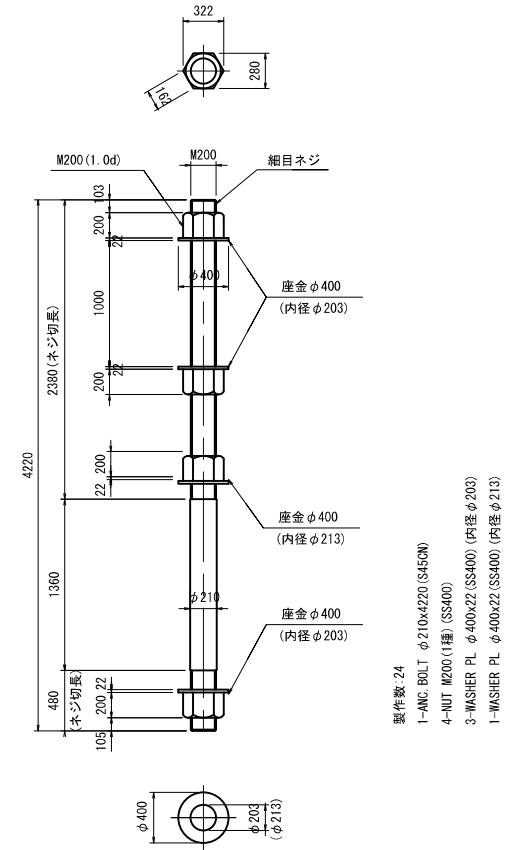
DP10鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その1) S=1:30

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	78 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

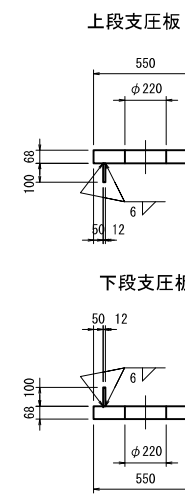
- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーフは、全て R=35 とする。
 - 印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。



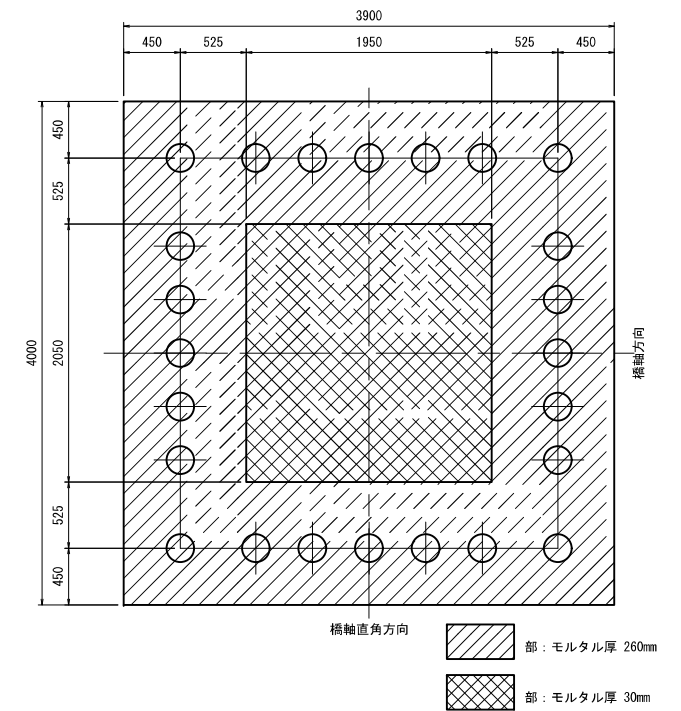
アンカーボルト詳細



G - G S=1:20



無収縮モルタル平面図



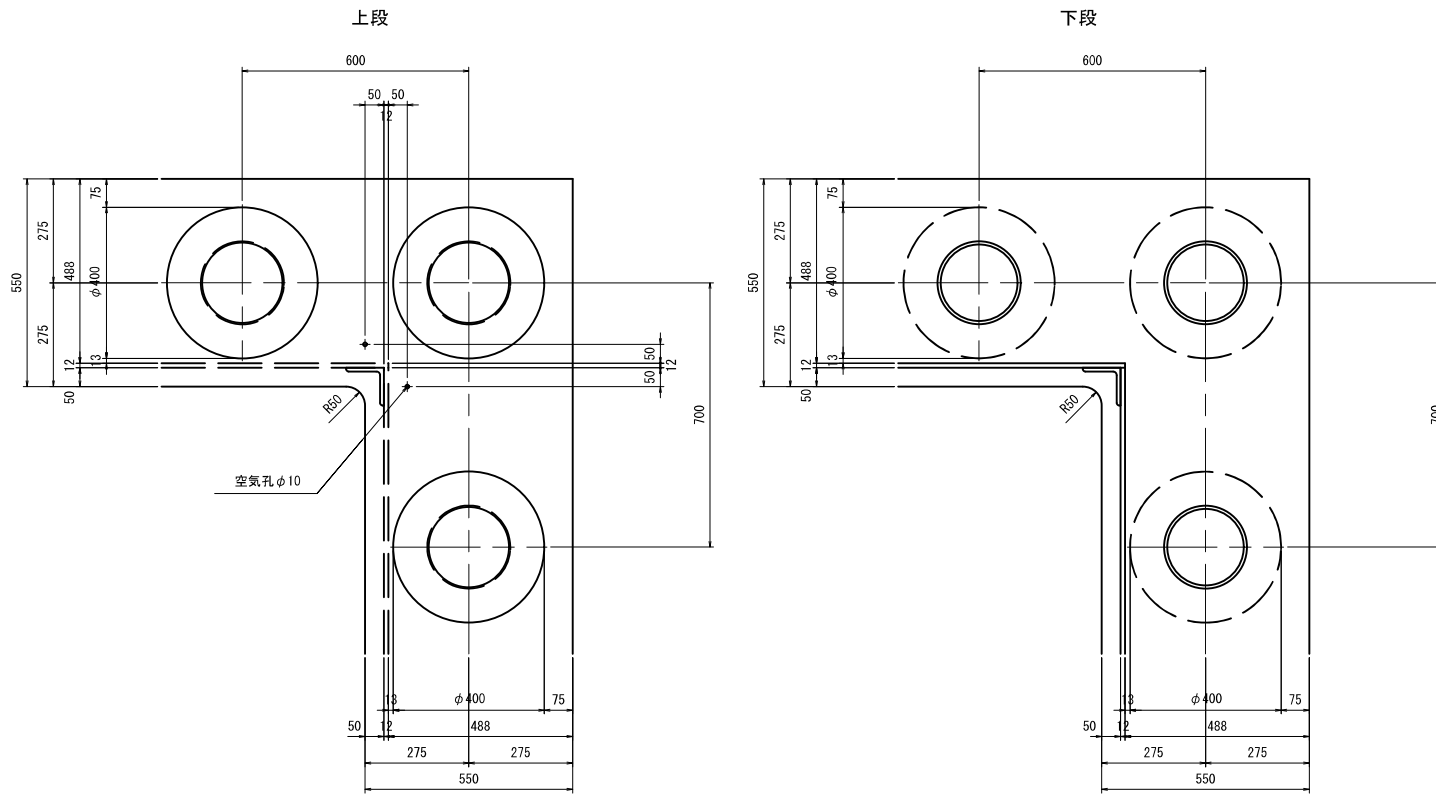
DP10鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その2)

S=1:10

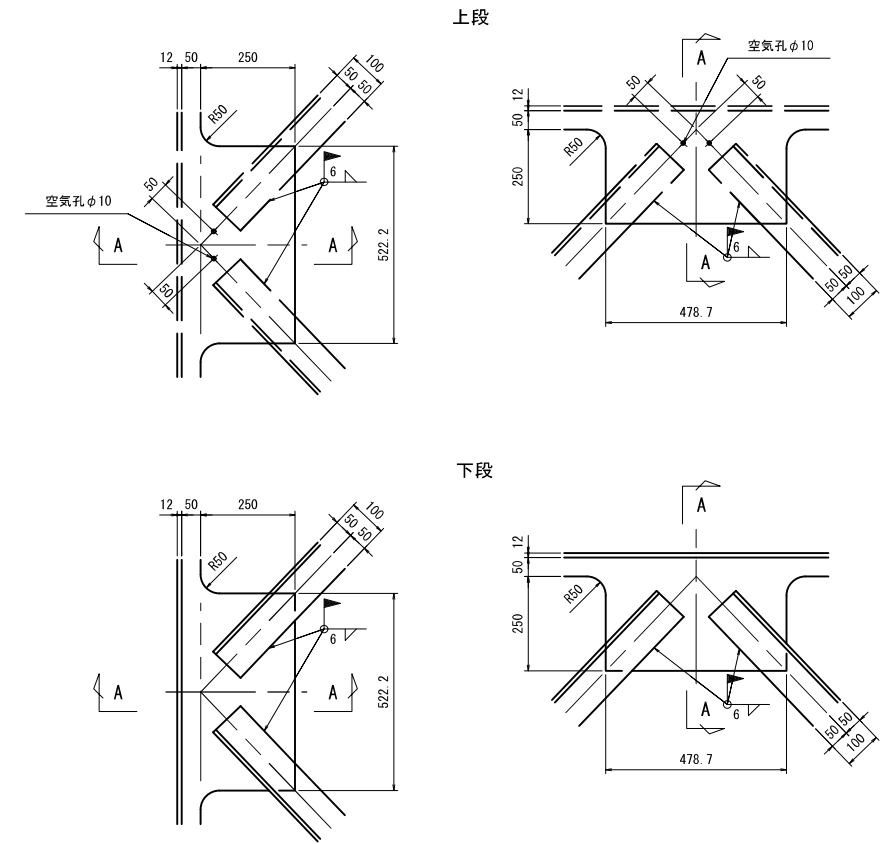
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	79 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

- 注記
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
 3. 中印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。

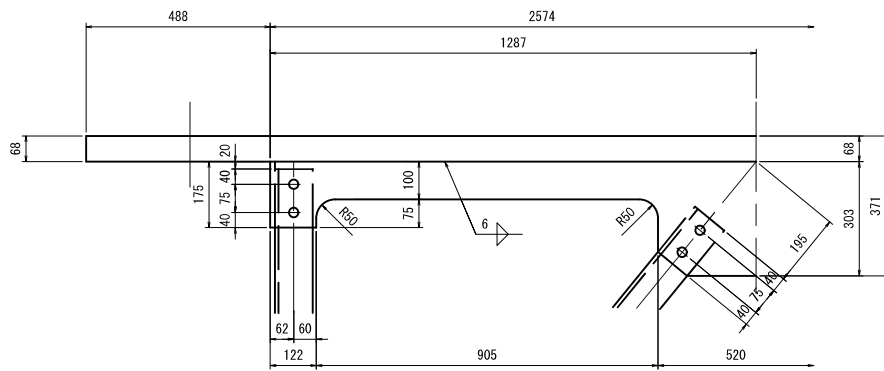
“ a ” 部詳細



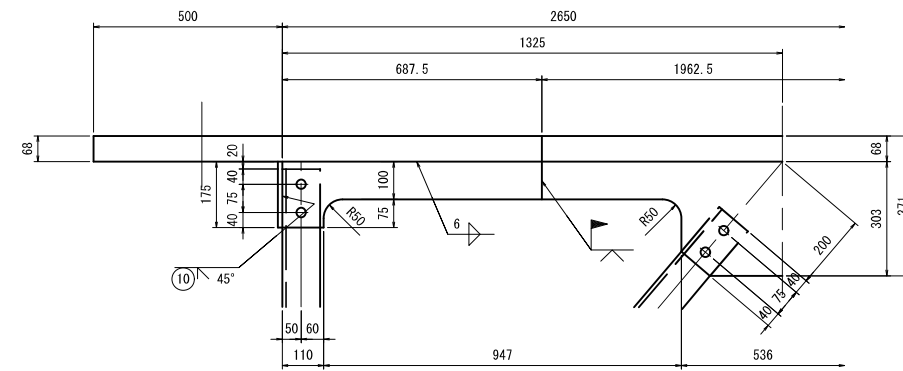
平面ガセット詳細



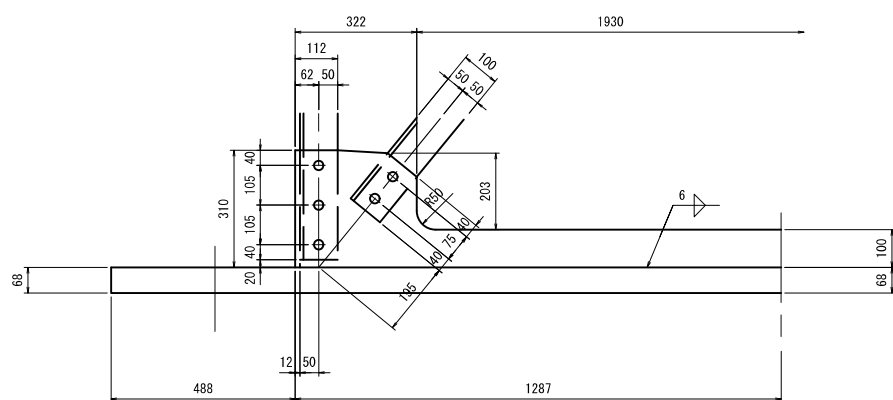
“ b ” 部詳細



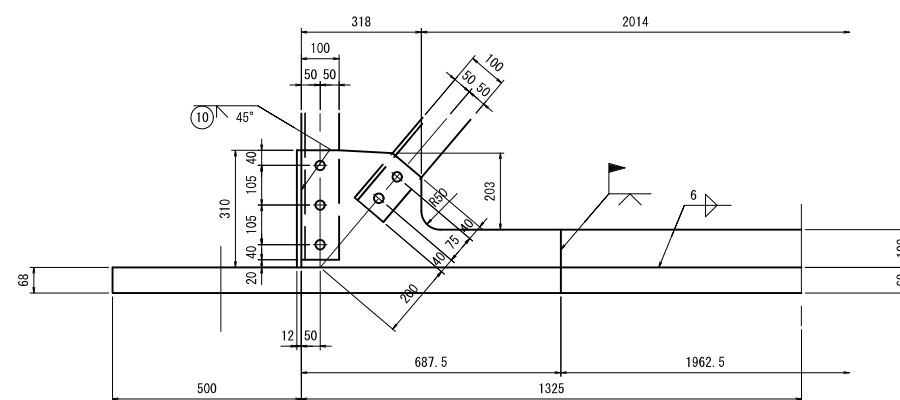
“ d ” 部詳細



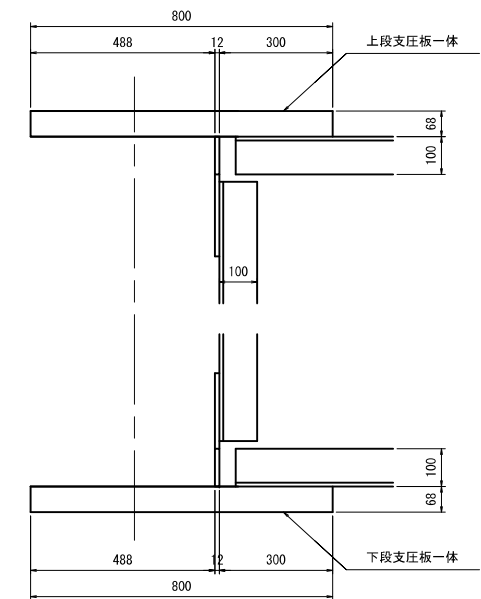
“ c ” 部詳細



“ e ” 部詳細



A - A



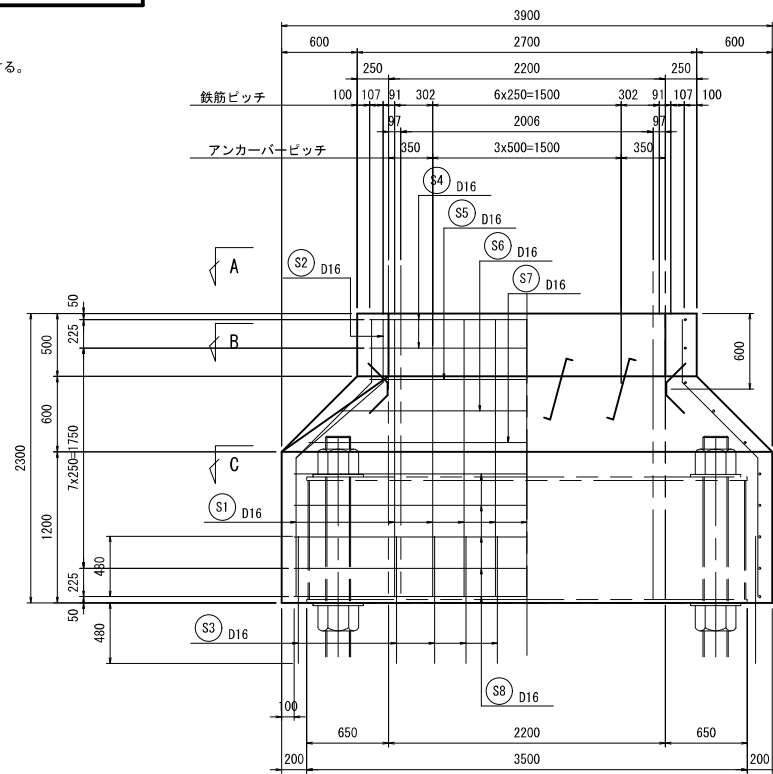
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	80 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その1)

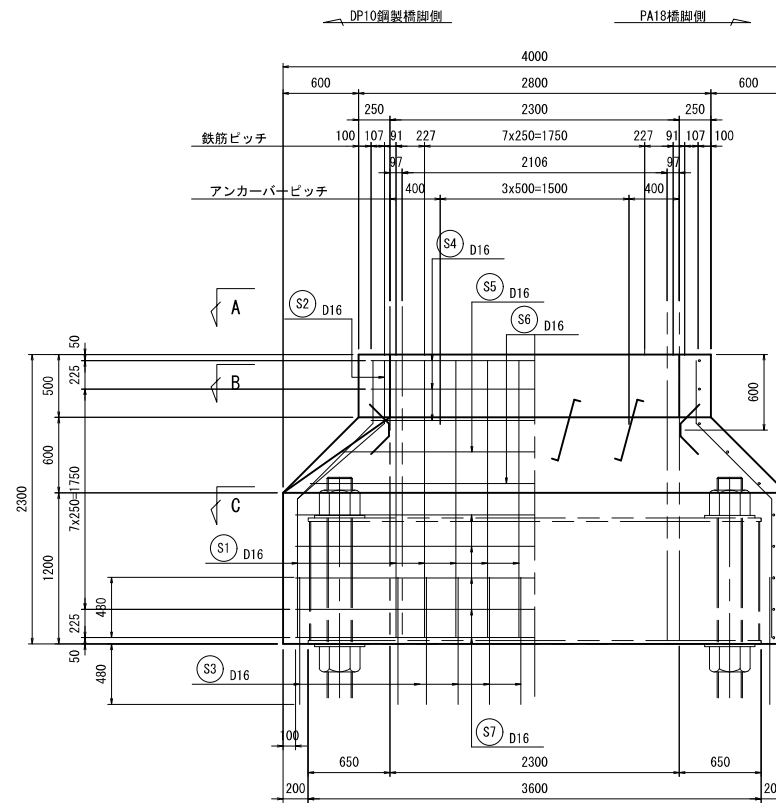
S=1:30

注記
1. 鉄筋の材質は、全てSD345とする。

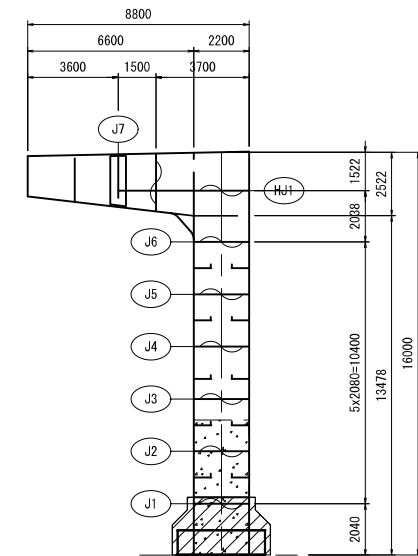
橋軸直角方向(ウェブ面)



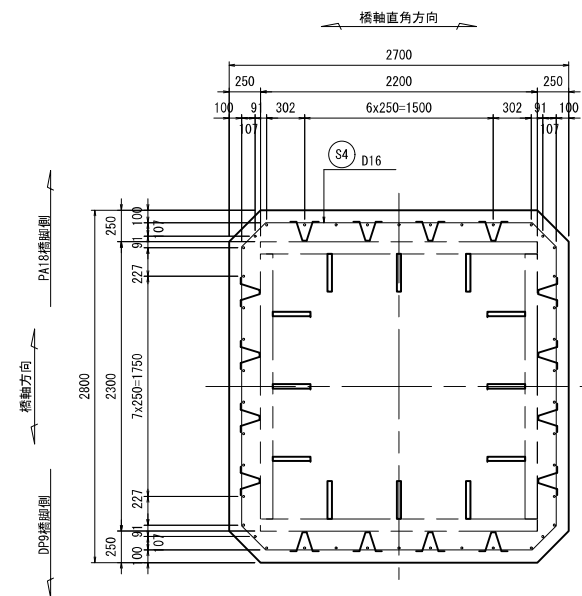
橋軸方向(フランジ面)



配置図

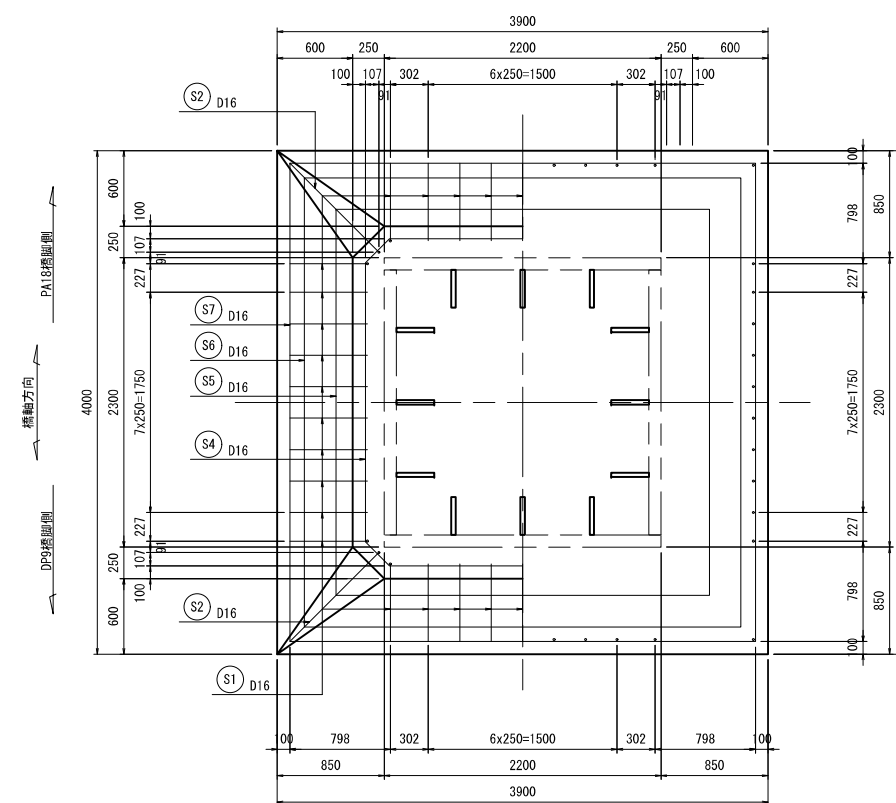


A - A



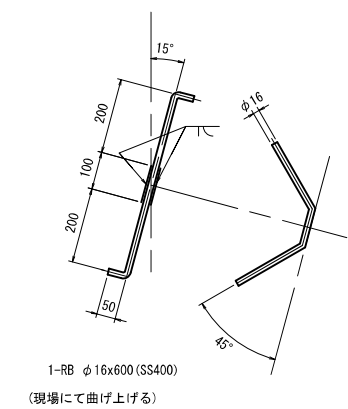
16-RB φ16x600(SS400)

B - B C - C



アンカーバー詳細図

S=1:10



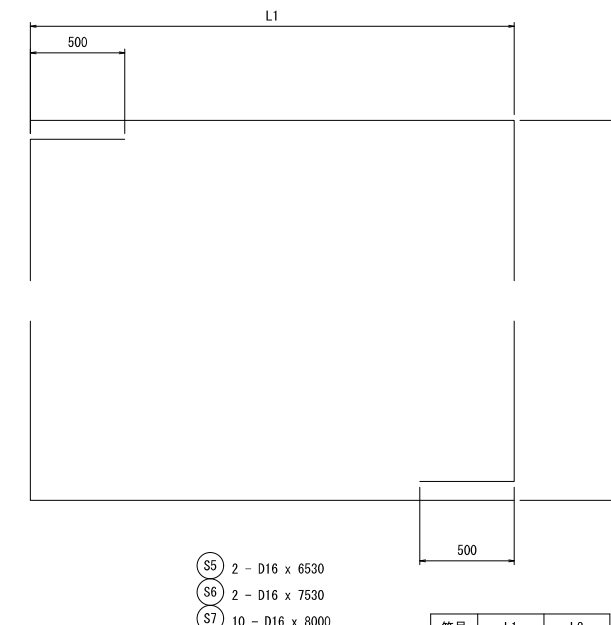
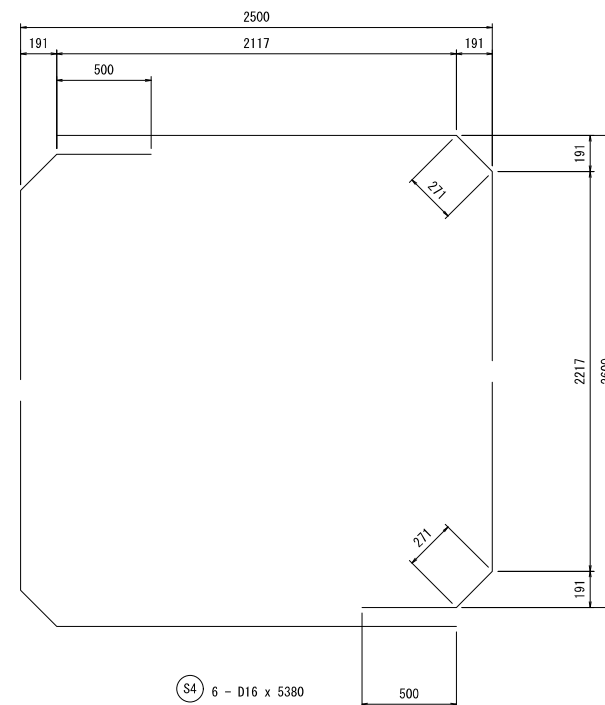
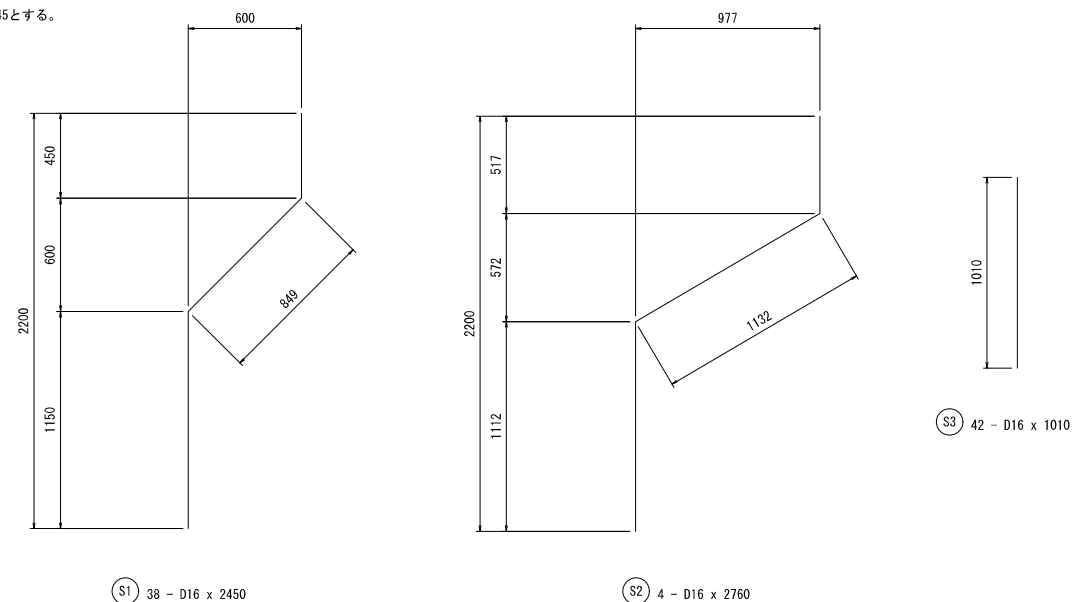
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	81 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その2)

S=1:20

鉄筋加工図

注記
1. 鉄筋の材質は、全てSD345とする。

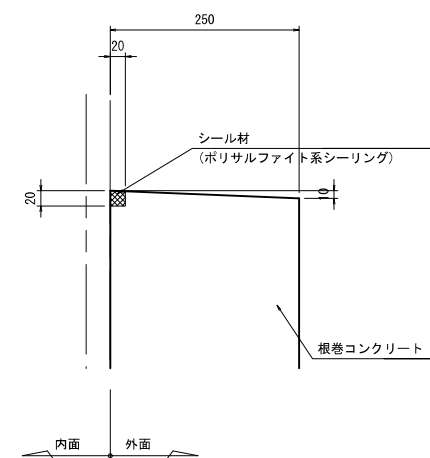


符号	L1	L2
S5	2967	3067
S6	3467	3567
S7	3700	3800

鉄筋質量表

記号	材質	径	長さ	本数	単質	質量/本	質量	摘要	
S1	SD345	D16	2450	38	1.56	3.82	145		
S2	SD345	D16	2760	4	1.56	4.31	17		
S3	SD345	D16	1010	42	1.56	1.58	66		
S4	SD345	D16	5380	4	1.56	8.39	34		
S5	SD345	D16	6530	2	1.56	10.19	20		
S6	SD345	D16	7530	2	1.56	11.75	23		
S7	SD345	D16	8000	10	1.56	12.48	125		
小計							430 kg		
鉄筋質量合計							D16 (SD345)	430 kg	
根巻コンクリート体積							($\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$)	11.80 m ³	
型枠面積								35.53 m ²	
シール材体積							(ポリサルファイド系)	0.005 m ³	
中埋めコンクリート体積							($\sigma_{ck} = 13.5 \text{ N/mm}^2$)	21.76 m ³	
無収縮モルタル体積								2.72 m ³	

根巻コンクリート上部詳細 S=1:5



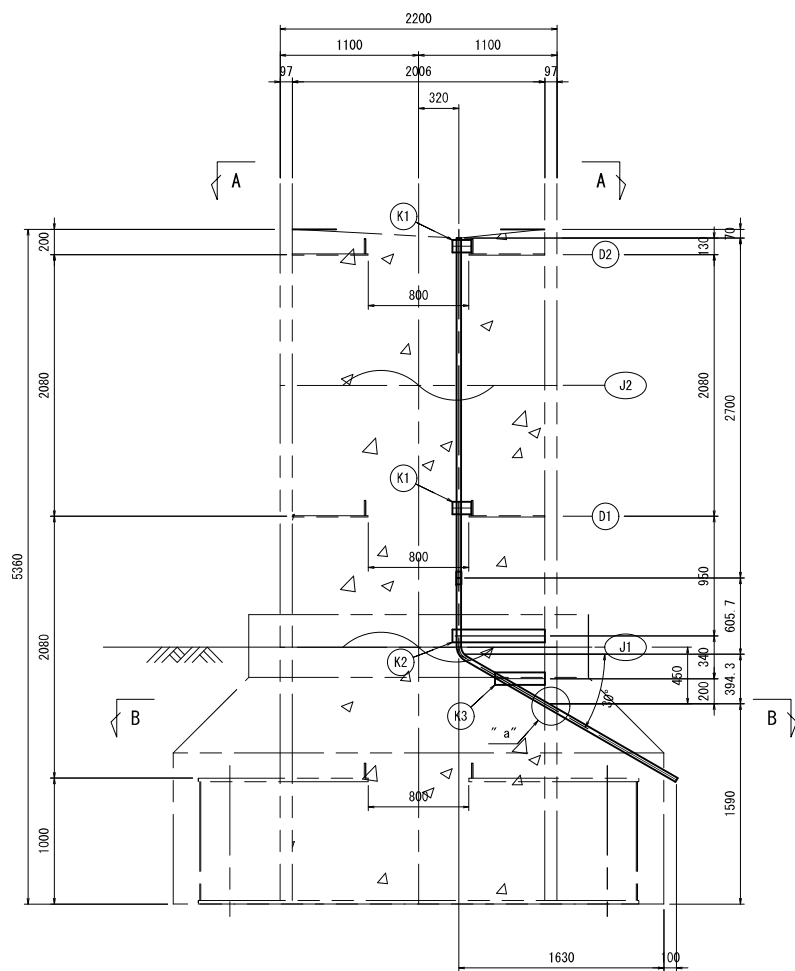
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	82 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 中埋めコンクリート図	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚 中埋めコンクリート図 S=1:30

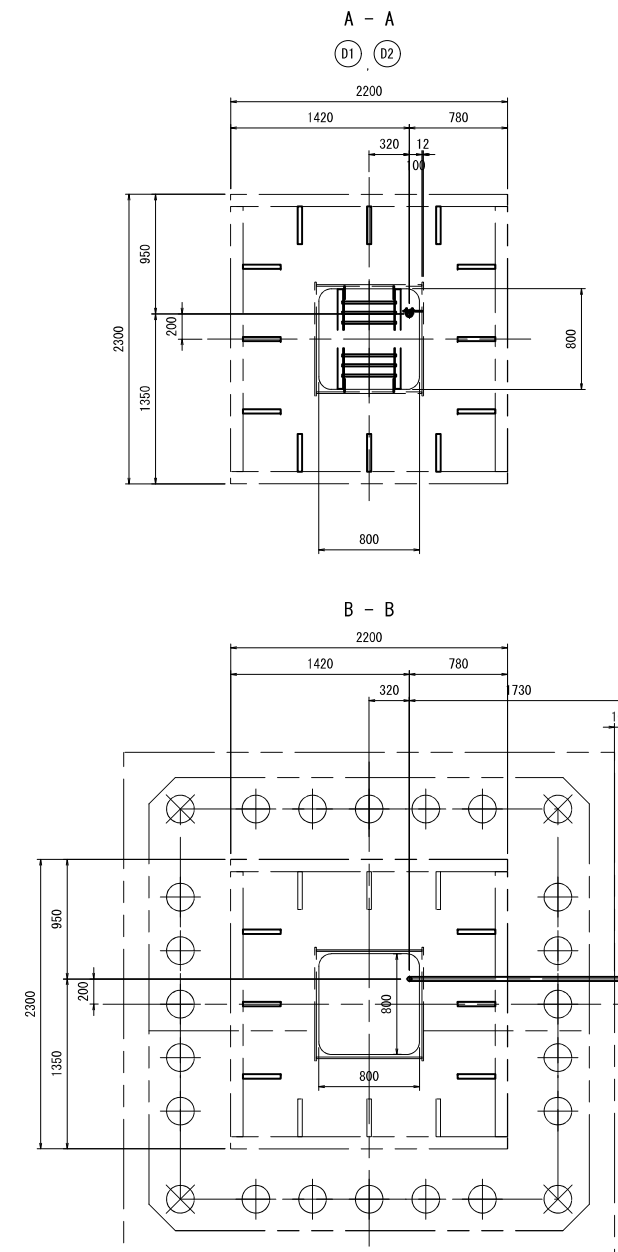
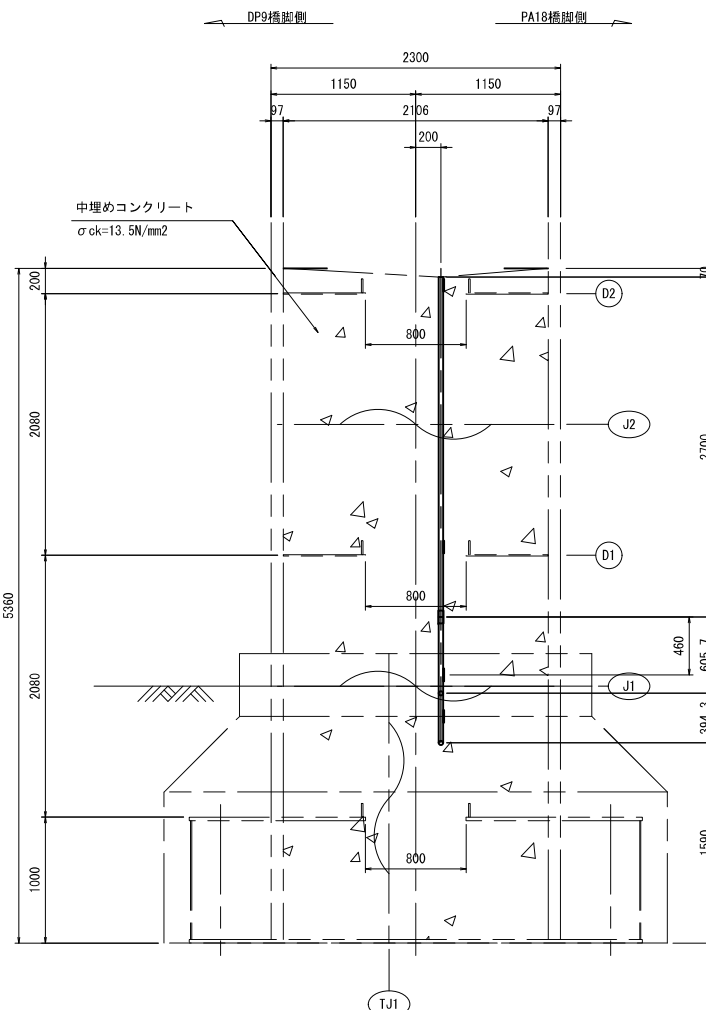
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 鋼管、Uボルト、ナットは、全て溶融亜鉛めっきとし、規格は全てJIS 8641 HDZT49とする。
3. ナットは、ゆるみ止めナットを使用する。

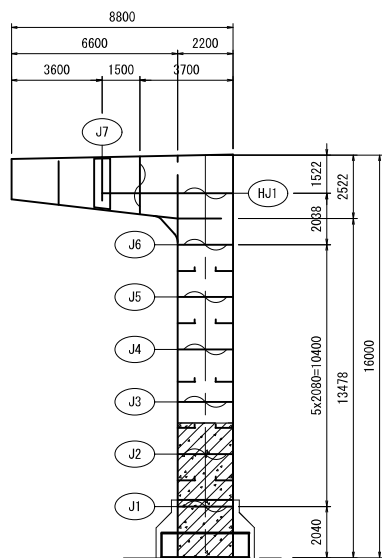
橋軸直角方向(ウェブ面)



橋軸方向(フランジ面)

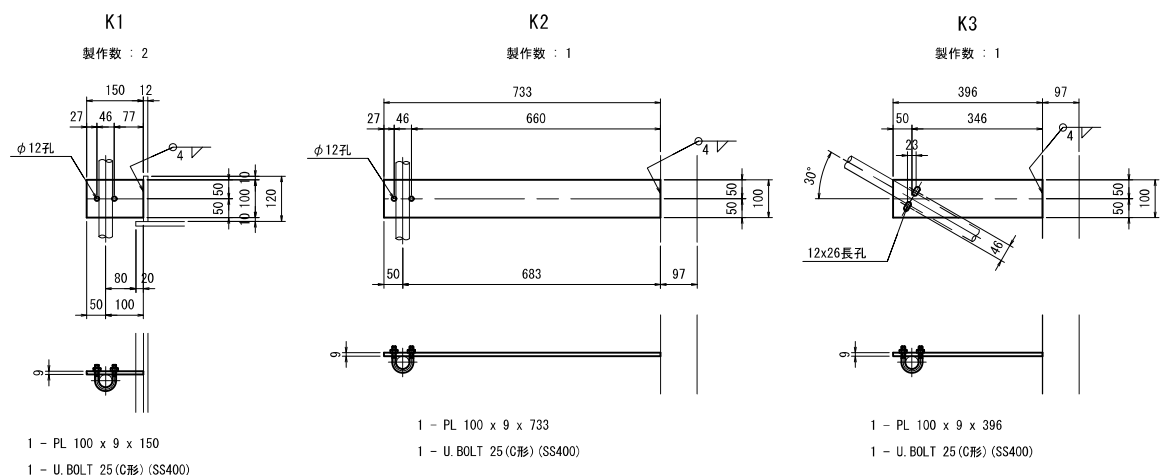


配置図

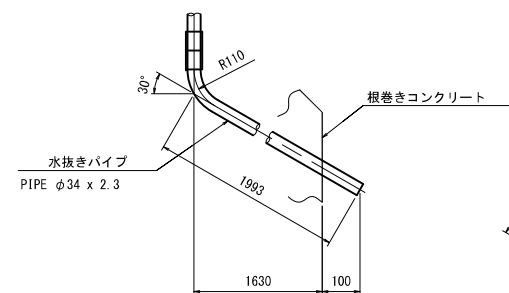


- 1 - PIPE φ34 x 2.3 x 2700 (STK400)
- 1 - PIPE φ34 x 2.3 x 2589 (STK400)

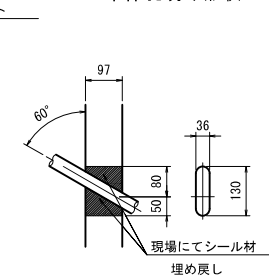
支持金具詳細図 S=1:10



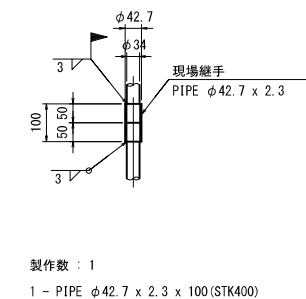
"a"部詳細 S=1:10



本体孔明け形状



水抜きパイプ継手詳細



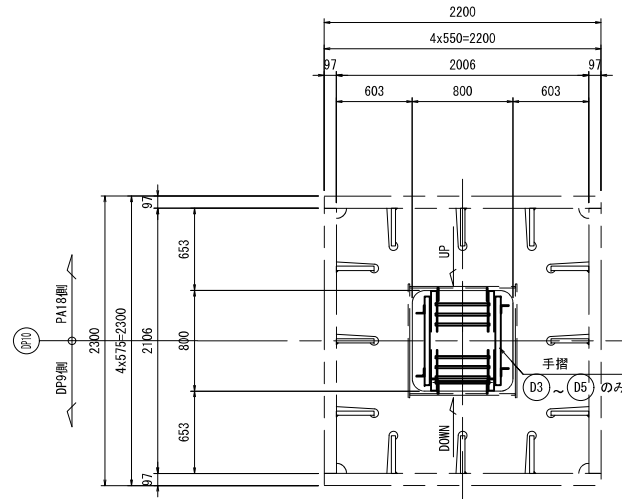
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	83 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚脚内梯子(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

注記

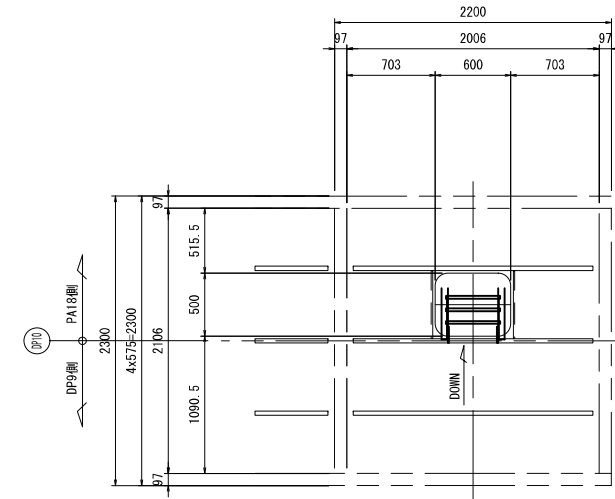
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 本体付き(※印)以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
規格は、梯子及び手摺支柱は、JIS H8641 HDZ177とする。
手摺パイプ、ボルトナット及び座金は、HDZ149とする。
4. ナットは、ゆるみ止めナットを使用する。
5. TYPE-A' は、架設時のみに使用するため、設計数量に含まない。
6. 各部詳細は、脚内梯子(その2)を参照のこと。

DP10鋼製橋脚 脚内梯子(その1) S=1:30

ダイヤフラム部平面図

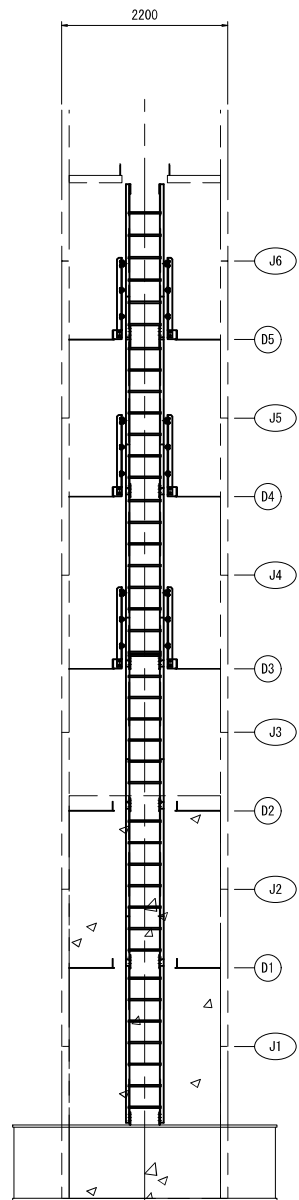


隅角部平面図

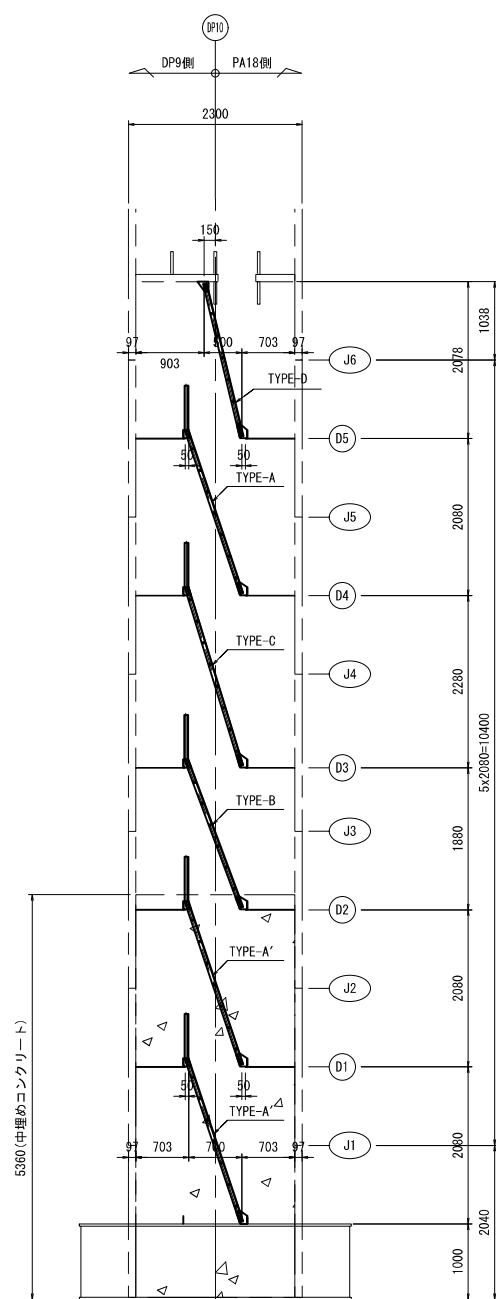


配置図 S=1:50

橋軸直角方向

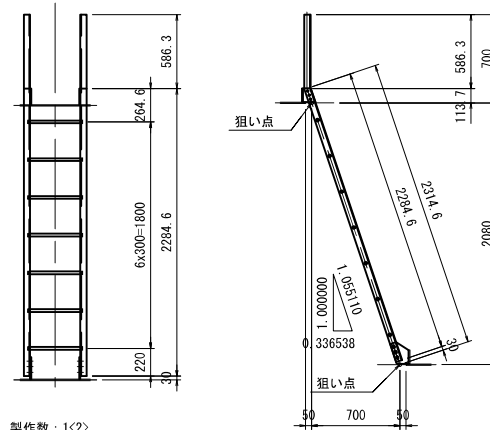


橋軸方向



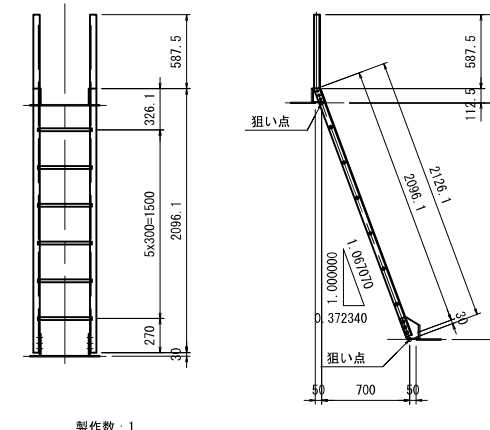
梯子詳細

TYPE-A <TYPE-A'>



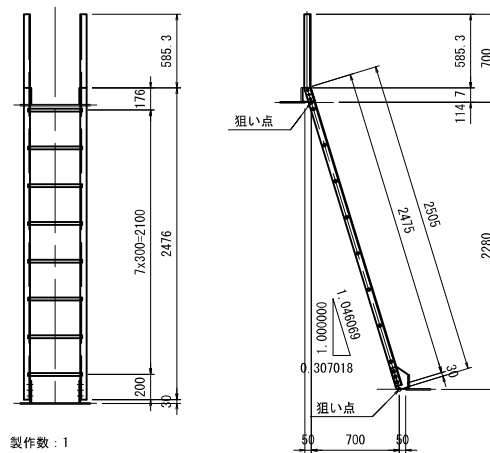
- 製作数: 1<2>
 ※ 2 - PL 100 x 9 x 110
 ※ 2 - PL 146 x 9 x 174
 2 - L 50 x 50 x 6 x 590 (SS400)
 2 - L 50 x 50 x 6 x 2288 (SS400)
 7 - RB φ22 x 430 (SS400)
 12 - BN M10 x 35 (2-W付)

TYPE-B



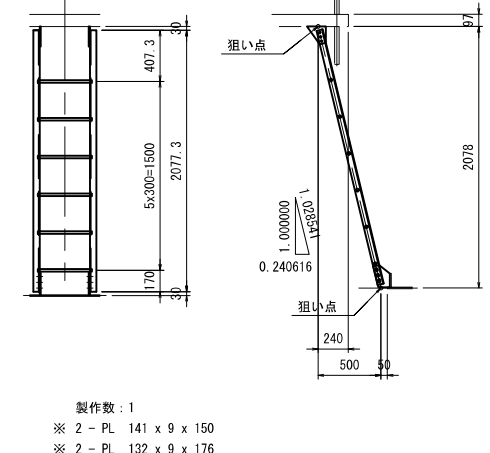
- 製作数: 1
 ※ 2 - PL 100 x 9 x 110
 ※ 2 - PL 152 x 9 x 173
 2 - L 50 x 50 x 6 x 591 (SS400)
 2 - L 50 x 50 x 6 x 2100 (SS400)
 6 - RB φ22 x 430 (SS400)
 12 - BN M10 x 35 (2-W付)

TYPE-C



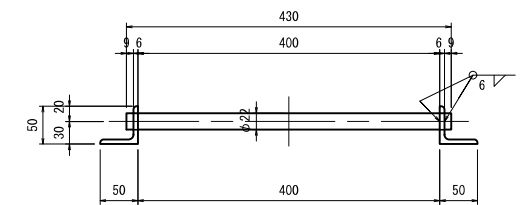
- 製作数: 1
 ※ 2 - PL 100 x 9 x 110
 ※ 2 - PL 142 x 9 x 175
 2 - L 50 x 50 x 6 x 588 (SS400)
 2 - L 50 x 50 x 6 x 2478 (SS400)
 8 - RB φ22 x 430 (SS400)
 12 - BN M10 x 35 (2-W付)

TYPE-D



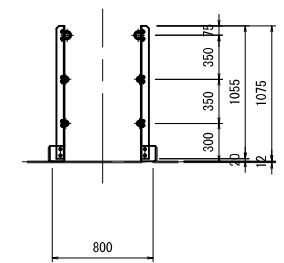
- 製作数: 1
 ※ 2 - PL 141 x 9 x 150
 ※ 2 - PL 132 x 9 x 176
 2 - L 50 x 50 x 6 x 2077 (SS400)
 6 - RB φ22 x 430 (SS400)
 12 - BN M10 x 35 (2-W付)

ステップ詳細 S=1:5

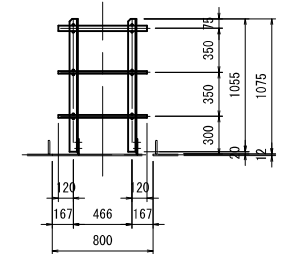


手摺詳細

橋軸直角方向



橋軸方向



- 製作数: 3
 ※ 4 - PL 117 x 9 x 120
 6 - L 65 x 65 x 6 x 1055 (SS400)
 2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 706 (STK400)
 4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 706 (STK400)
 8 - BN M16 x 45 (2-W付)
 4 - Uボルト 呼び 32C形 (2-W付)
 8 - Uボルト 呼び 15C形 (2-W付)

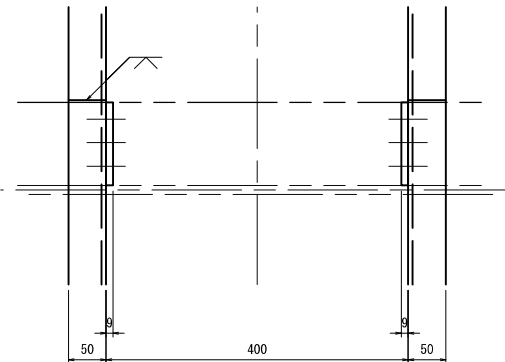
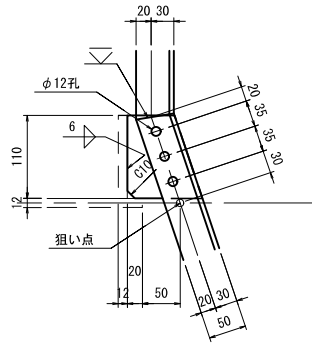
DP10鋼製橋脚 脚内梯子(その2) S=1:5

工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	84 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 脚内梯子(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

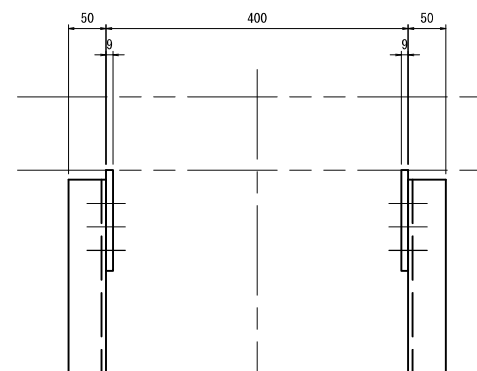
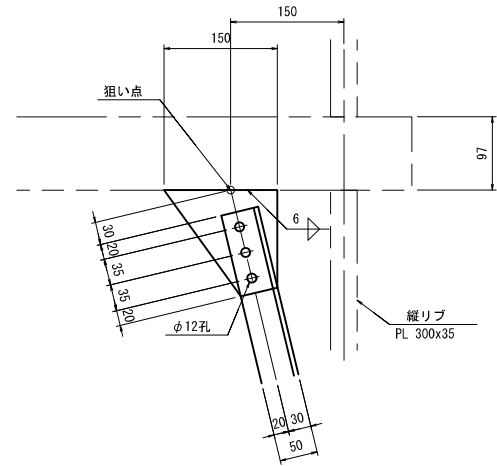
- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーリップは、全てR35とする。
 3. 本体付き(※印)以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
規格は、梯子及び手摺支柱は、JIS H8641 HD2177とする。
手摺パイプ、ボルトナット及び座金は、HD2149とする。
 4. ナットは、ゆるみ止めナットを使用する。
 5. TYPE-A'は、架設時のみに使用するため、設計数量に含めない。

梯子取付部詳細

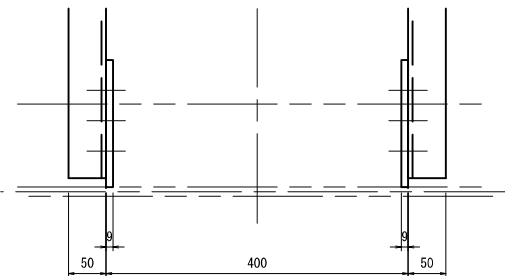
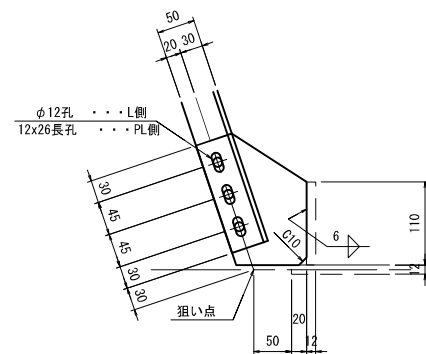
上部
(TYPE-Dを除く)



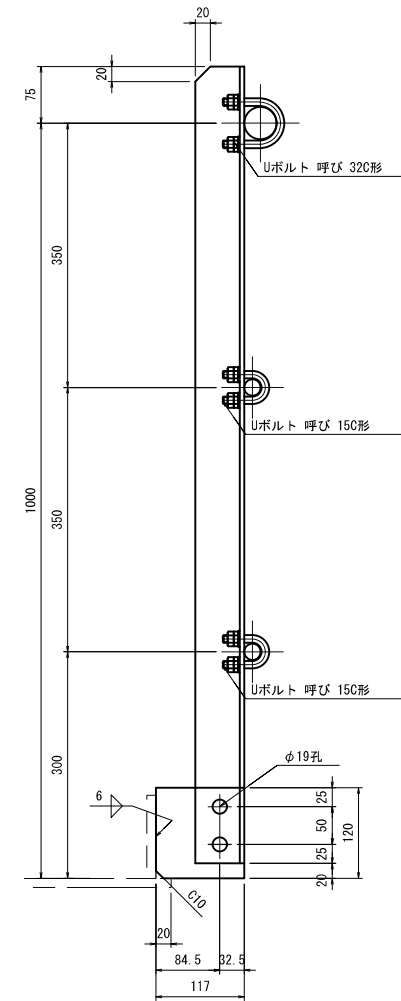
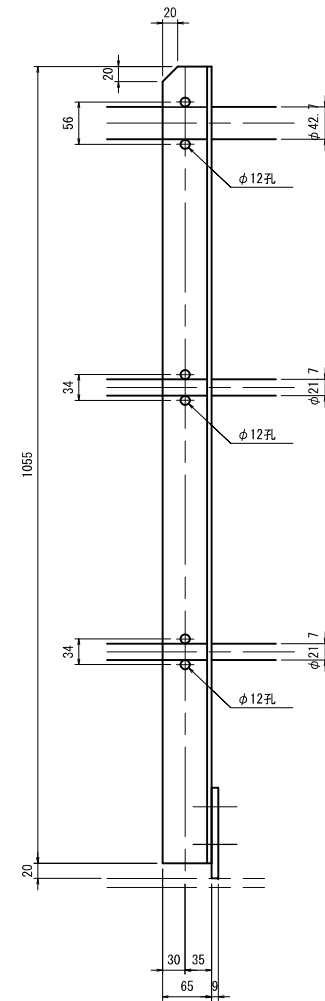
上部
(TYPE-Dのみ)



下部



手摺支柱詳細

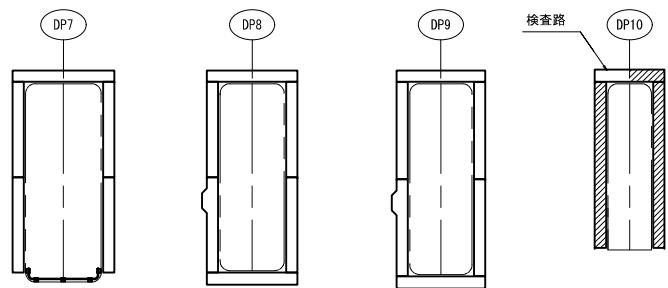


工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	85 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 下部工検査路図(その1)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

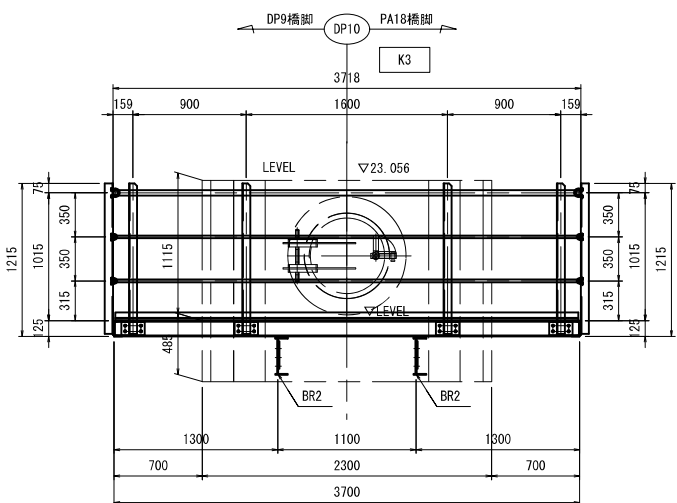
DP10鋼製橋脚 下部工検査路図(その1) S=1:30

- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 特記なきスカーップは、全てR=35とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - ※印以外の鋼材は、全て溶融垂鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。
 - ボルト孔は、めつき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

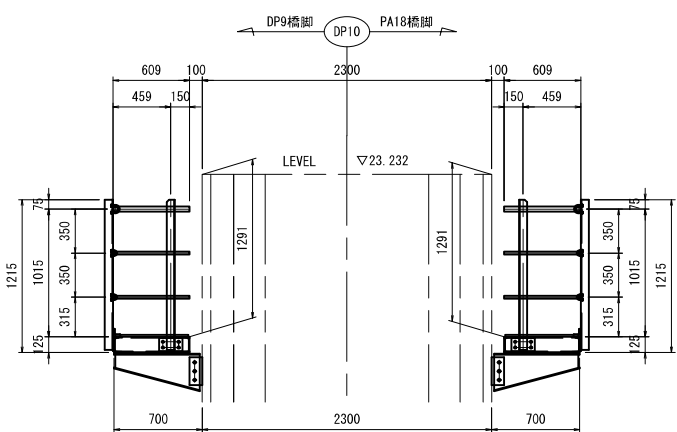
配置図



A - A



B - B



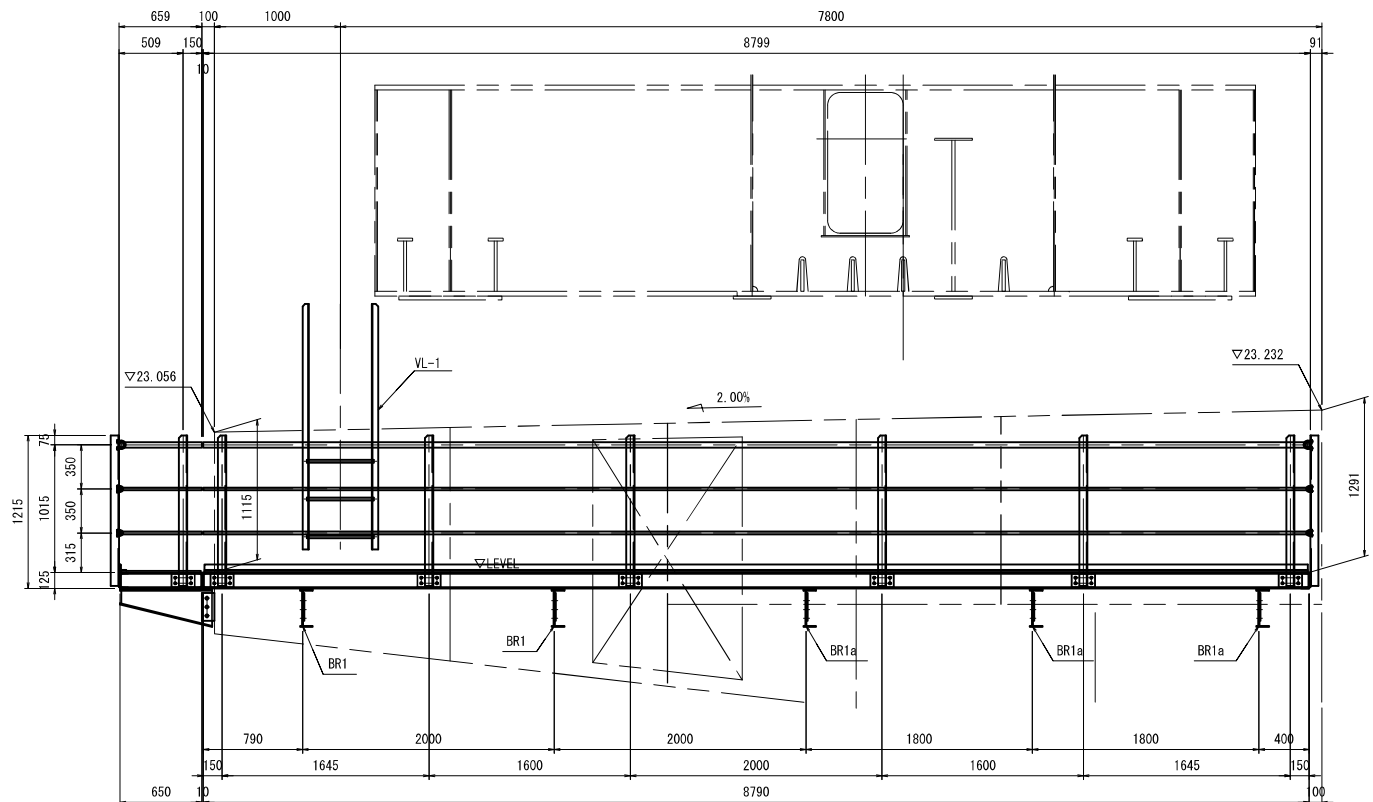
- K1, K2製作数:各1(手すり)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 8799 (STK400)
 - 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 609 (STK400)
 - 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 8799 (STK400)
 - 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 609 (STK400)
 - 7 - L 65 x 65 x 6 x 1195
 - 7 - PL 105 x 9 x 185 (SM400A)
 - 28 - BN M16 x 45 (2-W付)
 - 7 - Uボルト 呼び径 32C (2-W付)
 - 14 - Uボルト 呼び径 15C (2-W付)

- K3製作数:1(手すり)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 3718 (STK400)
 - 2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 659 (STK400)
 - 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3718 (STK400)
 - 4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 659 (STK400)
 - 6 - L 65 x 65 x 6 x 1195
 - 6 - PL 105 x 9 x 185 (SM400A)
 - 24 - BN M16 x 45 (2-W付)
 - 6 - Uボルト 呼び径 32C (2-W付)
 - 12 - Uボルト 呼び径 15C (2-W付)

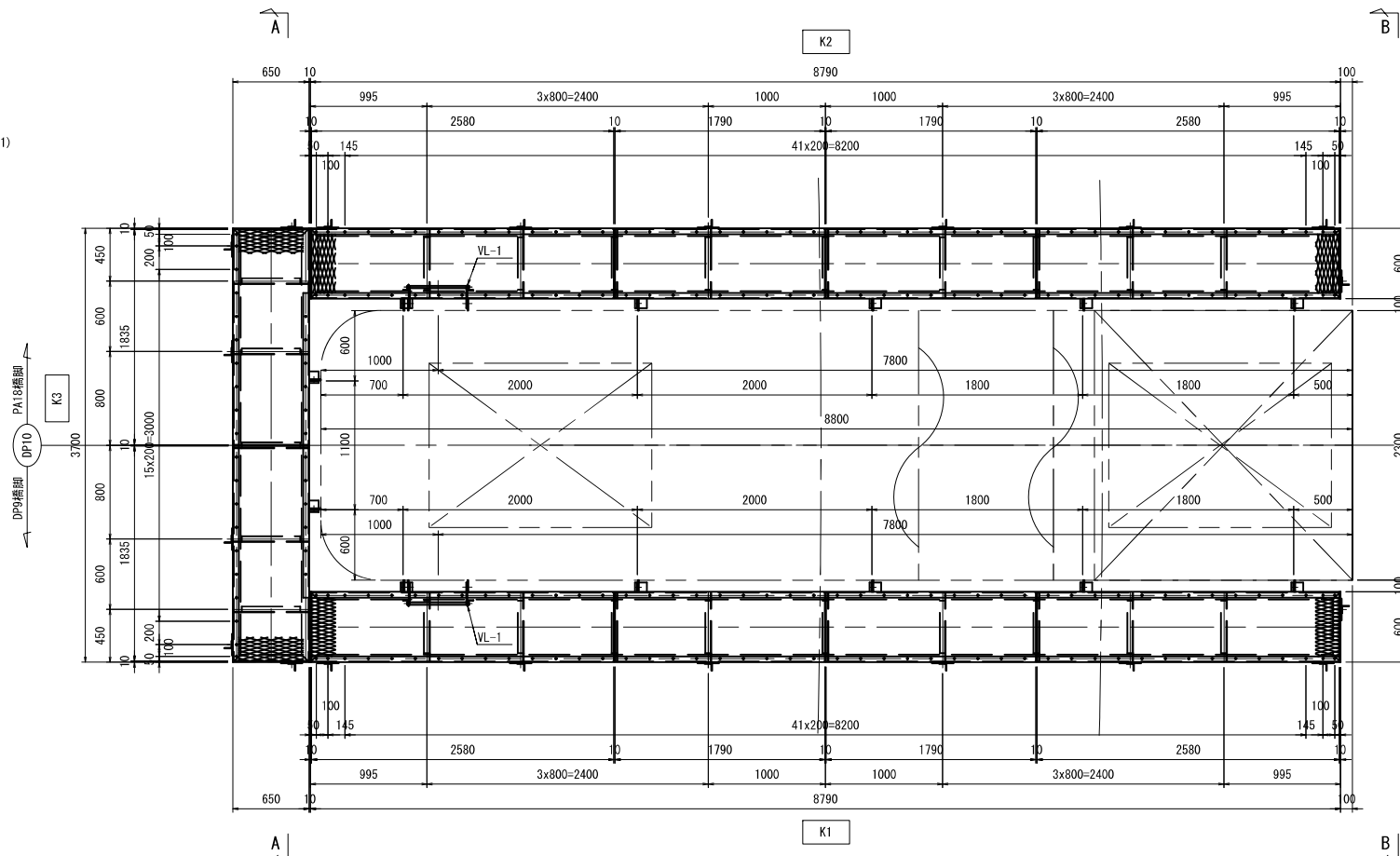
- K1, K2製作数:各1(7廊)
- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 8790
 - 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 600
 - 9 - L 50 x 50 x 6 x 588
 - 2 - L 50 x 50 x 6 x 8770
 - 2 - エキスパンダメタル 590 x 2580 (XG11)
 - 2 - エキスパンダメタル 590 x 1790 (XG11)
 - 92 - BN M12 x 50 (1-W, 1-TW付)
 - 5 - PL 100 x 9 x 580 (SM400A)
 - 10 - BN M16 x 45 (2-W付)

- K3製作数:1(7廊)
- 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 3700
 - 2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 650
 - 5 - L 50 x 50 x 6 x 638
 - 1 - L 50 x 50 x 6 x 2600
 - 1 - L 50 x 50 x 6 x 3680
 - 2 - エキスパンダメタル 640 x 1835 (XG11)
 - 32 - BN M12 x 50 (1-W, 1-TW付)
 - 2 - PL 100 x 9 x 630 (SM400A)
 - 4 - BN M16 x 45 (2-W付)

正面図



平面図



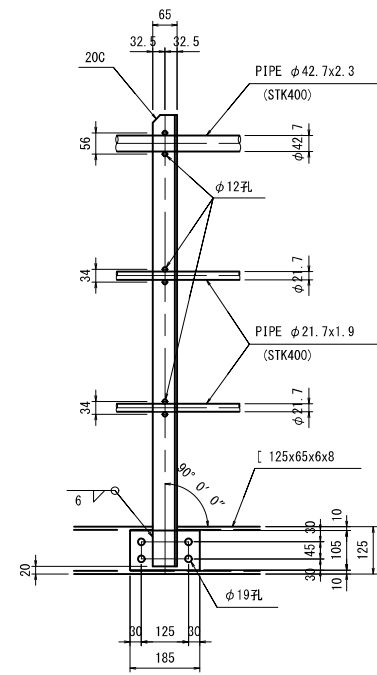
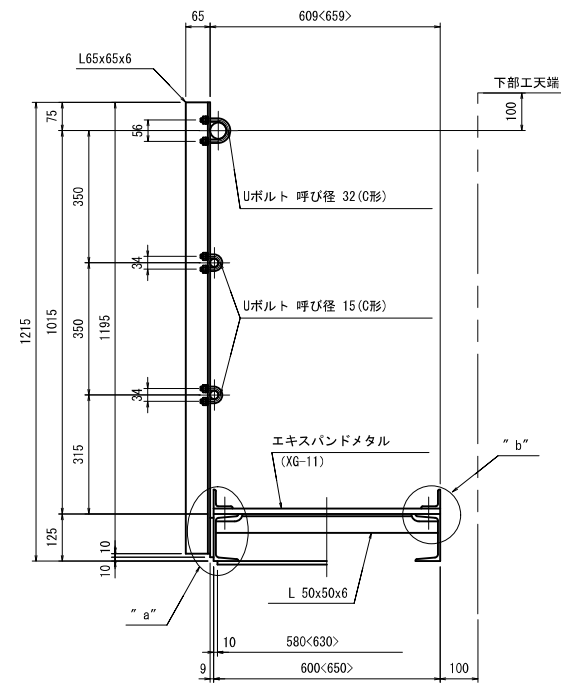
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	86 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 下部工検査路図(その2)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚 下部工検査路図(その2)

S=1:10

共通詳細(1/2)

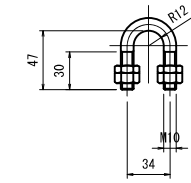
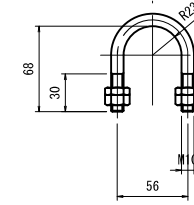
手すり詳細



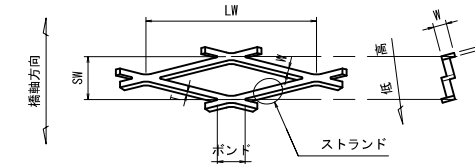
手摺取付ボルト詳細 S=1:3

Uボルト 32C型
φ42.7用

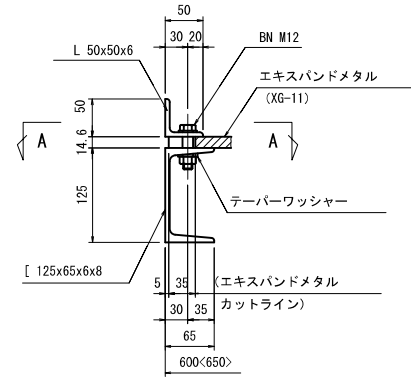
Uボルト 15C型
φ21.7用



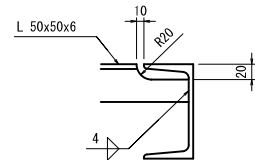
エキスパンドメタル取付方向



"a"部詳細 S=1:5

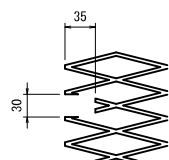


"b"部詳細 S=1:5



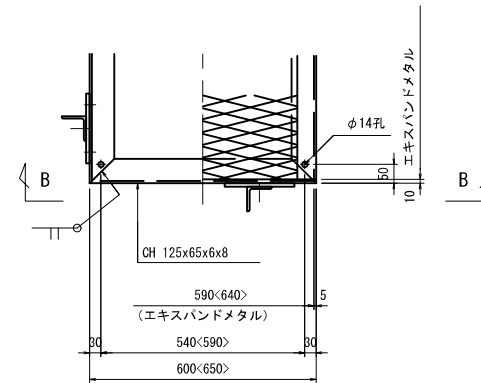
A-A

(ボルトとエキスパンドメタルが干渉する場合の切欠き)

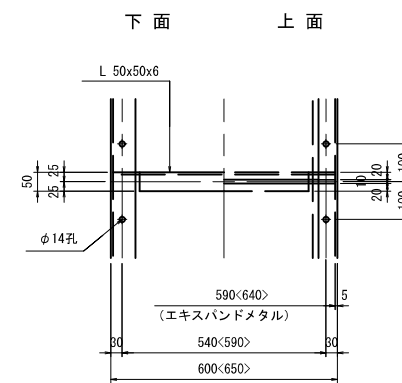


歩廊詳細

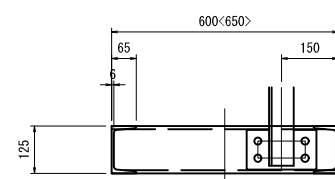
端部



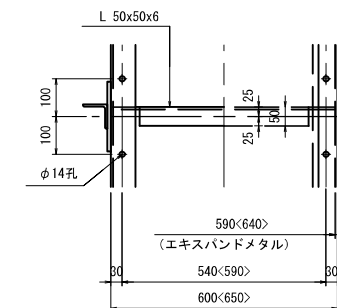
床材分割部



B-B

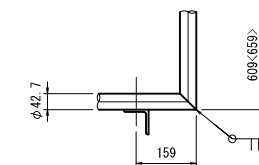


中間部

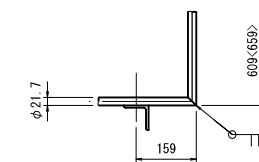


手摺コーナー部詳細

上段



中段・下段



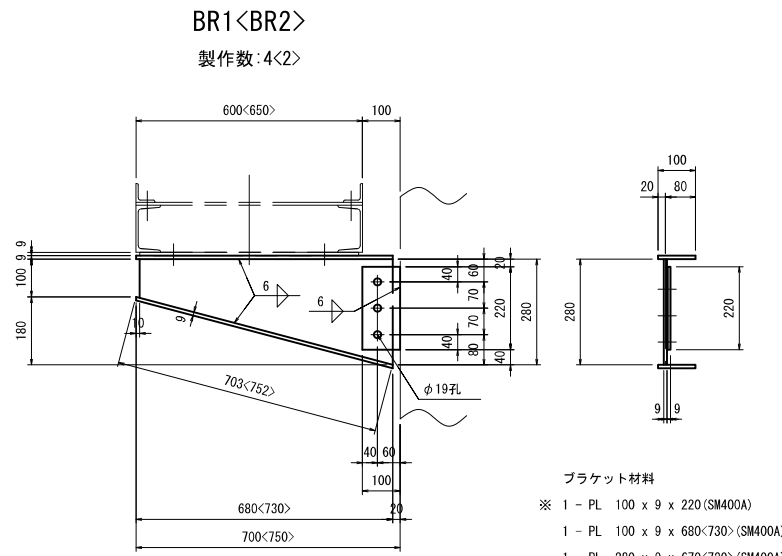
工事名	広島高速5号線温品JCT鋼上部工事(2工区)		
図面番号	87 / 87	縮尺	図示
図面名	DP10鋼製橋脚 下部工検査路図(その3)	番号	
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

DP10鋼製橋脚 下部工検査路図(その3)

S=1:10

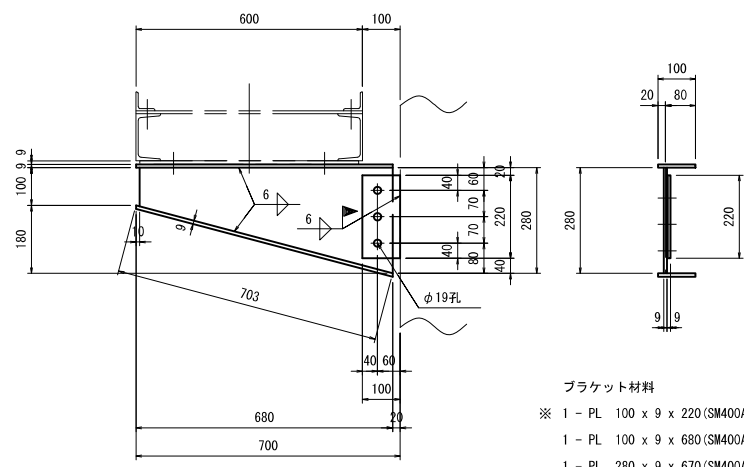
共通詳細(2/2)

ブラケット詳細

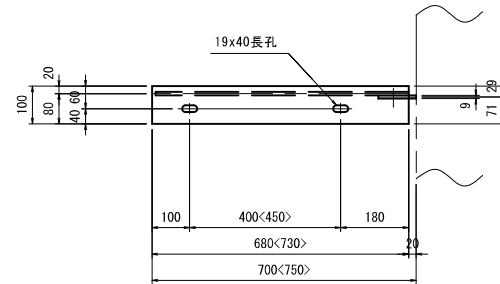


BR1a

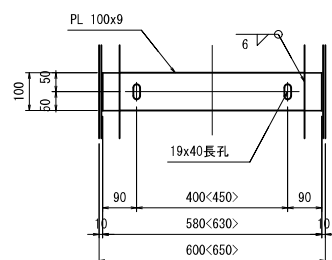
製作数:6



上フランジ平面

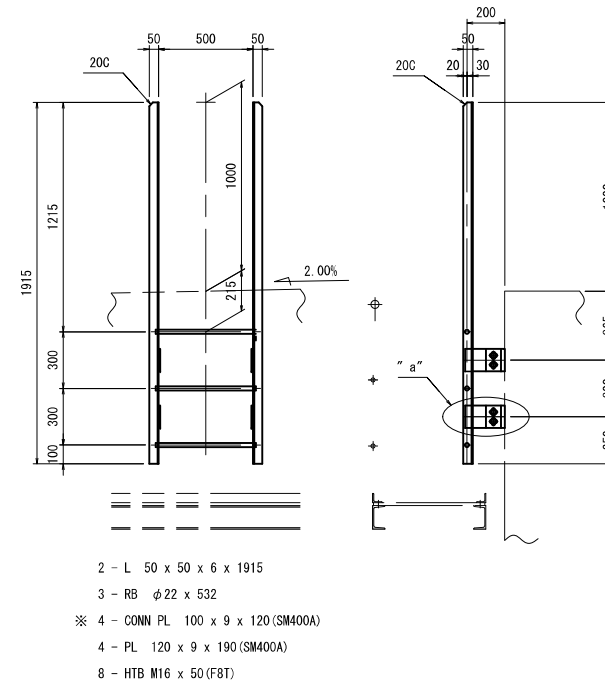


検査路取付板詳細

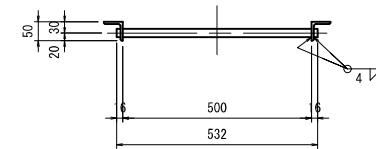


梯子詳細 S=1:20

VL-1
(製作数:2)

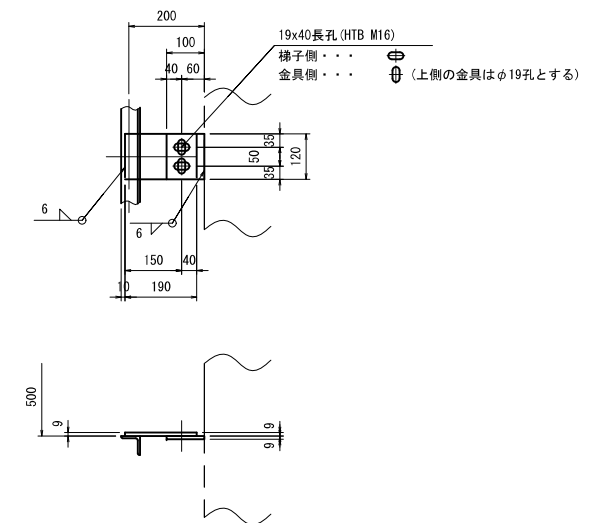


ステップ詳細



"a"部詳細

(梯子取付金具詳細)



注記

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 特記なきスカーップは、全てR=35とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZT49とする。
- ボルト孔は、めつき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。